

平成 30 年度 商店街実態調査
報告書

平成31年3月
横浜市 経済局

目次

第1章 調査の概要

- 1. 調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. 調査の実施概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第2章 調査結果

- 1. 各設問の集計結果と分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
 - (1) 商店街の形態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
 - (2) 商店街の構成業種と不足業種・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
 - (3) 商店街活動について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
 - (4) 空き店舗について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
 - (5) 商店街施設の保全・維持管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
 - (6) 来街者数の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
 - (7) 外国人来街者への対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
 - (8) 景況感・・ 75
- 2. 各設問の「その他」欄のまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 78

第3章 まとめ

- 1. 商店街の形態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 86
- 2. 商店街の構成業種と不足業種・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 86
- 3. 商店街活動について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 86
- 4. 商店街における悩み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 86
- 5. 空き店舗の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87
- 6. 商店街施設の保全・維持管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87
- 7. 来街者数の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87
- 8. 外国人来街者への対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87
- 9. 景況感・・ 87

参考資料

- 資料1. 調査票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89
- 資料2. 集計表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 96

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

少子高齢社会が進展し、地域におけるコミュニティの重要性が増している現在において、身近な買い物の場である商店街は、地域住民の交流の場を提供する「地域コミュニティの担い手」としての役割への期待が大きくなってきている。本調査は、市内の商店街団体の組織や活動の状況、空き店舗の状況や抱えている課題等を定期的に把握し、今後の商店街振興施策の基礎資料とするものである。

2. 調査の実施概要

(1) **調査対象** (一社)横浜市商店街総連合会加盟の260商店街ほか計285商店街

(2) **調査方法** 郵送(配付・回収)によるアンケート方式

(3) **調査期間** 平成30年10月～11月

(4) **調査票配付数・回収数**

調査票配付数	有効回収数	有効回収率
285	231	81.1%

(5) **調査票の見方**

- ① 図表表中のnは該当設問での回答者数を表す。
- ② 百分比はnを100%として算出し、少数第2位を四捨五入して少数第1位まで示している。このため、百分比の合計が100%に満たない場合や、上回る場合等がある。
- ③ 本調査の分析に際し、平成24年度、平成27年度に実施した「商店街実態調査」と比較が可能なものに関し、経年比較を行っている。本文中『平成24年度調査』『平成27年度調査』と表記のあるものについては、この調査を示している。

第2章 調査結果

1. 各設問の集計結果と分析

(1) 商店街の形態

商店街が立地する区 ※今回アンケートに回答した商店街を示した。

【全体】

回答のあった商店街を立地する区別にみると、最も多いのは「中区」(35商店街)であった。次いで「鶴見区」(22商店街)、「神奈川区」(19商店街)、「西区」(17商店街)の順となった。

	アンケートに 回答した商店街
青葉区	12
旭区	12
泉区	9
磯子区	11
神奈川区	19
金沢区	13
港南区	7
港北区	16
栄区	7
瀬谷区	8
都筑区	6
鶴見区	22
戸塚区	10
中区	35
西区	17
保土ヶ谷区	14
緑区	6
南区	7
合計	231

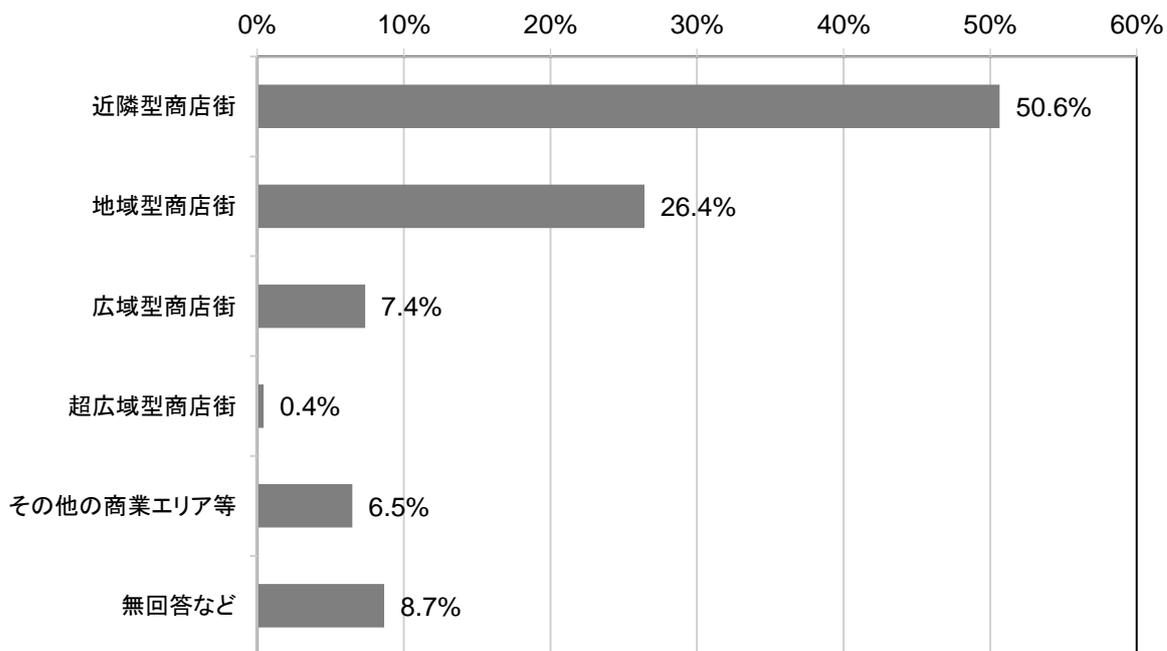
図表1 商店街の立地する区[全体]

問1 貴商店街のタイプは次の5つのうち、いずれに該当しますか。

- 1. 近隣型商店街 : 主に近隣住民が徒歩、自転車で来街して日常の買い物をする商店街
- 2. 地域型商店街 : 鉄道駅に近接し、主に区内の住民が徒歩、自転車、バス等で来街して日常の買い物をする商店街
- 3. 広域型商店街 : 鉄道駅に近接し、百貨店、量販店等を含む大型店があり、主に電車や自動車による区内外からの来街者が多い商店街
- 4. 超広域型商店街 : 鉄道駅に近接し、有名専門店、高級専門店を中心に構成され、市外も含む遠距離からの来街者が多い商店街
- 5. その他の商業エリア等 : 上記1～4にあてはまらない商業エリア、複数の要素を持つ商業エリア等

【全体】

「近隣型商店街」が最も多く、50.6%であった。次いで「地域型商店街」(26.4%)、「広域型商店街」(7.4%)、「その他の商業エリア」(6.5%)の順となった。



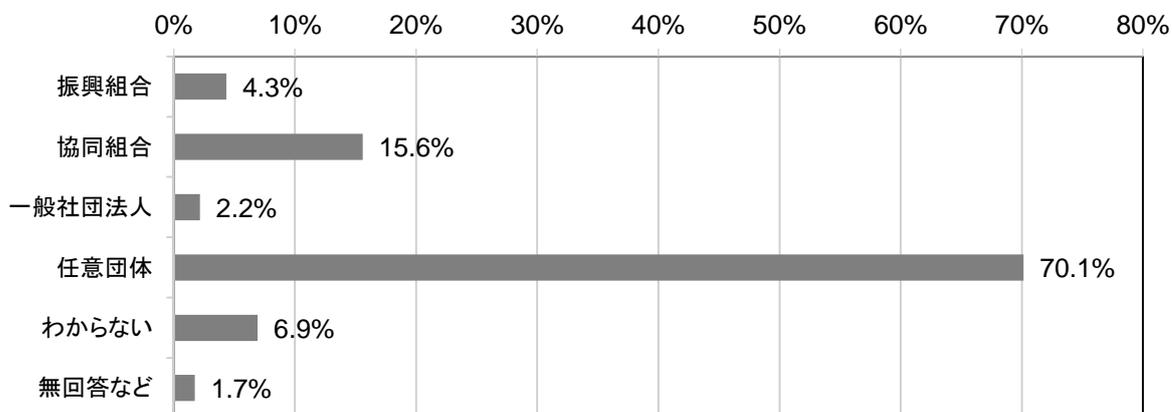
n=231

図表2 商店街のタイプ[全体]

問2 貴商店街の組織形態は次の5つのうち、いずれに該当しますか。

【全体】

「任意団体」が最も多く、70.1%であった。法人化されている商店街では「協同組合」(15.6%)が最も多く、「振興組合」(4.3%)、「一般社団法人」(2.2%)の順となった。



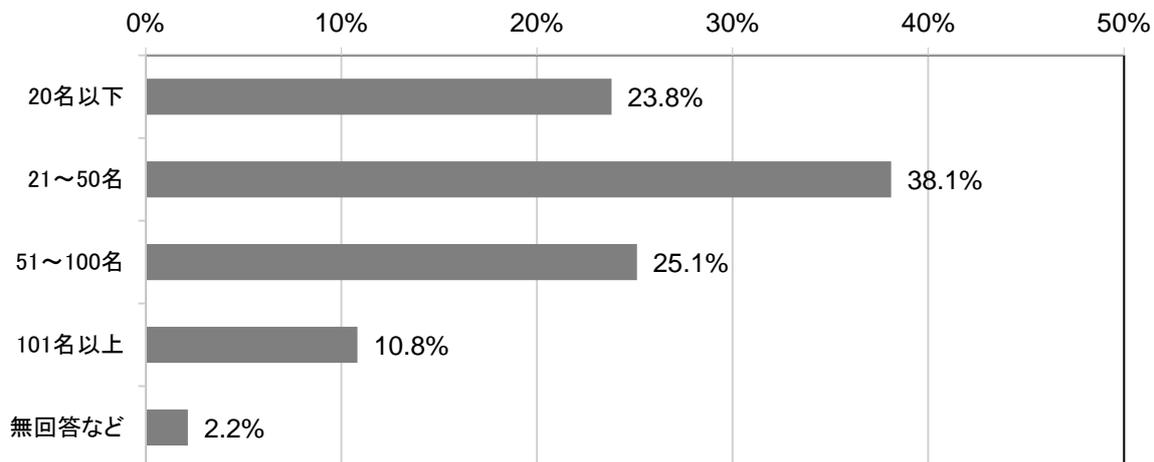
図表3 商店街の組織形態[全体]

n=231

問3 貴商店街の会員数は何名ですか。

【全体】

「21～50名」が最も多く、38.1%であった。次いで「51～100名」(25.1%)、「20名以下」(23.8%)の順となった。

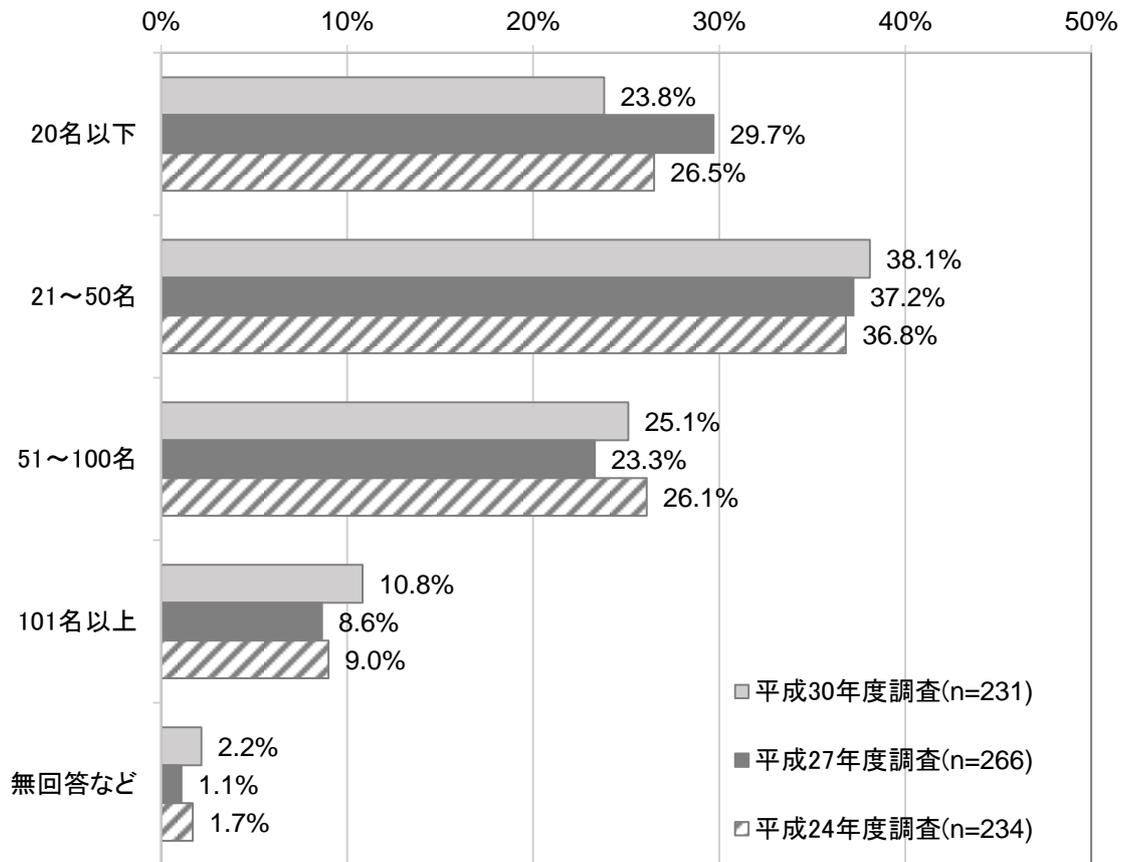


図表4-1 商店街の会員数[全体]

n=231

【経年比較】

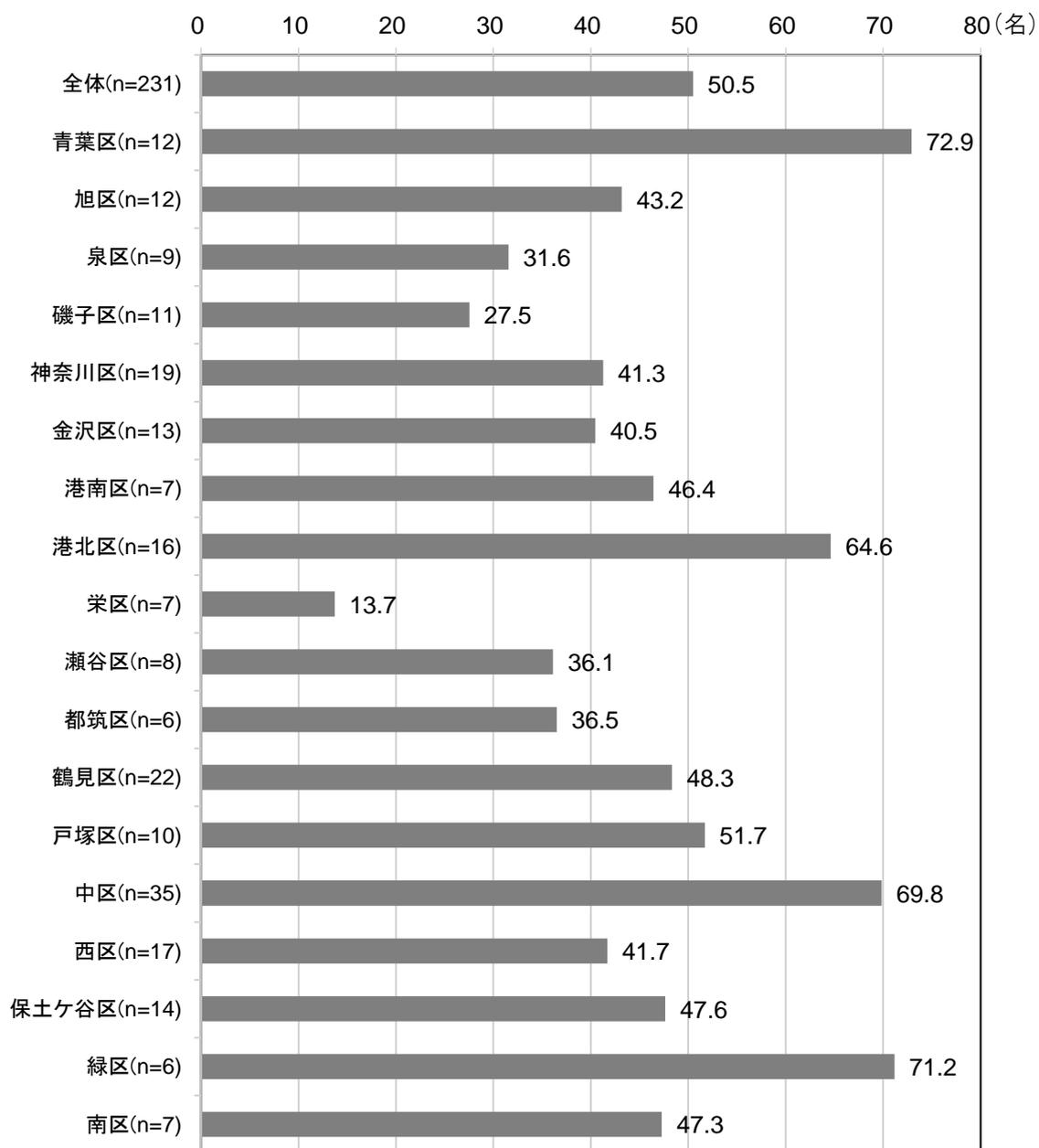
平成24年度調査、平成27年度調査と比較しても、傾向に大きく変わりはないが、「20名以下」については、平成27年度調査と比べ、5.9ポイント減少している。



図表4-2 商店街の会員数[経年比較]

【1商店街当たりの会員数(区別)】

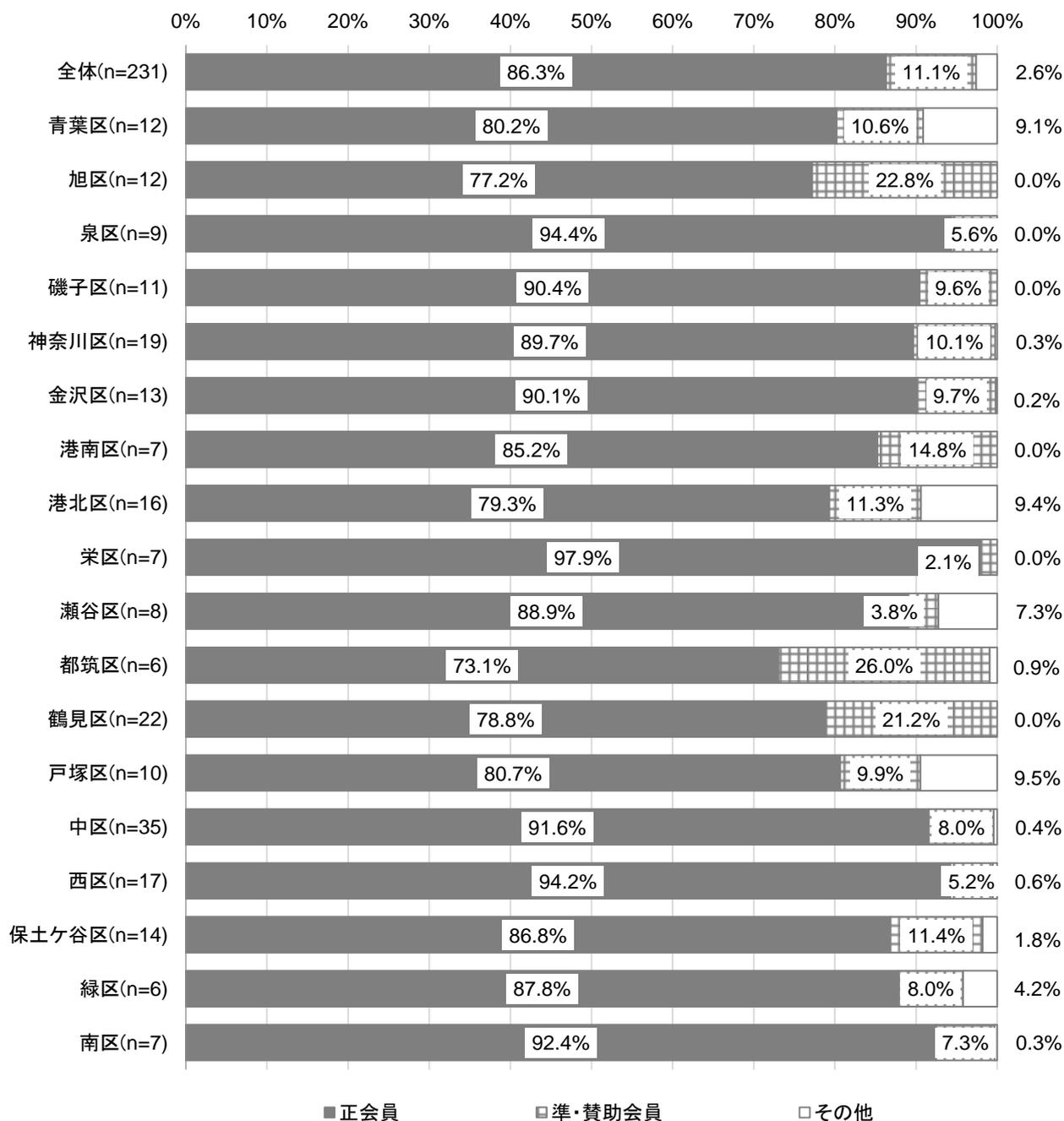
1商店街当たりの会員数は、全体でみると50.5名で、区別にみると「青葉区」(72.9名)が最も多い。次いで「緑区」(71.2名)、「中区」(69.8名)の順となった。一方、最も少ないのは「栄区」(13.7名)で、2番目に少ない「磯子区」(27.5名)と比較しても、13.8名の差があった。また、最も多い「青葉区」と比較すると、59.2名の差があった。



図表4-3 商店街の会員数[1商店街当たりの会員数(区別)]

【区別の会員比率】

正会員の割合が最も高いのは「栄区」(97.9%)であった。一方、正会員の割合が最も低いのは「都筑区」(73.1%)であった。

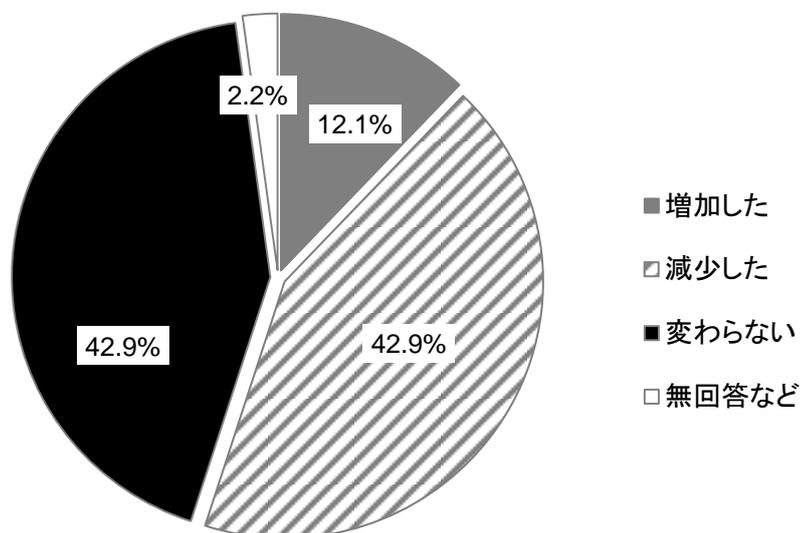


図表 4-4 商店街の会員数[区別の会員比率]

問3-2 3年前と比べて、商店街への加盟率に変化がありましたか。

【全体】

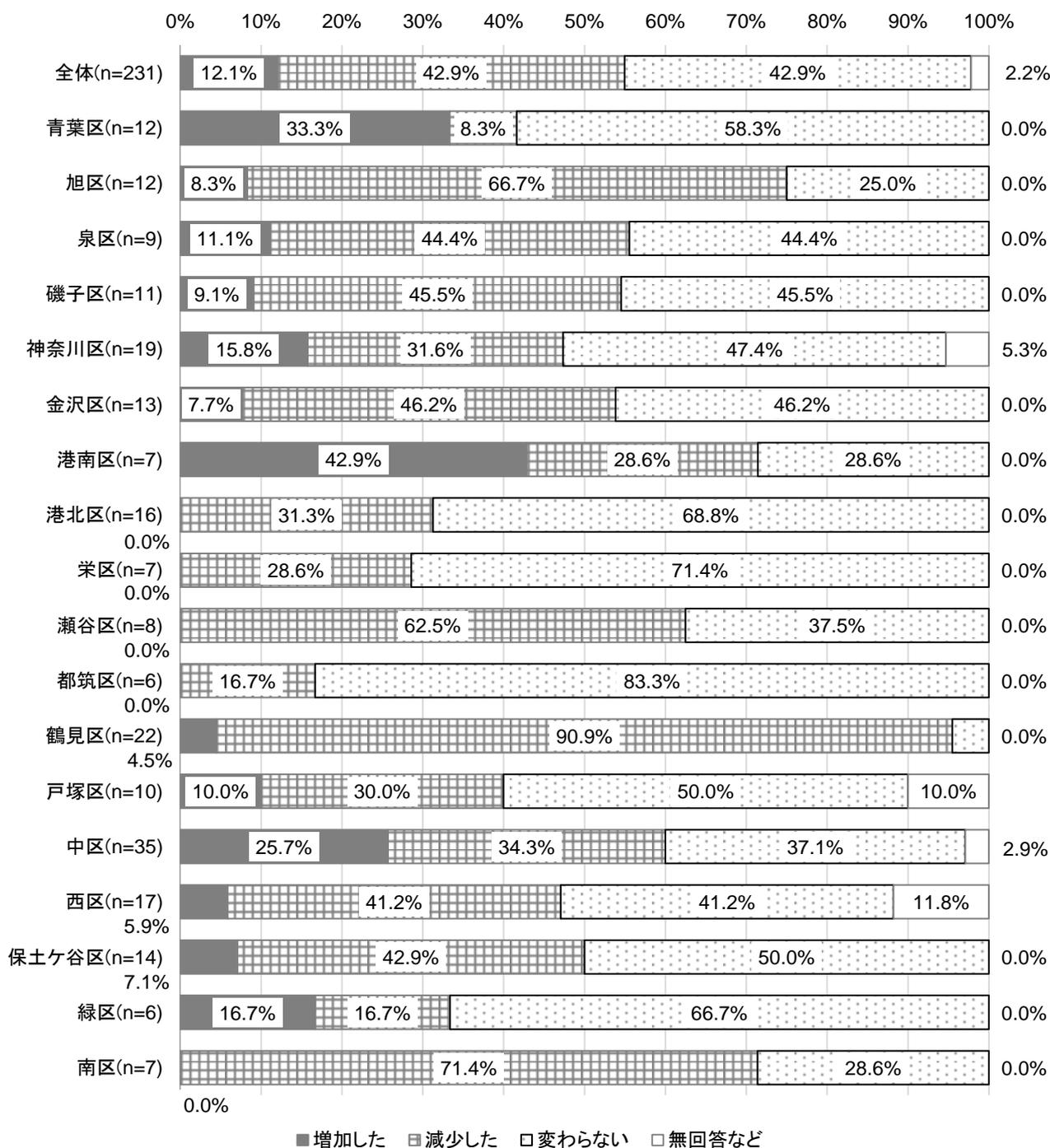
商店街への加盟率の変化は「減少した」「変わらない」が共に42.9%であった。また「増加した」は12.1%であった。



図表 5-1 商店街への加盟率の変化[全体]

【区別】

区別にみると最も「増加した」が高い区が「港南区」(42.9%)であった。また「増加した」が0%であったのは「港北区」「栄区」「瀬谷区」「都筑区」「南区」であった。最も「減少した」が高い区は「鶴見区」(90.9%)で、最も低い区は「都筑区」「緑区」(共に16.7%)であった。

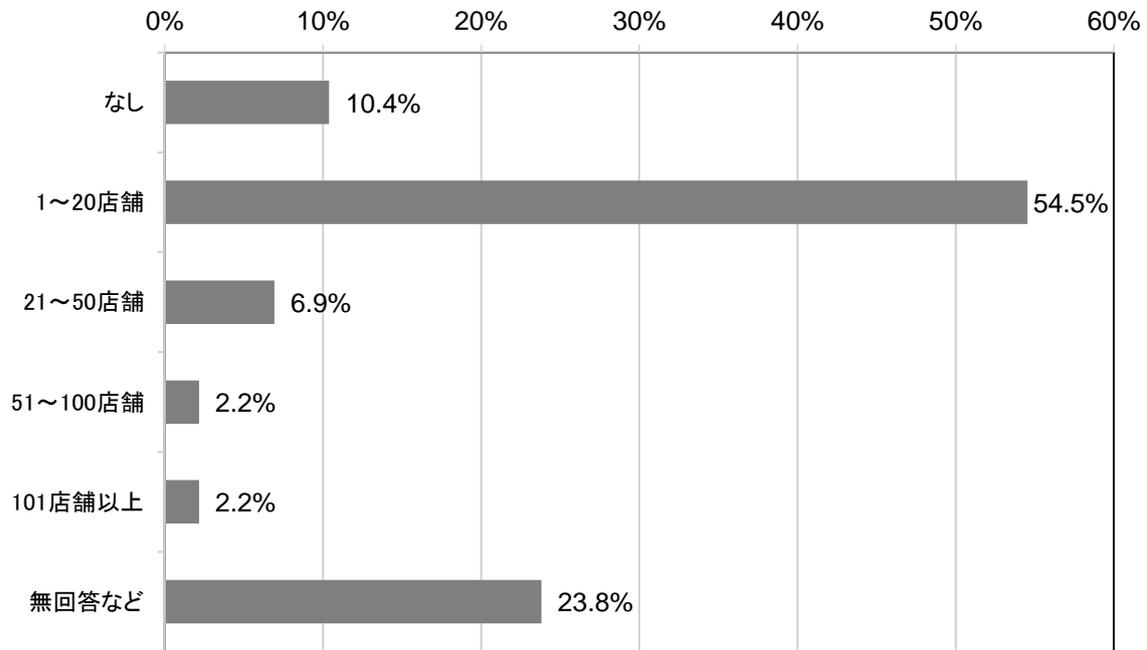


図表 5-2 商店街への加盟率の変化[区別]

問4 貴商店街に加盟していない店舗の状況をご記入ください。

【全体】

加盟していない店舗は「1～20店舗」が最も多く、54.5%であった。

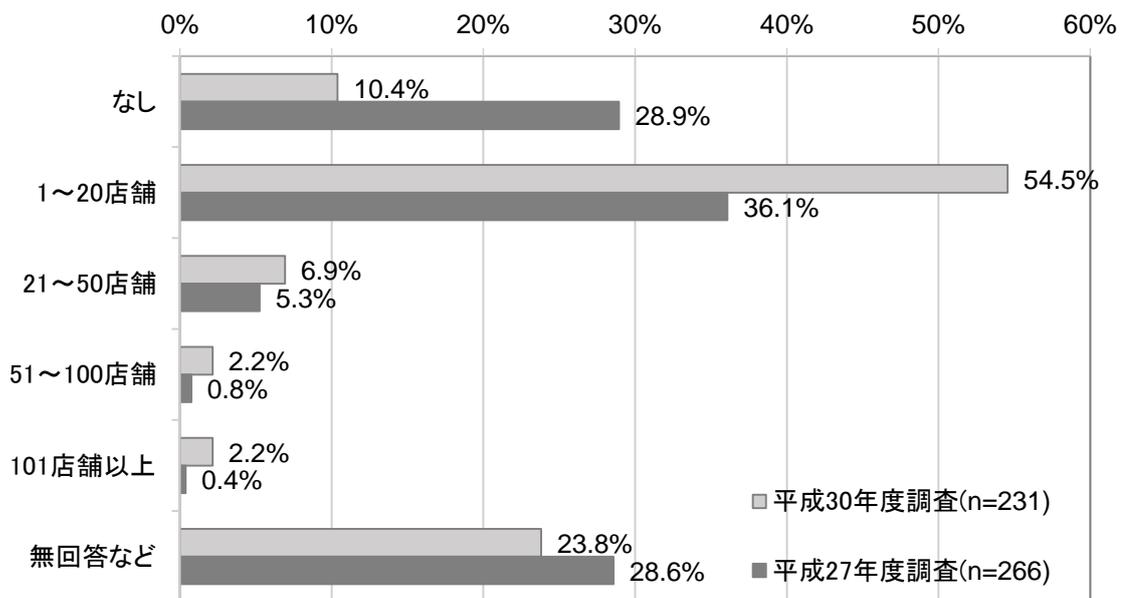


n=231

図表6-1 非加盟店舗の有無[全体]

【経年比較】

平成27年度調査と比較すると、「なし」が18.5ポイント減少している一方、「1～20店舗」が18.4ポイント増加している。

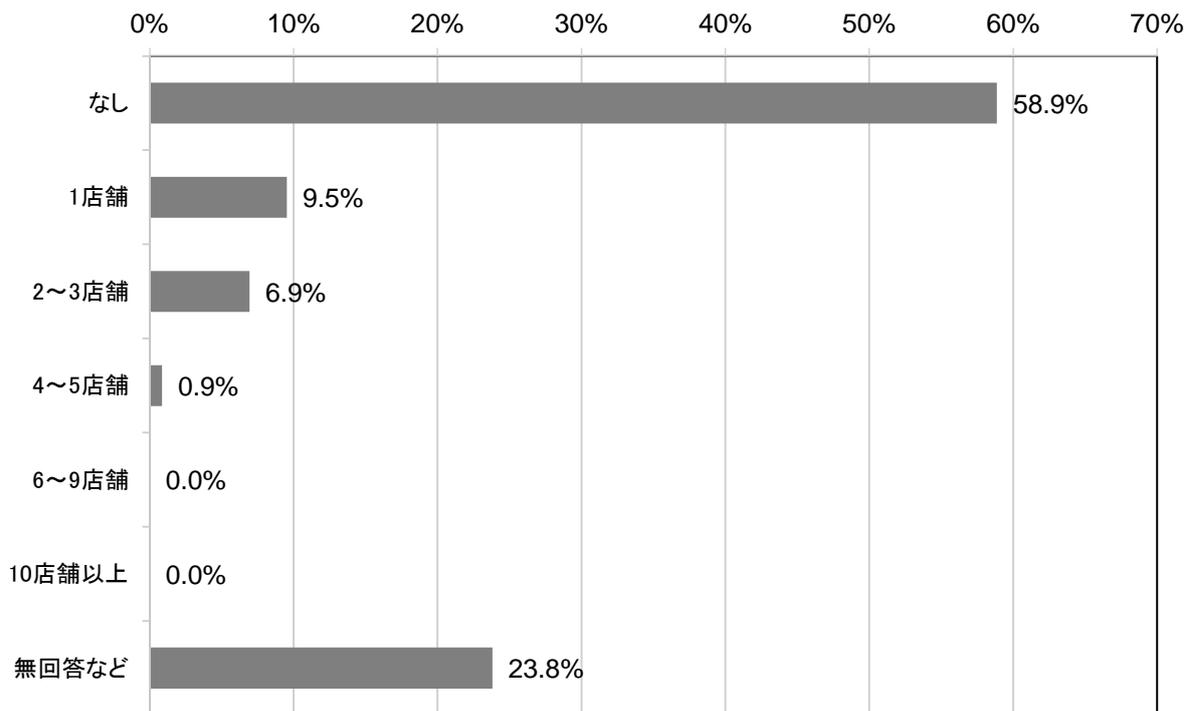


図表6-2 非加盟店舗の有無[経年比較]

- 大 型 店 : 小売業を行うために用いられる床面積の合計が 1,000 平方メートルを超える大型店
- チェーン店 : 大型店以外のレギュラーチェーン（直営店）、フランチャイズチェーン
- そ の 他 : 大型店、チェーン店以外の個人営業等

【大型店】

商店街に加盟しない店舗のうち、「大型店」の店舗数は「なし」が最も多く、58.9%であった。

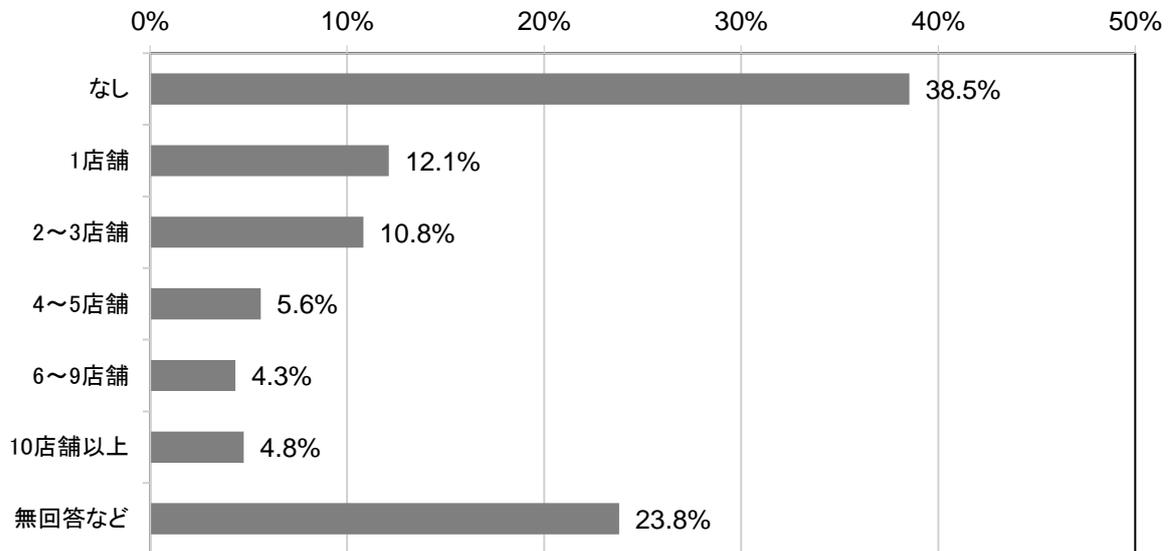


図表6-3 非加盟店舗数[大型店]

n=231

【チェーン店】

商店街に加盟しない店舗のうち、「チェーン店」の店舗数は「なし」が最も多く、38.5%であった。次いで「1店舗」(12.1%)、「2～3店舗」(10.8%)の順となった。

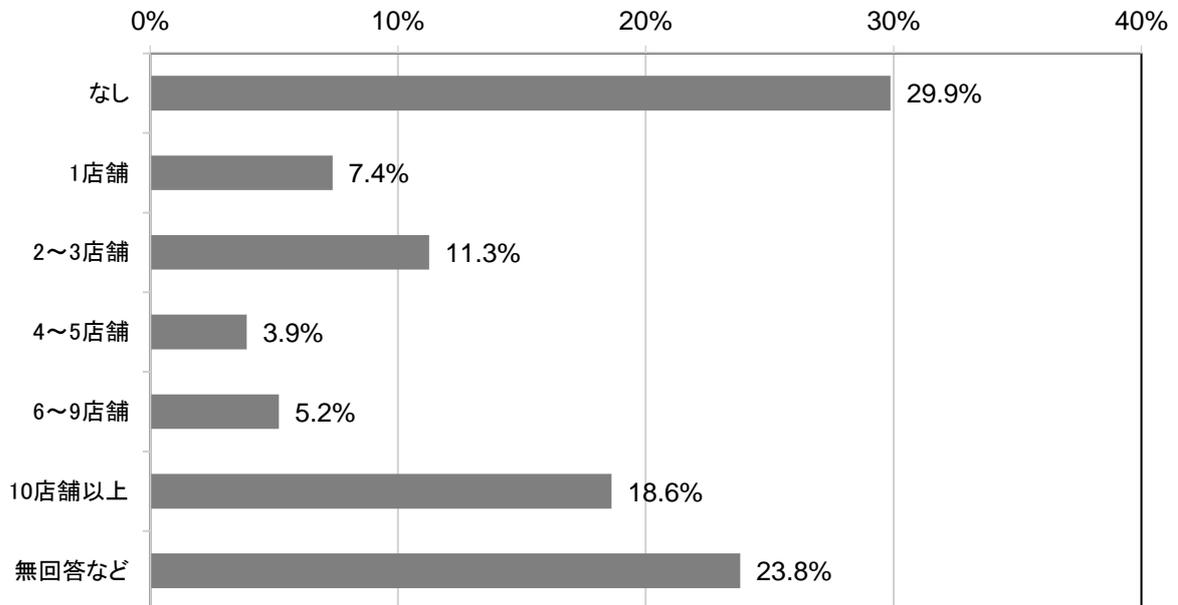


n=231

図表6-4 非加盟店舗数[チェーン店]

【その他】

商店街に加盟しない店舗のうち、「その他」の店舗数は「なし」が最も多く、29.9%であった。次いで「10店舗以上」(18.6%)、「2～3店舗」(11.3%)の順となった。



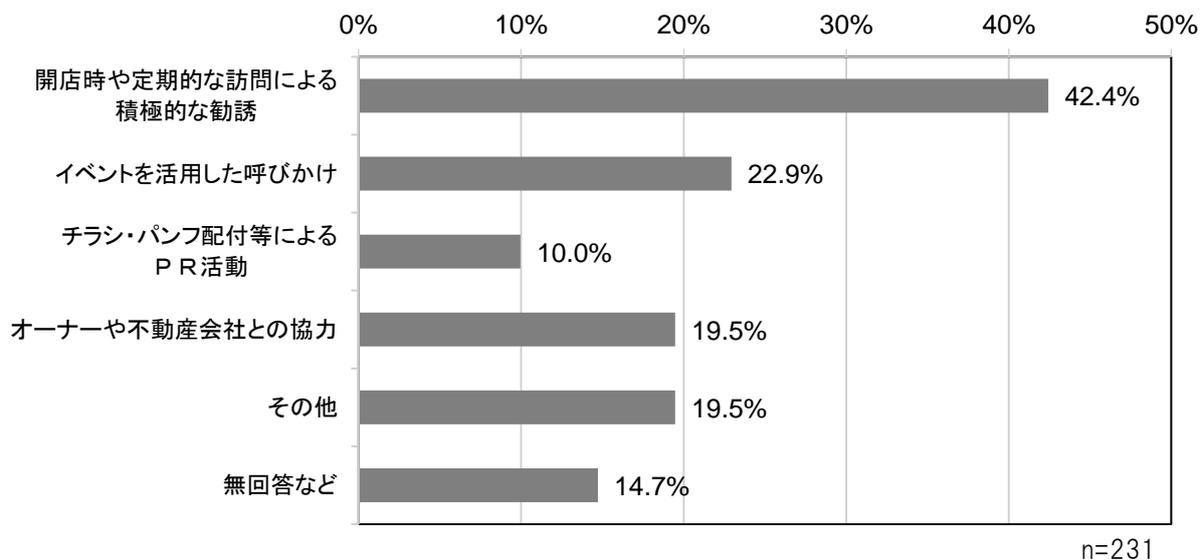
n=231

図表6-5 非加盟店舗数[その他]

問5 貴商店街ではどのような加盟勧誘活動を行っていますか。

【全体】

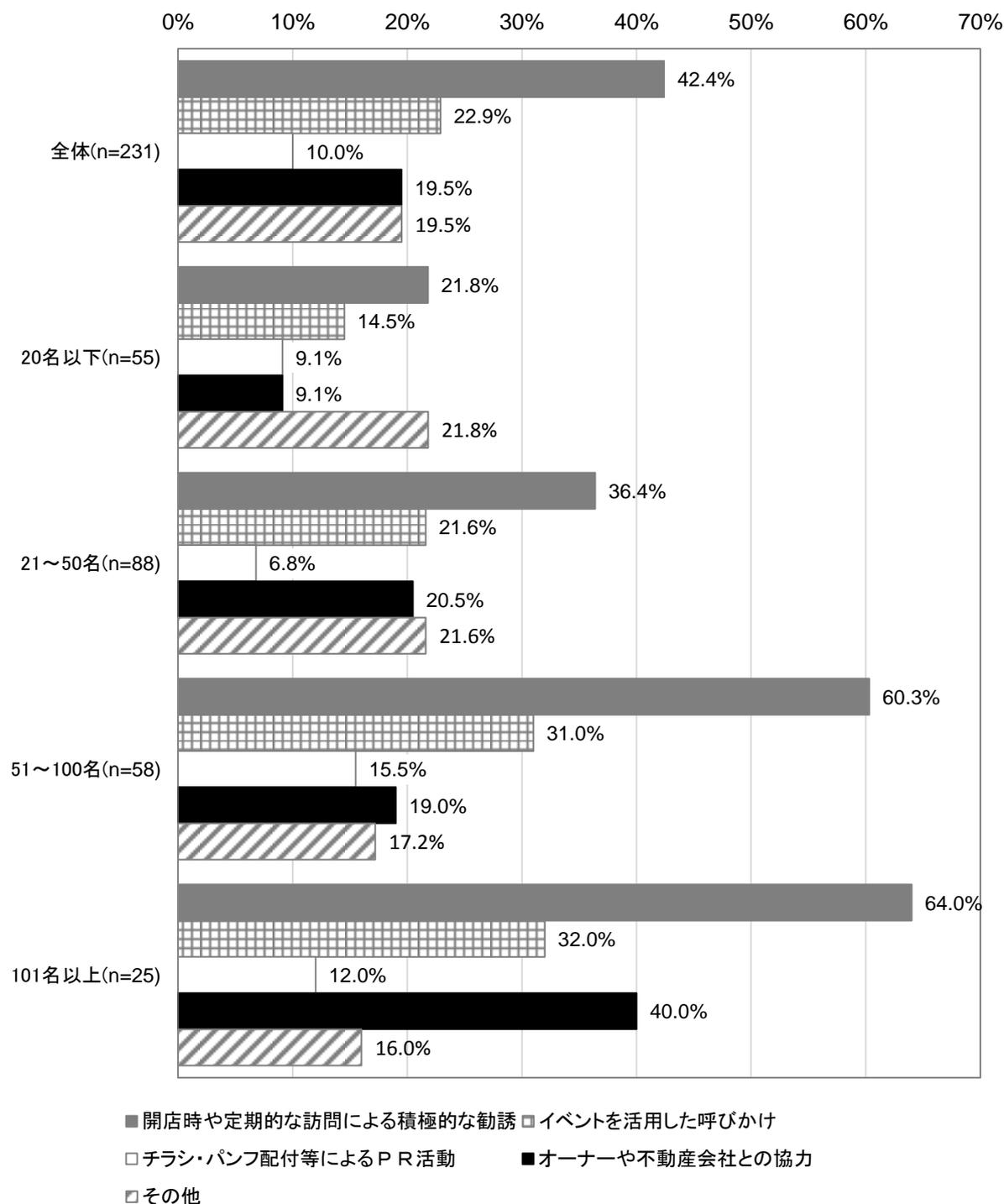
加盟店の勧誘活動の手段として「開店時や定期的な訪問による積極的な勧誘」(42.4%)が最も多く、次いで「イベントを活用した呼びかけ」(22.9%)、「オーナーや不動産会社との協力」(19.5%)の順となった。



図表7-1 加盟勧誘活動[全体]

【会員数別】

どの勧誘活動においても、会員数が多いほど、多くの勧誘活動を行っている傾向がある。特に「開店時や定期的な訪問による積極的な勧誘」が会員51名以上の商店街においては60%を超える割合である一方、「21名～50名」は36.4%、「20名以下」は21.8%となっている。



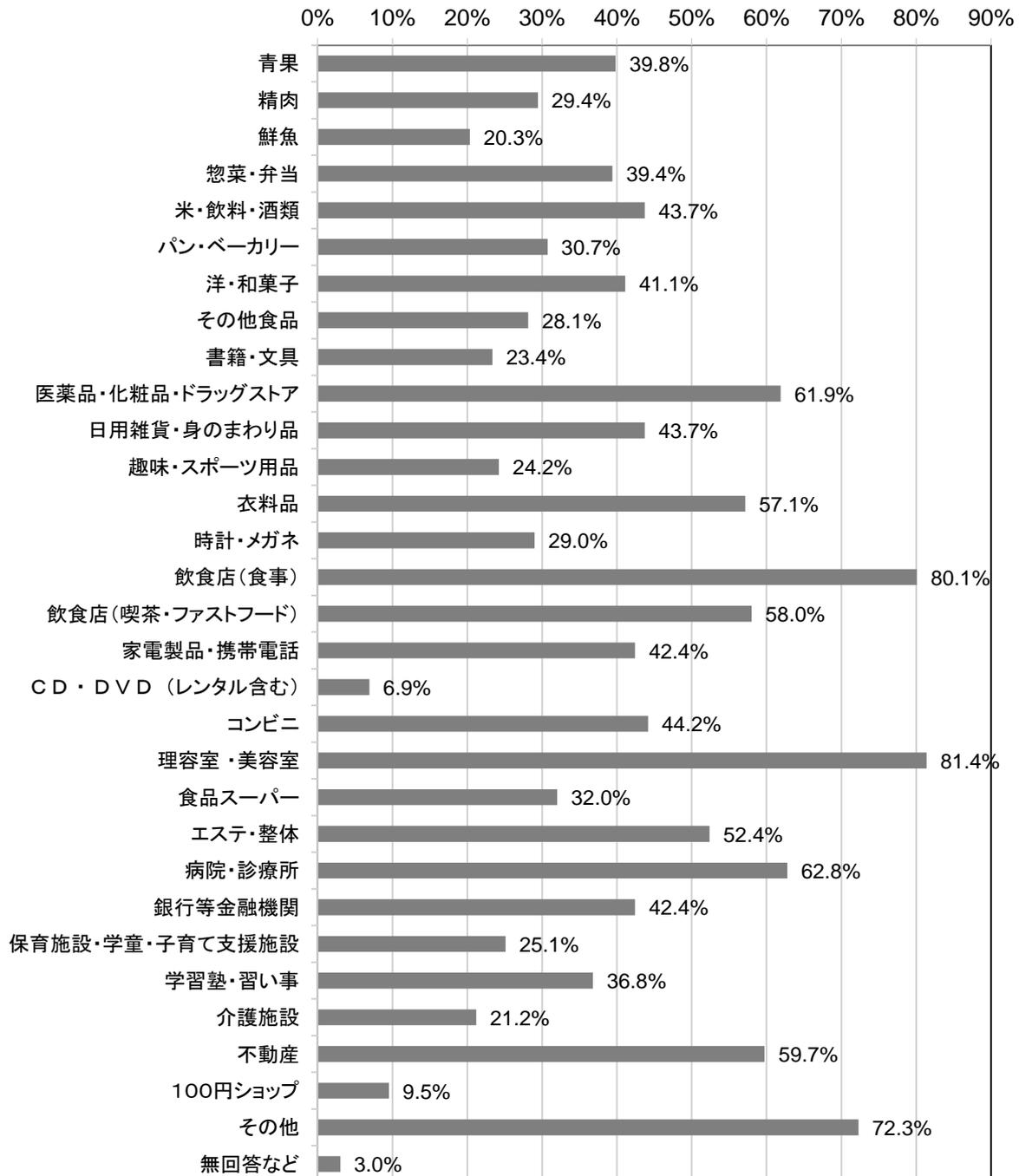
図表7-2 加盟勧誘活動[会員数別]

(2) 商店街の構成業種と不足業種

問6 現在、貴商店街を構成する店舗の数を業種・業態毎にご記入ください。

【全体】

商店街を構成する業種・業態では「理容室・美容室」が最も多く、81.4%であった。次いで「飲食店(食事)」(80.1%)、「その他」(72.3%)、「病院・診療所」(62.8%)、「医薬品・化粧品・ドラッグストア」(61.9%)の順となった。生鮮3品では「青果」が最も多く、39.8%となったが、「精肉」(29.4%)、「鮮魚」(20.3%)は3割に満たない。

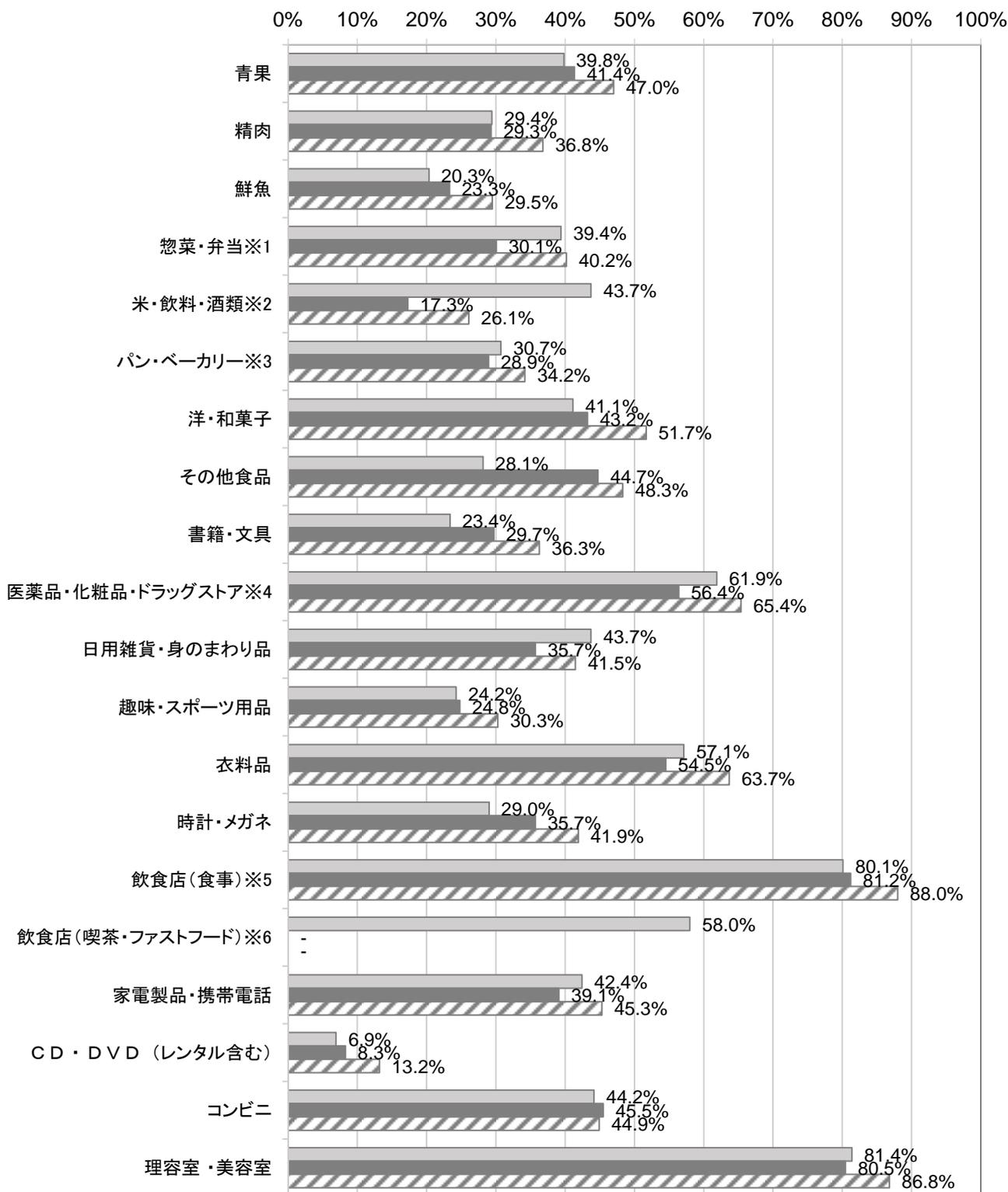


図表8-1 構成業種[全体]

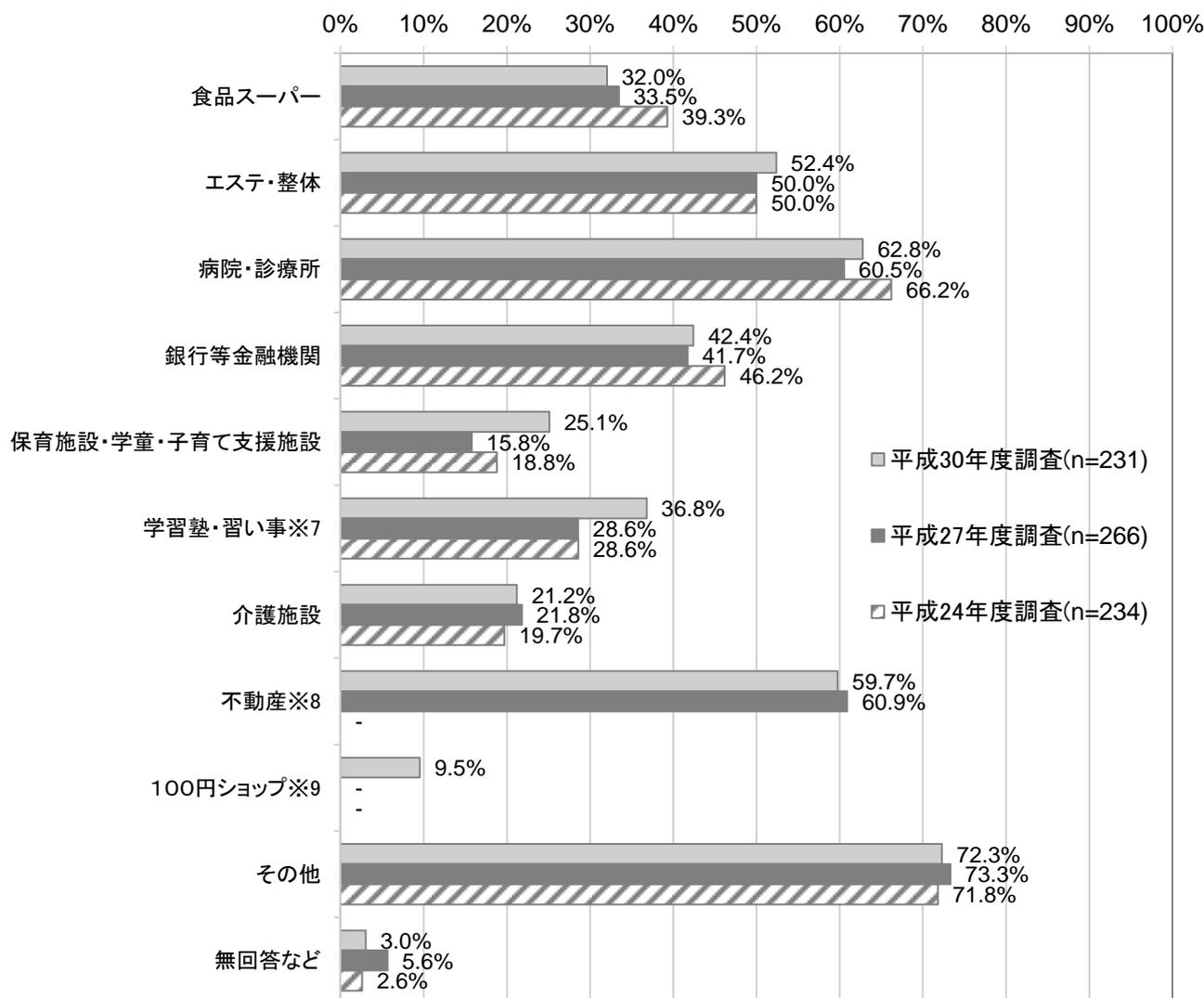
n=231

【経年比較】

平成24年度調査、平成27年度調査と比較しても、傾向に大きな違いはみられず、全体として減少傾向にある。その中でも「鮮魚」「洋・和菓子」「書籍・文具」「時計・メガネ」の減少が目立つ。一方で「保育施設・学童・子育て支援施設」「学習塾・習い事」は平成30年度では増加している。



[次ページに続く]



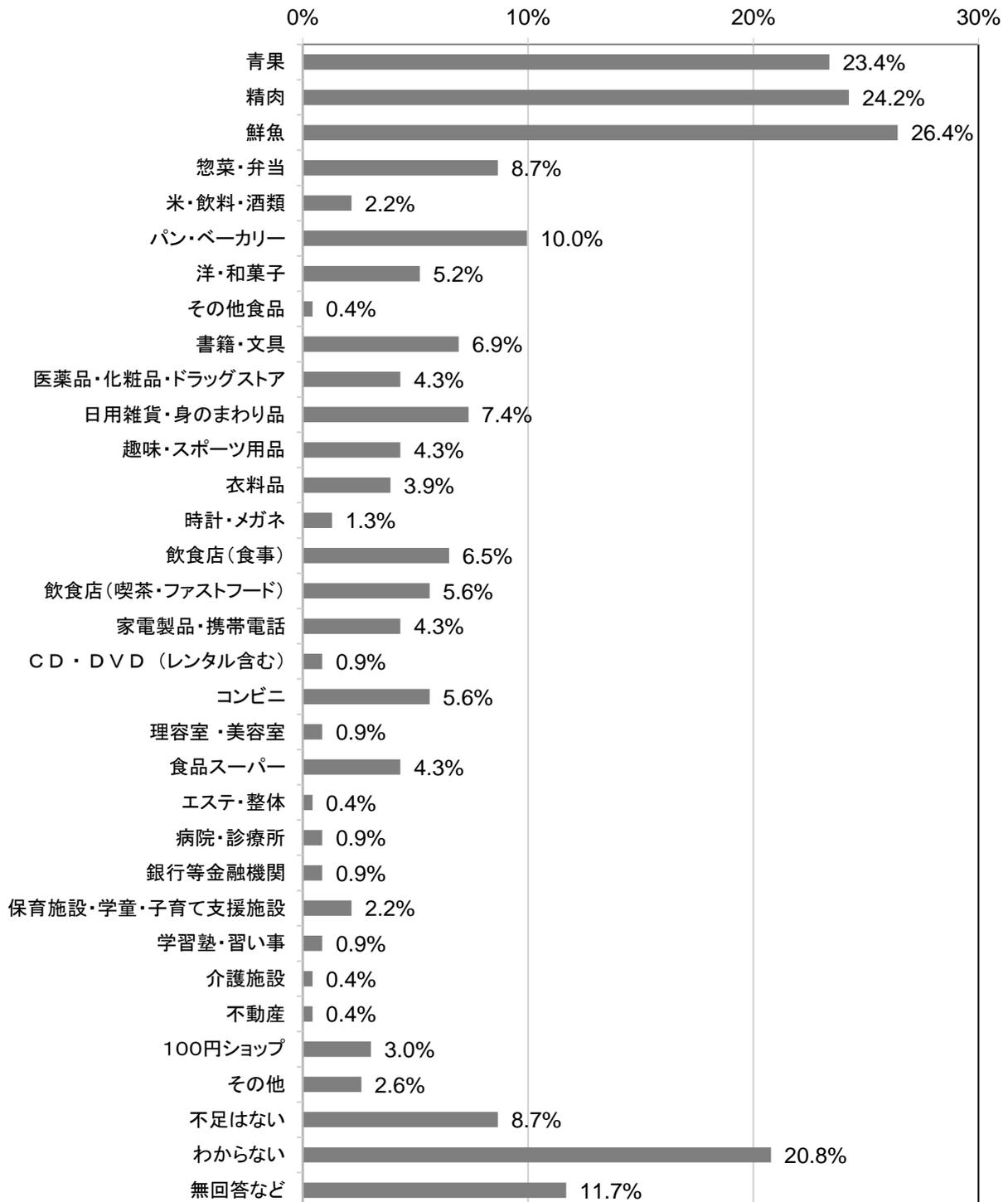
図表8-2 構成業種[経年比較]

- ※1 平成24年度、平成27年度調査での「惣菜」は平成30年度では「惣菜・弁当」として計上した。
- ※2 平成24年度、平成27年度調査での「米穀」は平成30年度では「米・飲料・酒類」として計上した。
- ※3 平成24年度、平成27年度調査での「パン」は平成30年度では「パン・ベーカリー」として計上した。
- ※4 平成24年度、平成27年度調査での「医療品・化粧品」は平成30年度では「医療品・化粧品・ドラッグストア」として計上した。
- ※5 平成24年度、平成27年度調査での「飲食店」は平成30年度では「飲食店(食事)」として計上した。
- ※6 「飲食店(喫茶・ファストフード)」の選択肢は、平成30年度調査で新設した。
- ※7 平成24年度、平成27年度調査での「学習塾」は平成30年度では「学習塾・習い事」として計上した。
- ※8 「不動産」の選択肢は、平成27年度調査で新設した。
- ※9 「100円ショップ」の選択肢は、平成30年度調査で新設した。

問7 現在、貴商店街に不足していると感じている業種・業態は何ですか。

【全体】

「鮮魚」が最も多く26.4%であった。次いで「精肉」(24.2%)、「青果」(23.4%)の順となり、生鮮3品が上位3位を占めた。その他、「パン・ベーカリー」(10.0%)、「惣菜・弁当」(8.7%)など食品類の割合が高かった。

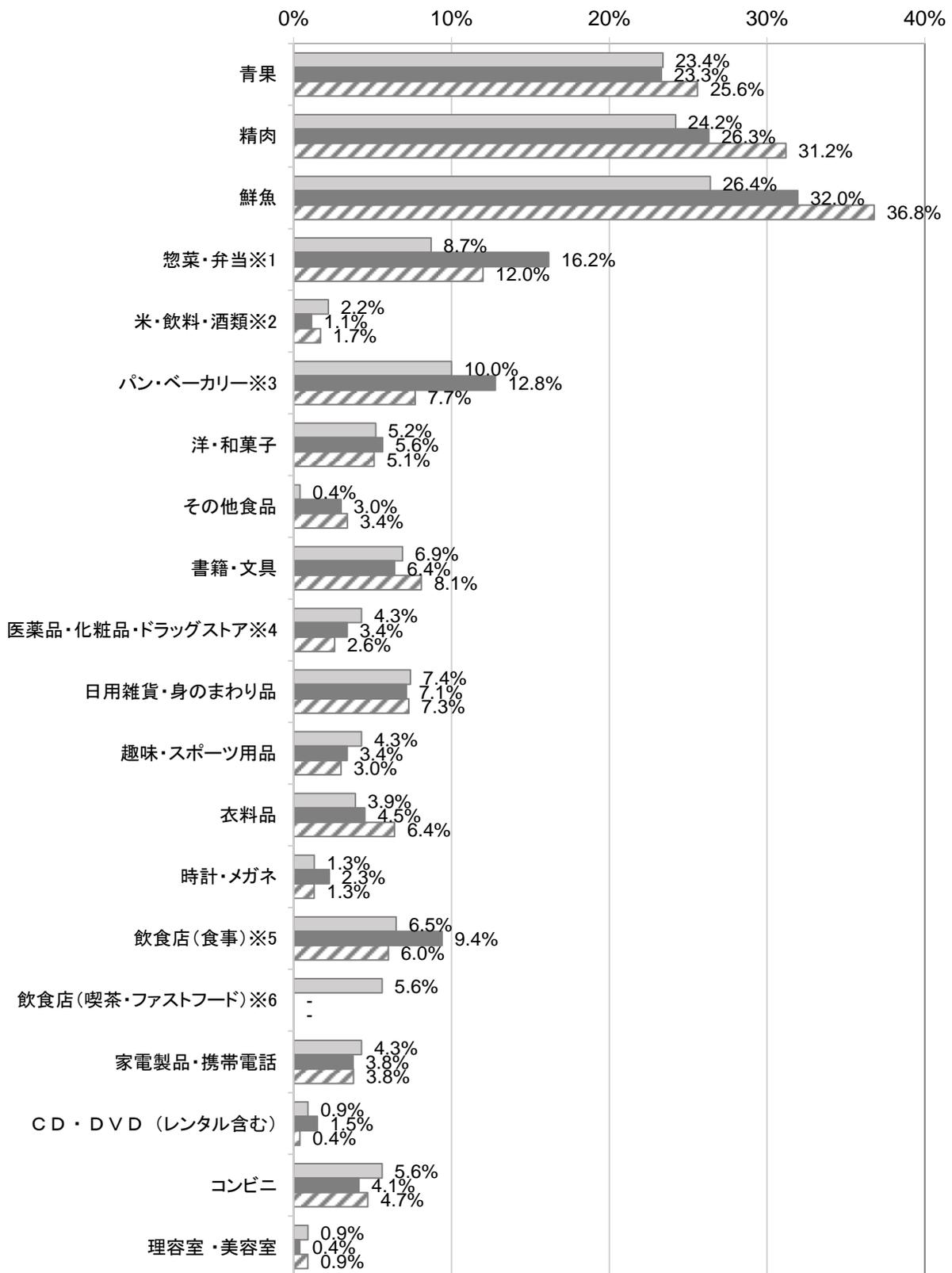


n=231

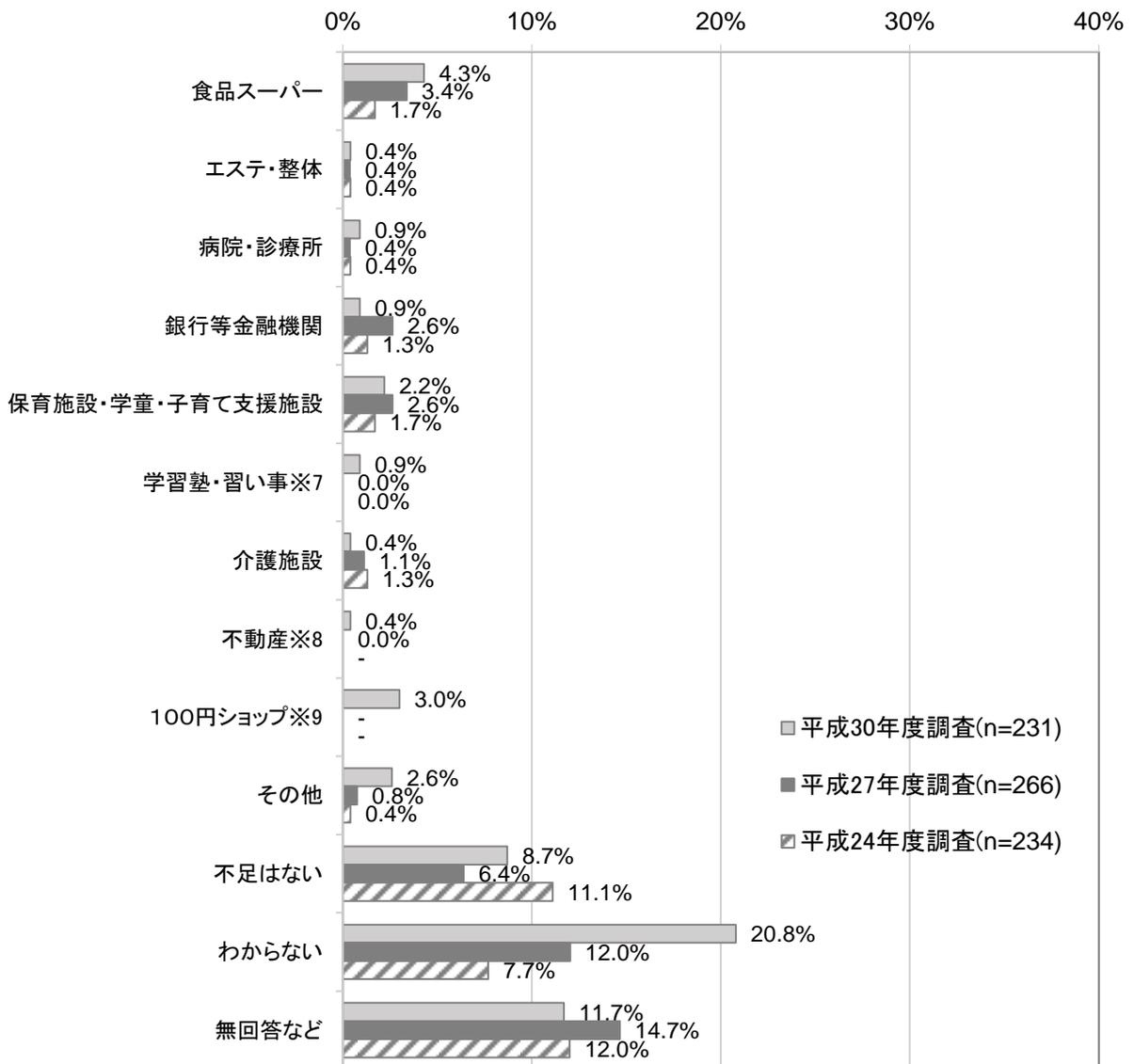
図表9-1 不足している業種[全体]

【経年比較】

平成24年度調査、平成27年度調査と比較しても、傾向に大きな違いはみられなかったが、「精肉」「鮮魚」の減少が目立つ。「惣菜・弁当」も平成27年度に比べ、7.5ポイント減少している。



[次ページに続く]



図表9-2 不足している業種[経年比較]

※1 平成24年度、平成27年度調査での「惣菜」は平成30年度では「惣菜・弁当」として計上した。

※2 平成24年度、平成27年度調査での「米穀」は平成30年度では「米・飲料・酒類」として計上した。

※3 平成24年度、平成27年度調査での「パン」は平成30年度では「パン・ベーカリー」として計上した。

※4 平成24年度、平成27年度調査での「医療品・化粧品」は平成30年度では「医療品・化粧品・ドラッグストア」として計上した。

※5 平成24年度、平成27年度調査での「飲食店」は平成30年度では「飲食店(食事)」として計上した。

※6 「飲食店(喫茶・ファストフード)」の選択肢は、平成30年度調査で新設した。

※7 平成24年度、平成27年度調査での「学習塾」は平成30年度では「学習塾・習い事」として計上した。

※8 「不動産」の選択肢は、平成27年度調査で新設した。

※9 「100円ショップ」の選択肢は、平成30年度調査で新設した。

【区別】

不足業種・業態を区別に集計したところ、全体集計(図表9-1)と同じく、食料品が上位を占めた。

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=231)	鮮魚 26.4%	精肉 24.2%	青果 23.4%	わからない 20.8%	パン・ベーカリー 10.0%
青葉区 (n=12)	青果/鮮魚 41.7%		精肉 33.3%	不足はない 25.0%	洋・和菓子/コンビニ 16.7%
旭区 (n=12)	青果/精肉/鮮魚 41.7%			惣菜・弁当/米・飲料・酒類/パン・ベーカリー/時計・メガネ 16.7%	
泉区 (n=9)	洋・和菓子/日用雑貨・身のまわり品/衣料品/わからない 22.2%				青果/パン・ベーカリー/趣味・スポーツ用品/食品スーパー 11.1%
磯子区 (n=11)	精肉 36.4%	青果 27.3%	鮮魚/惣菜・弁当/パン・ベーカリー/その他/不足はない 18.2%		
神奈川区 (n=19)	鮮魚 36.8%	パン・ベーカリー 31.6%	精肉/100円ショップ 26.3%		洋・和菓子 21.1%
金沢区 (n=13)	鮮魚 30.8%	青果/精肉/わからない 23.1%			パン・ベーカリー/書籍・文具/飲食店(食事) 15.4%
港南区 (n=7)	青果/日用雑貨・身のまわり品/飲食店(喫茶・ファストフード) 28.6%		鮮魚/パン・ベーカリー/書籍・文具/飲食店(食事)/コンビニ 14.3%		
港北区 (n=16)	精肉 25.0%	青果/鮮魚/わからない 18.8%		飲食店(食事) 12.5%	
栄区 (n=7)	青果/精肉/飲食店(食事) 28.6%		鮮魚/惣菜・弁当/書籍・文具/医薬品・化粧品・ドラッグストア/日用雑貨・身のまわり品 14.3%		
瀬谷区 (n=8)	青果/精肉/鮮魚 37.5%		コンビニ/わからない 25.0%		
都筑区 (n=6)	不足はない 50.0%	鮮魚 33.3%	青果/精肉/惣菜・弁当/医薬品・化粧品・ドラッグストア 16.7%		
鶴見区 (n=22)	鮮魚 45.5%	青果/わからない 22.7%		精肉 18.2%	惣菜・弁当/パン・ベーカリー/飲食店(喫茶・ファストフード) 13.6%
戸塚区 (n=10)	精肉/鮮魚 30.0%		青果/書籍・文具/趣味・スポーツ用品/わからない 20.0%		
中区 (n=35)	わからない 40.0%	青果 17.1%	不足はない 14.3%	精肉/鮮魚/家電製品・携帯電話 11.4%	
西区 (n=17)	わからない 52.9%	精肉/鮮魚/パン・ベーカリー 17.6%			青果/惣菜・弁当/コンビニ/食品スーパー 5.9%

[次ページに続く]

	1位	2位	3位	4位	5位
保土ヶ谷区 (n=14)	精肉 35.7%	青果 28.6%	鮮魚/わからない 21.4%		惣菜・弁当/書籍・文具 14.3%
緑区 (n=6)	精肉 66.7%	鮮魚 50.0%	青果 33.3%	医薬品・化粧品・ドラッグストア/日用雑貨・身のまわり品/飲食店(喫茶・ファストフード)/100円ショップ 16.7%	
南区 (n=7)	青果 42.9%	精肉/鮮魚/洋・和菓子 28.6%			米・飲料・酒類/日用雑貨・身のまわり品/趣味・スポーツ用品/コンビニ 14.3%

図表9-3 不足している業種[区別]

※上位5位までを抽出

【会員数別】

どの会員数においても生鮮3品が上位となっている。「101名以上」では、「飲食店(喫茶・ファストフード)」が上位に入った。

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=231)	鮮魚 26.4%	精肉 24.2%	青果 23.4%	わからない 20.8%	パン・ベーカリー 10.0%
20名以下 (n=55)	鮮魚 25.5%	精肉 23.6%	青果/わからない 21.8%		パン・ベーカリー 12.7%
21~50名 (n=88)	精肉/鮮魚 29.5%		青果 28.4%	わからない 23.9%	パン・ベーカリー 12.5%
51~100名 (n=58)	鮮魚 25.9%	精肉 20.7%	青果 19.0%	わからない 15.5%	惣菜・弁当/不足はない 10.3%
101名以上 (n=25)	青果 24.0%	鮮魚/飲食店(喫茶・ファストフード)/不足はない 20.0%			精肉/わからない 16.0%

図表9-4 不足している業種[会員数別]

※上位5位までを抽出

【商店街タイプ別】

「近隣型商店街」、「地域型商店街」では生鮮3品が上位に入っている。

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=231)	鮮魚 26.4%	精肉 24.2%	青果 23.4%	わからない 20.8%	パン・ベーカリー 10.0%
近隣型商店街 (n=117)	鮮魚 32.5%	青果/精肉 31.6%		わからない 15.4%	パン・ベーカリー 12.0%
地域型商店街 (n=61)	鮮魚 26.2%	精肉 21.3%	わからない 18.0%	青果 16.4%	パン・ベーカリー 14.8%
広域型商店街 (n=17)	不足はない 29.4%	わからない 23.5%	青果/精肉/鮮魚 11.8%		
超広域型商店街 (n=1)	飲食店(食事) 100.0%				
その他の 商業エリア等 (n=15)	わからない 53.3%	不足はない 26.7%	青果/精肉/鮮魚/惣菜・弁当/飲食店(喫茶・ファストフード)/家電製品・携帯電話/米・飲料・酒類 6.7%		

図表9-5 不足している業種[商店街タイプ別]

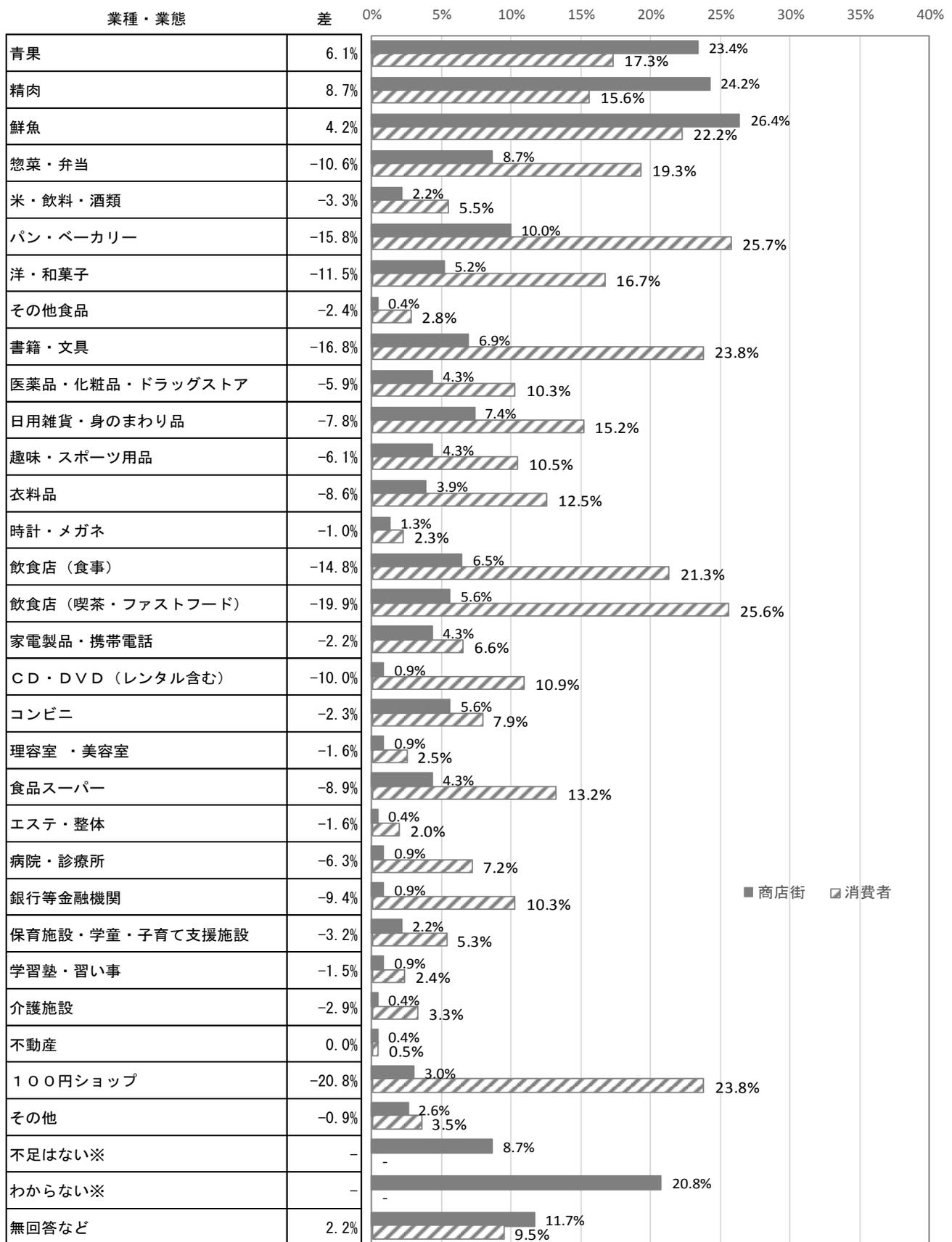
※上位5位までを抽出

【消費者購買行動意識調査との比較】

平成30年度実施の『消費者購買行動意識調査』(問3「商店街に開店してほしい、もっと増えてほしいお店」と比較した。

商店街が最も不足していると感じている業種・業態は「鮮魚」(26.4%)であるのに対して、消費者が商店街に開店してほしい、もっと増えてほしいと思う業種・業態は「パン・ベーカリー」(25.7%)であった。また、商店街と消費者のポイント差は、「精肉」は8.7%、「100円ショップ」が-20.8%となった。

※問7「貴商店街に不足していると感じている業種・業態」と『消費者購買行動意識調査』(問3「商店街に開店してほしい、もっと増えてほしいお店」)を比較し、差として現した。消費者ニーズが、商店街が不足していると感じている業種・業態を上回るとマイナス表記となる。



図表9-6 不足している業種[消費者購買行動意識調査との比較]

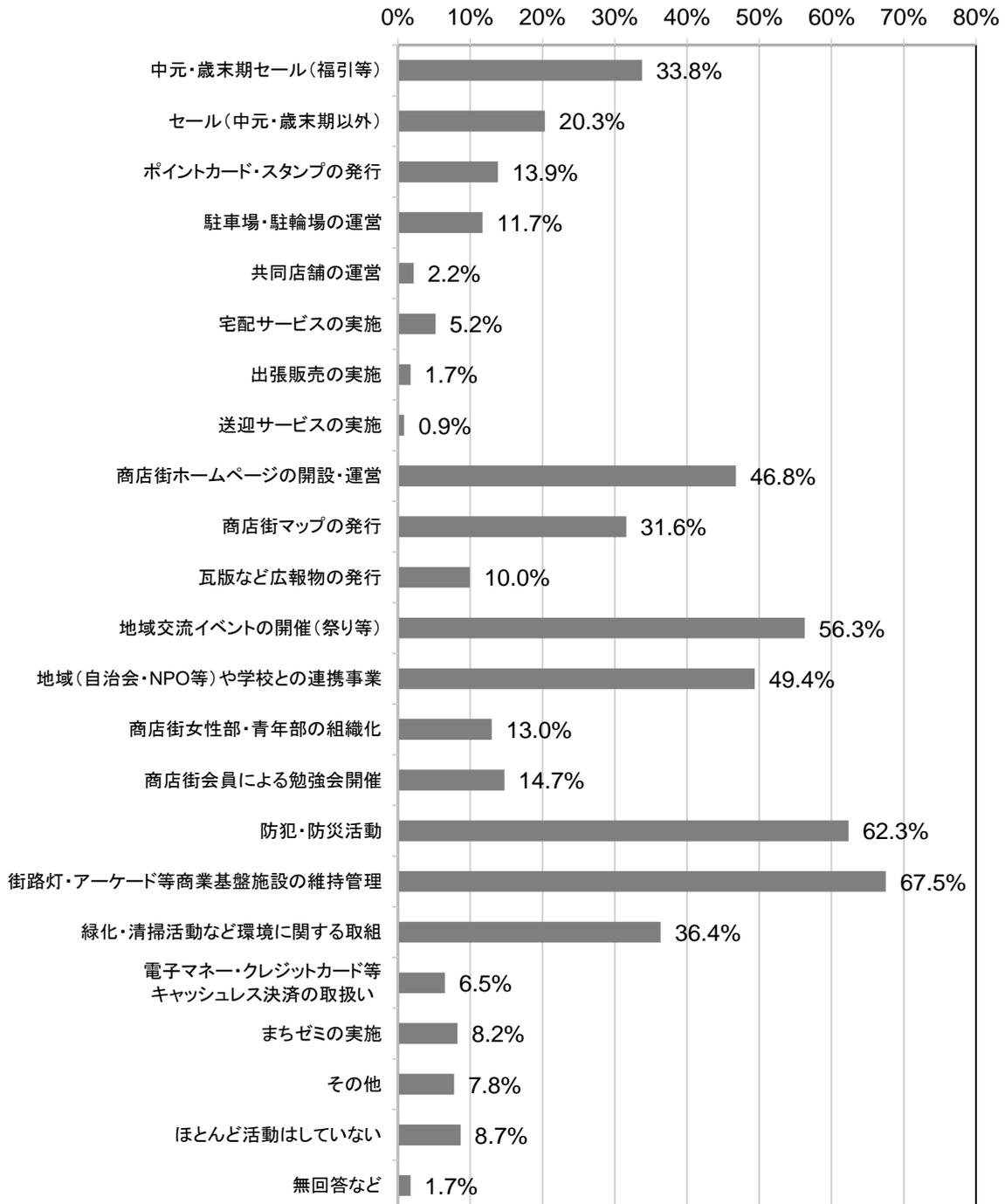
※「消費者購買行動意識調査」には回答選択肢がない。

(3) 商店街活動について

問8 貴商店街の活動内容はどのようなものですか。

【全体】

「街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理」が最も多く、67.5%であった。次いで「防犯・防災活動」(62.3%)、「地域交流イベントの開催(祭り等)」(56.3%)の順となり、いずれも5割を超えた。一方、最も少ないのは「送迎サービスの実施」(0.9%)、次いで「出張販売の実施」(1.7%)であった。

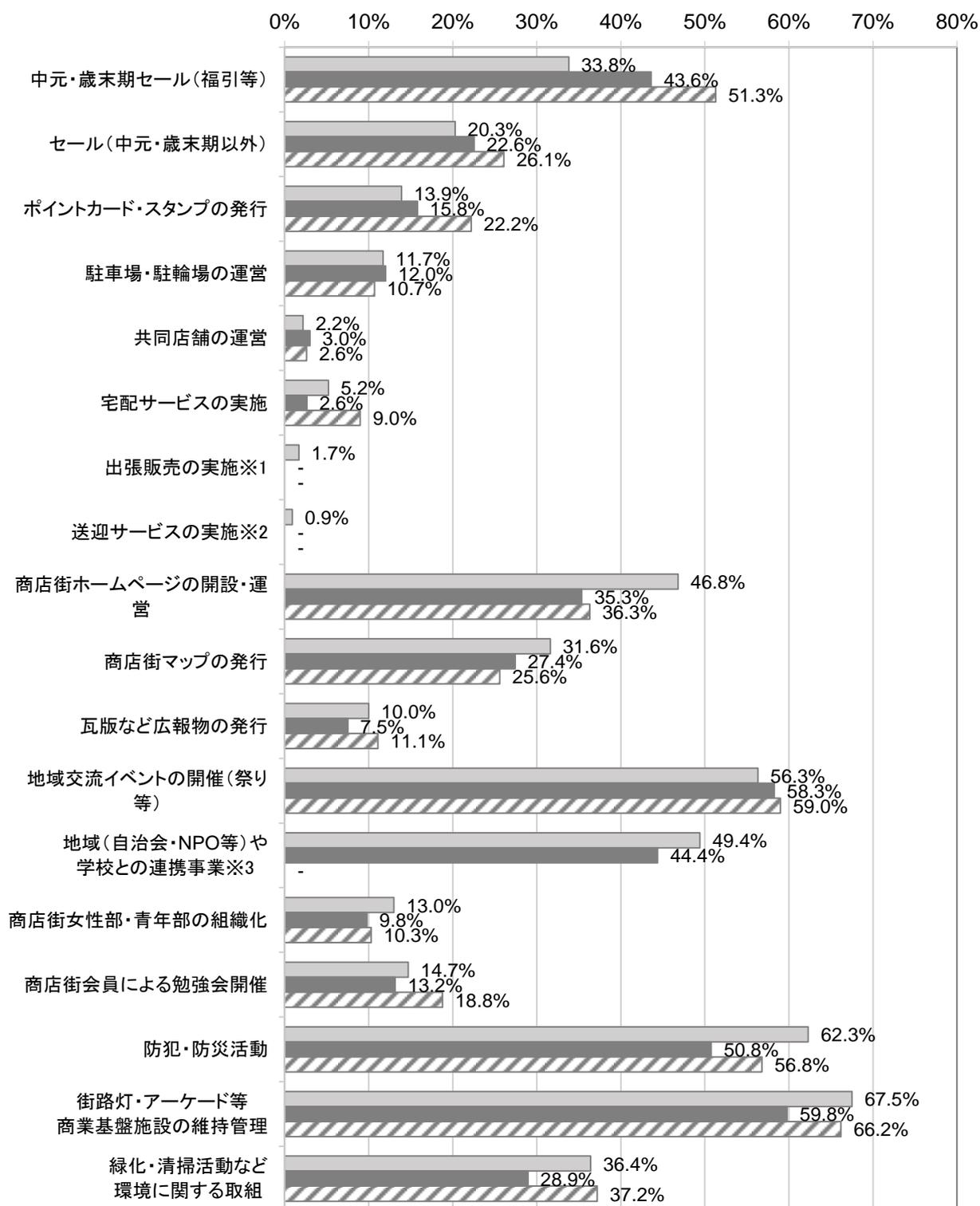


図表 10-1 商店街の活動内容[全体]

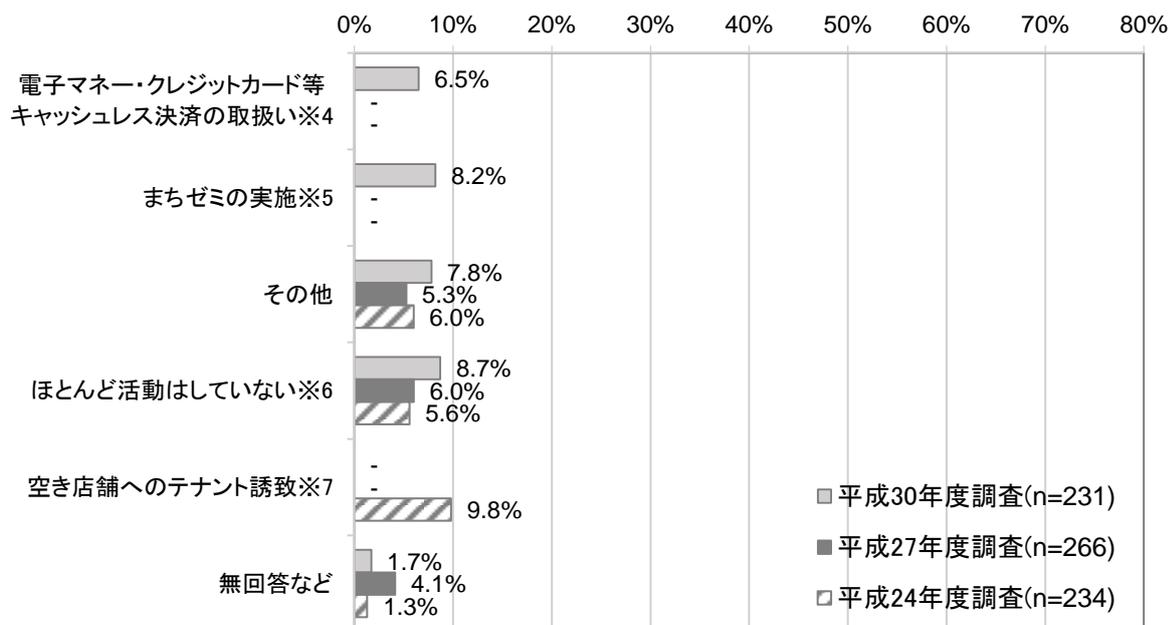
n=231

【経年比較】

平成24年度調査、平成27年度調査と比較すると、傾向に大きく変わりはないが、「中元・歳末期セール(福引等)」「ポイントカード・スタンプの発行」は減少傾向にある。一方で「商店街ホームページの開設・運営」は増加傾向にある。



[次ページに続く]



図表10-2 商店街の活動内容[経年比較]

※1 「出張販売の実施」の選択肢は、平成30年度調査で新設した。

※2 「送迎サービスの実施」の選択肢は、平成30年度調査で新設した。

※3 「地域(自治会・NPO等)や学校との連携事業」の選択肢は平成27年度調査で新設した。

※4 「電子マネー・クレジットカード等キャッシュレス決済の取扱い」の選択肢は、平成30年度調査で新設した。

※5 「まちゼミの実施」の選択肢は、平成30年度調査で新設した。

※6 平成27年度調査の「活動はしていない」、平成24年度調査の「特にない」の選択肢は、平成30年度では「ほとんど活動はしていない」として計上した。

※7 「空き店舗へのテナント誘致」の選択肢は、平成24年度調査のみの選択肢である。

【会員数別】

「101名以上」を除き、「街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理」が1位であり、また「防犯・防災活動」が2位に入っている。

「101名以上」では「商店街ホームページの開設・運営」「防犯・防災活動」が共に1位となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=231)	街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理 67.5%	防犯・防災活動 62.3%	地域交流イベントの開催（祭り等） 56.3%	地域や学校との連携事業 49.4%	商店街ホームページの開設・運営 46.8%
20名以下 (n=55)	街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理 52.7%	地域交流イベントの開催（祭り等）/地域や学校との連携事業/防犯・防災活動		43.6%	商店街ホームページの開設・運営 27.3%
21～50名 (n=88)	街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理 70.5%	防犯・防災活動 60.2%	地域交流イベントの開催（祭り等） 55.7%	地域や学校との連携事業 45.5%	商店街ホームページの開設・運営 39.8%
51～100名 (n=58)	街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理 77.6%	防犯・防災活動 72.4%	地域交流イベントの開催（祭り等） 62.1%	商店街ホームページの開設・運営/地域や学校との連携事業 58.6%	
101名以上 (n=25)	商店街ホームページの開設・運営/防犯・防災活動 84.0%		地域交流イベントの開催（祭り等） 72.0%	街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理 68.0%	商店街マップの発行/地域や学校との連携事業/環境に関する取組 64.0%

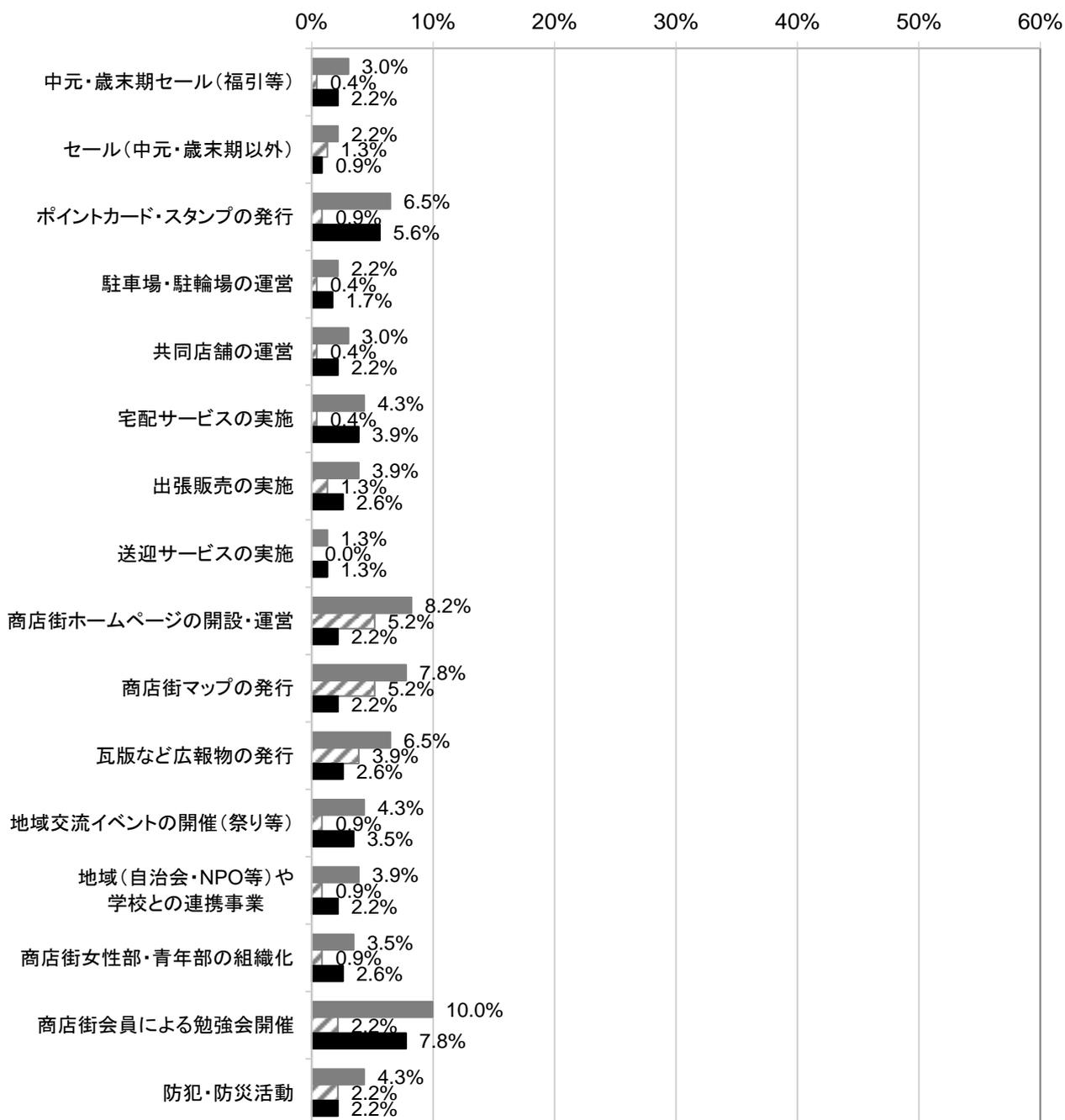
図表10-3 商店街の活動内容[会員数別]

※上位5位までを抽出

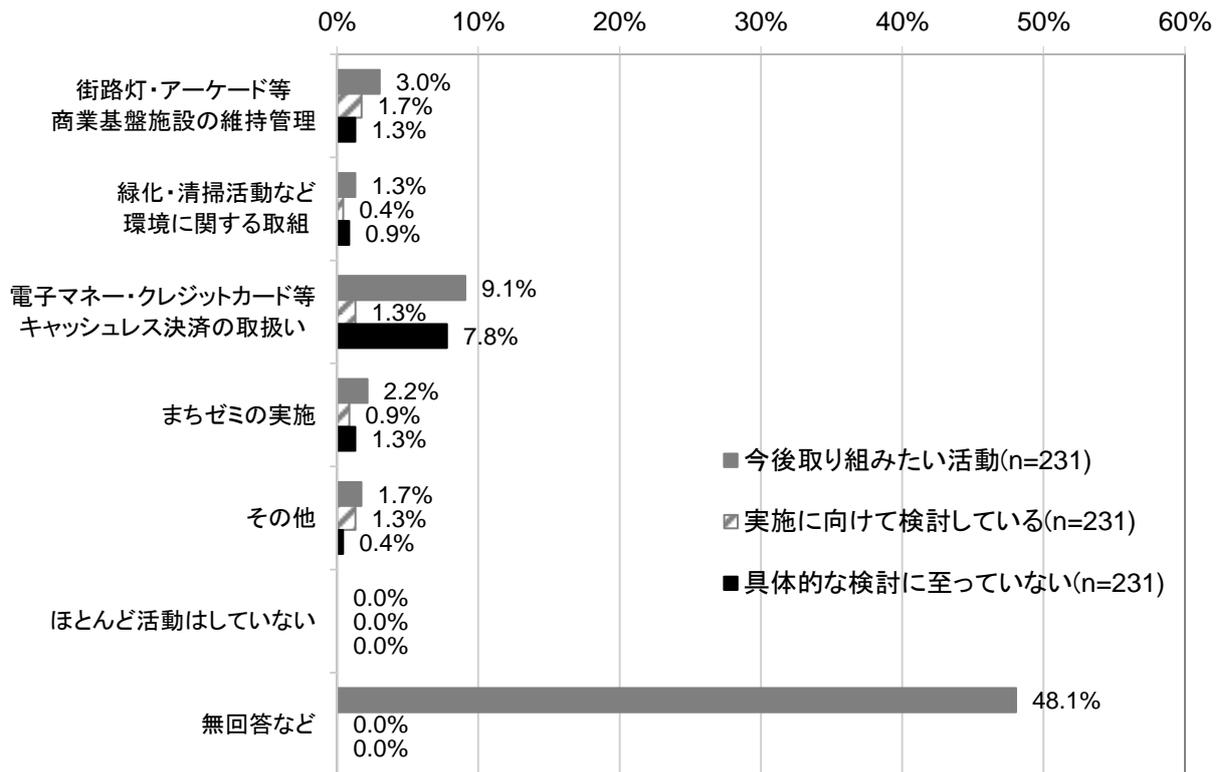
問8-2 貴商店街が今後取り組みたいと考えている活動を問8の中から選び、番号をご記入ください。また、その活動の検討状況について○をつけてください。

【全体】

今後、取り組みたいと考えている活動では「商店街会員による勉強会開催」(10.0%)、「電子マネー・クレジットカード等キャッシュレス決済の取扱い」(9.1%)が多いが、一方で共に「具体的な検討に至っていない」(共に7.8%)が多い。



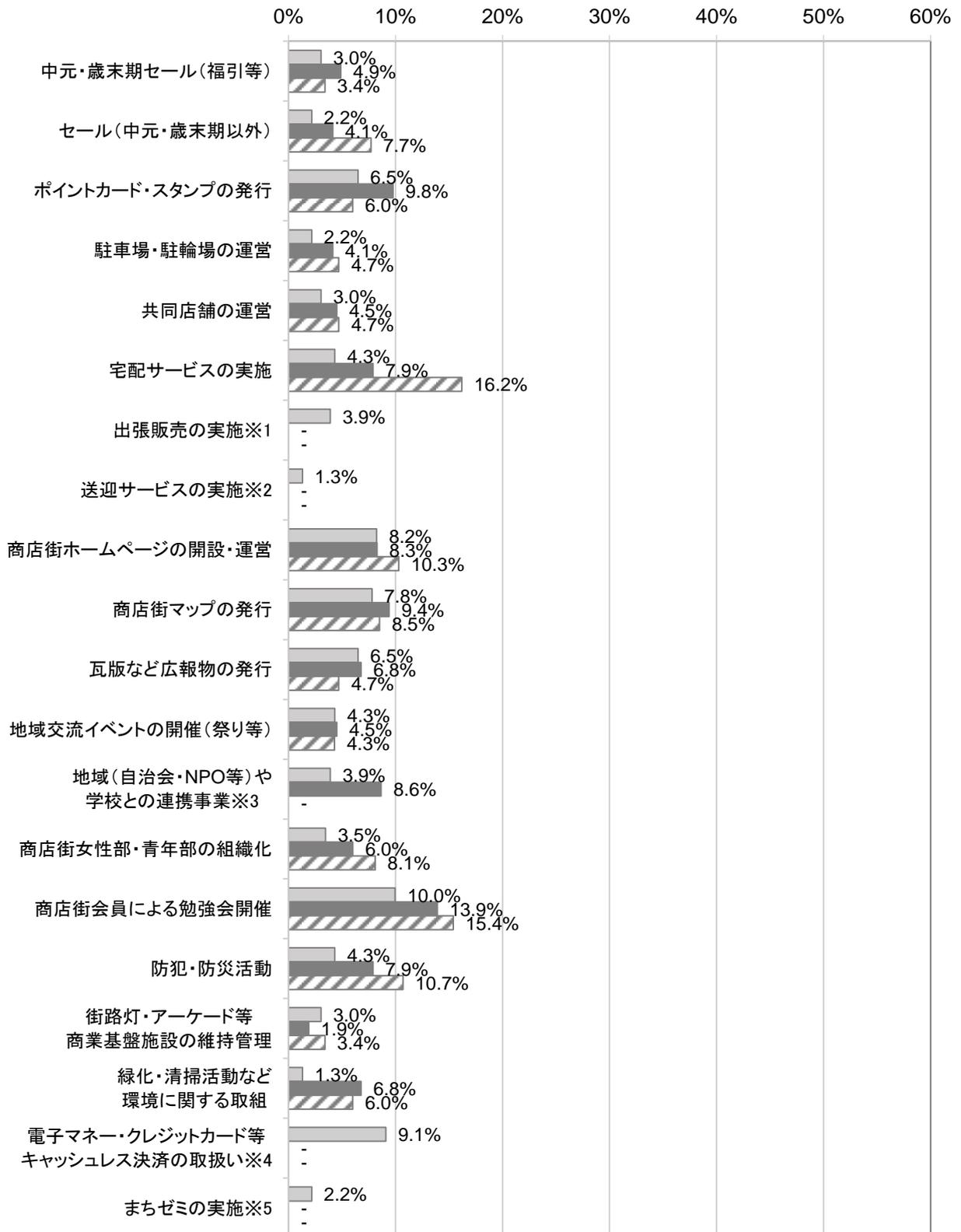
[次ページに続く]



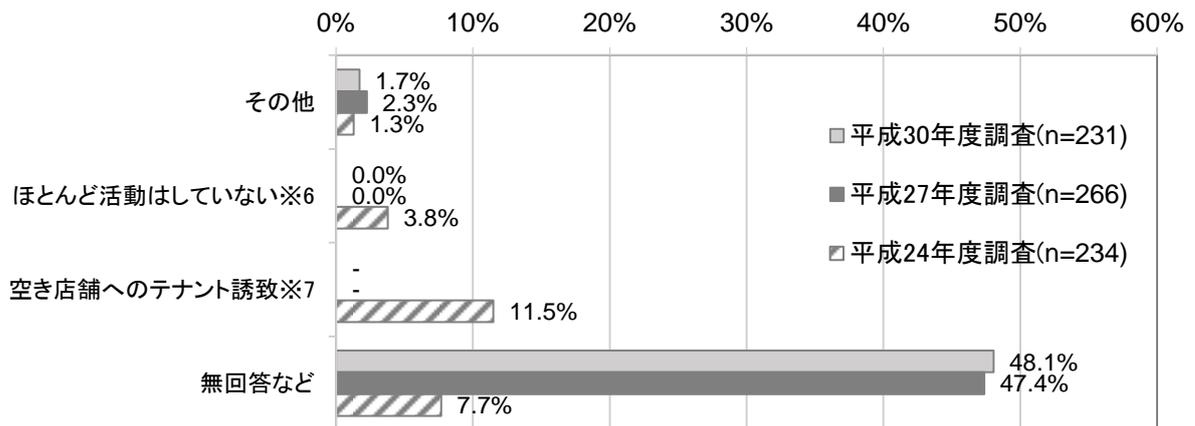
図表11-1 商店街で取り組みたい活動[全体]

【経年比較】

平成24年度調査、平成27年度調査と比較すると、傾向に大きく変わりはないが、「セール(中元・歳末期以外)」「宅配サービスの実施」「商店街女性部・青年部の組織化」「商店街会員による勉強会開催」が減少傾向にある。



[次ページに続く]



図表11-2 商店街で取り組みたい活動[経年比較]

※1 「出張販売の実施」の選択肢は、平成30年度調査で新設した。

※2 「送迎サービスの実施」の選択肢は、平成30年度調査で新設した。

※3 「地域(自治会・NPO等)や学校との連携事業」の選択肢は平成27年度調査で新設した。

※4 「電子マネー・クレジットカード等キャッシュレス決済の取扱い」の選択肢は、平成30年度調査で新設した。

※5 「まちゼミの実施」の選択肢は、平成30年度調査で新設した。

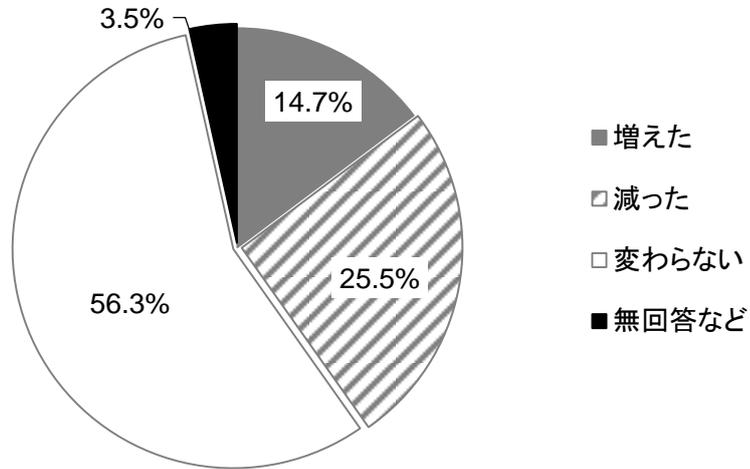
※6 平成27年度調査の「活動はしていない」、平成24年度調査の「特にない」の選択肢は、平成30年度では「ほとんど活動はしていない」として計上した。

※7 「空き店舗へのテナント誘致」の選択肢は、平成24年度調査のみの選択肢である。

問9 最近3年で、商店街活動に積極的に参加する会員は増えましたか。

【全体】

商店街活動に参加する会員は「変わらない」が56.3%で、「減った」が25.5%であった。

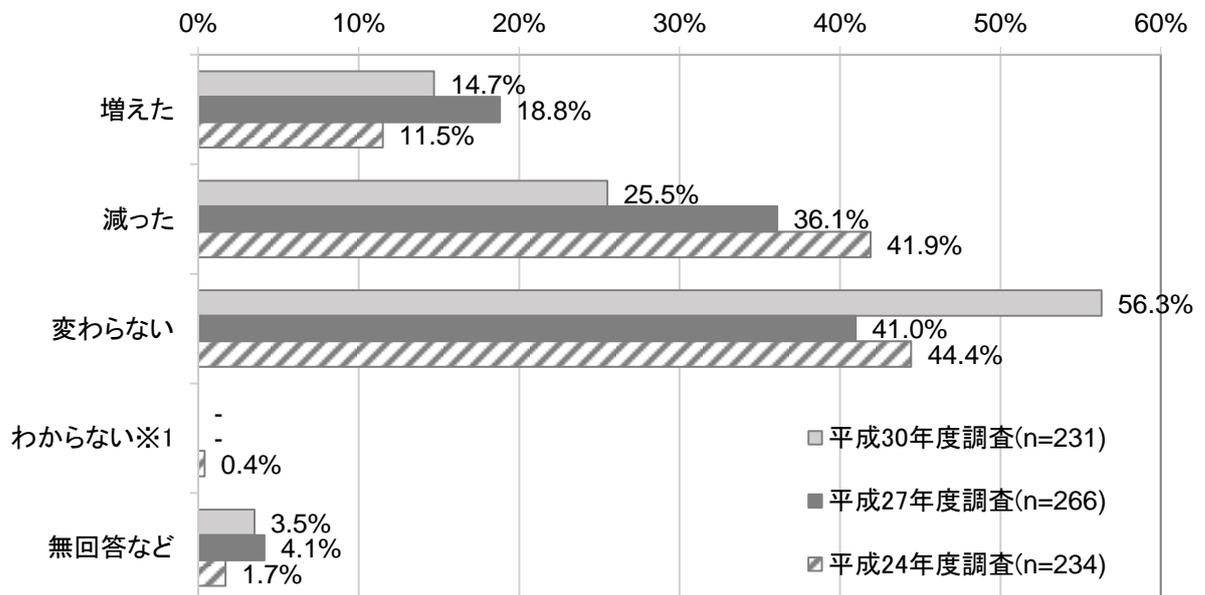


図表12-1 商店街活動に参加する会員の増減[全体]

n=231

【経年比較】

平成24年度調査、平成27年度調査と比較すると、「減った」が減少傾向にあり、「変わらない」が平成27年度調査より15.3ポイント上昇している。

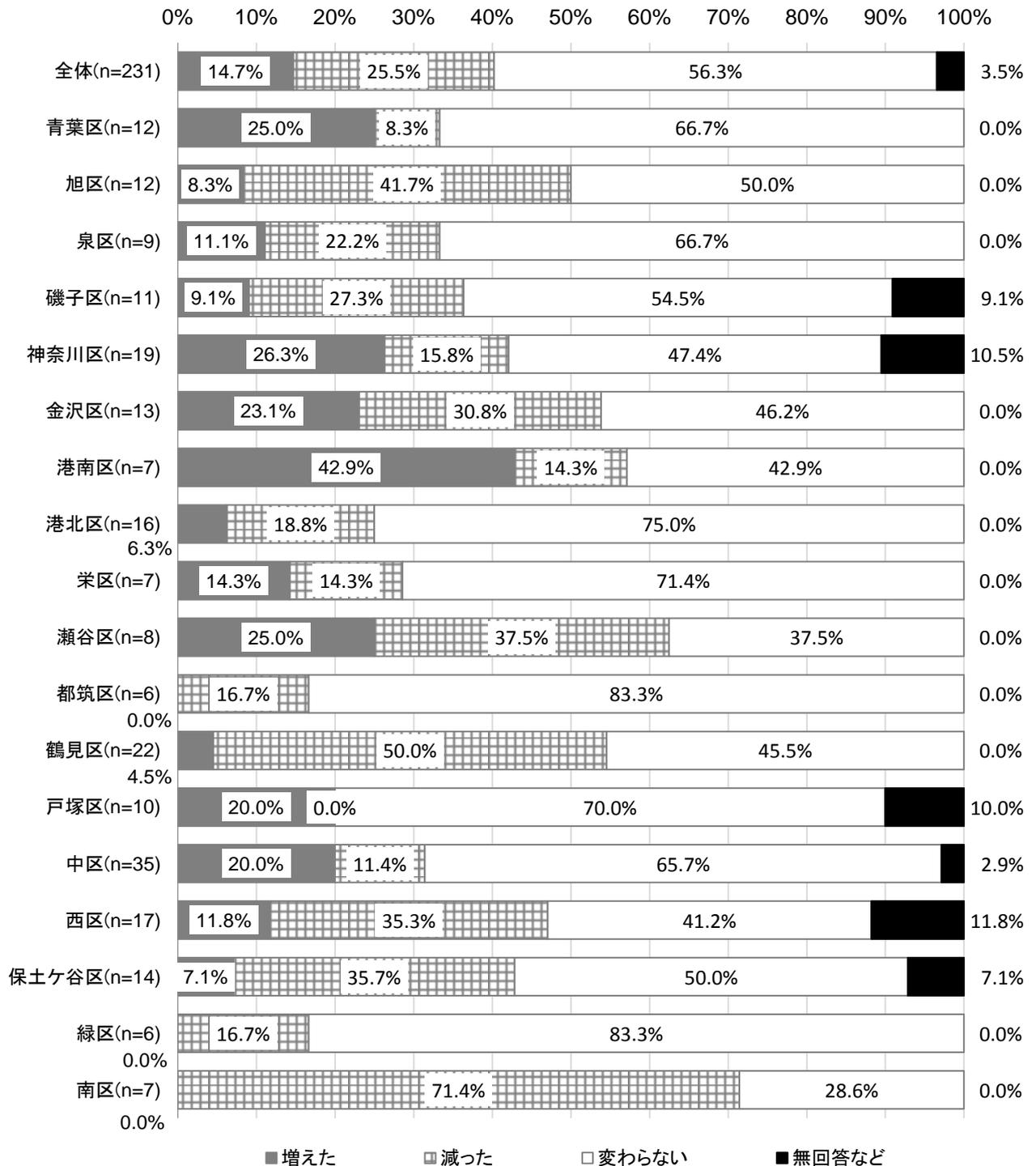


図表12-2 商店街活動に参加する会員の増減[経年比較]

※1 平成24年度調査には「わからない」の選択肢があった。

【区別】

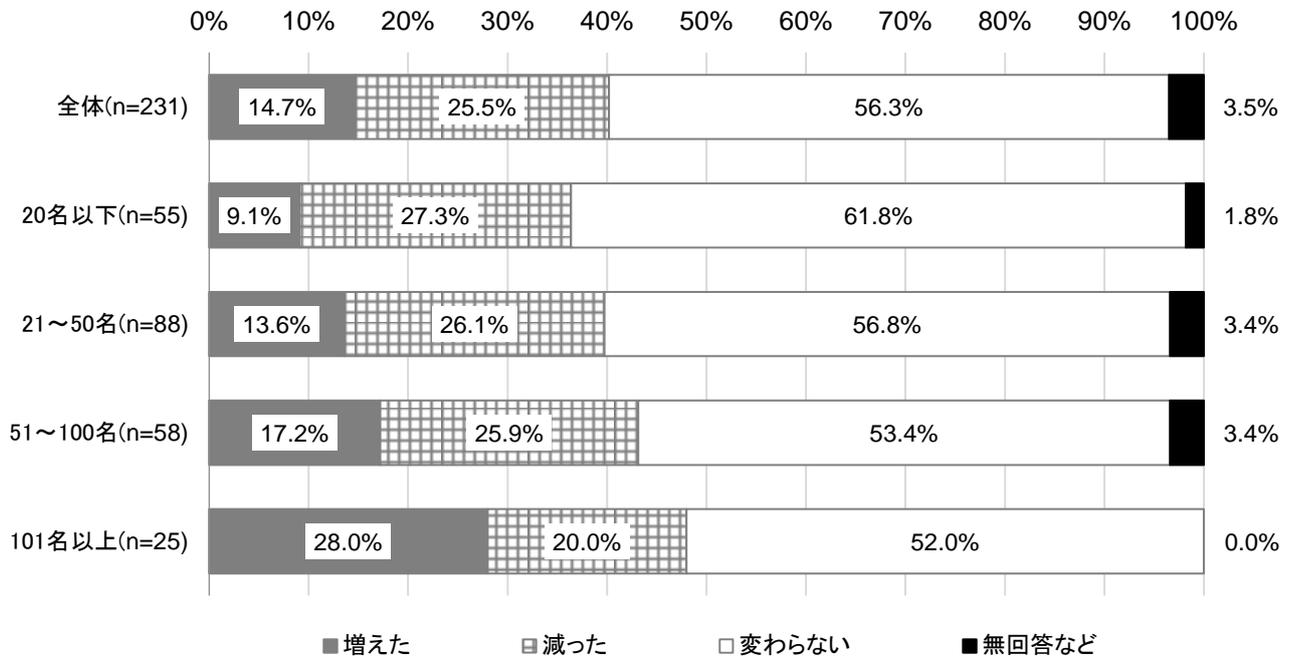
商店街の所在する区別にみると、「増えた」の割合が高いのは港南区(42.9%)であった。一方、「減った」の割合が高いのは南区(71.4%)、鶴見区(50.0%)、旭区(41.7%)であった。



図表12-3 商店街活動に参加する会員の増減[区別]

【会員数別】

商店街活動に参加する会員が「増えた」は「101名以上」で最も多く、28.0%であった。会員数が少なくなるほど、「増えた」の割合が低下する傾向がみられた。一方、「減った」は「20名以下」で最も多く、27.3%であった。

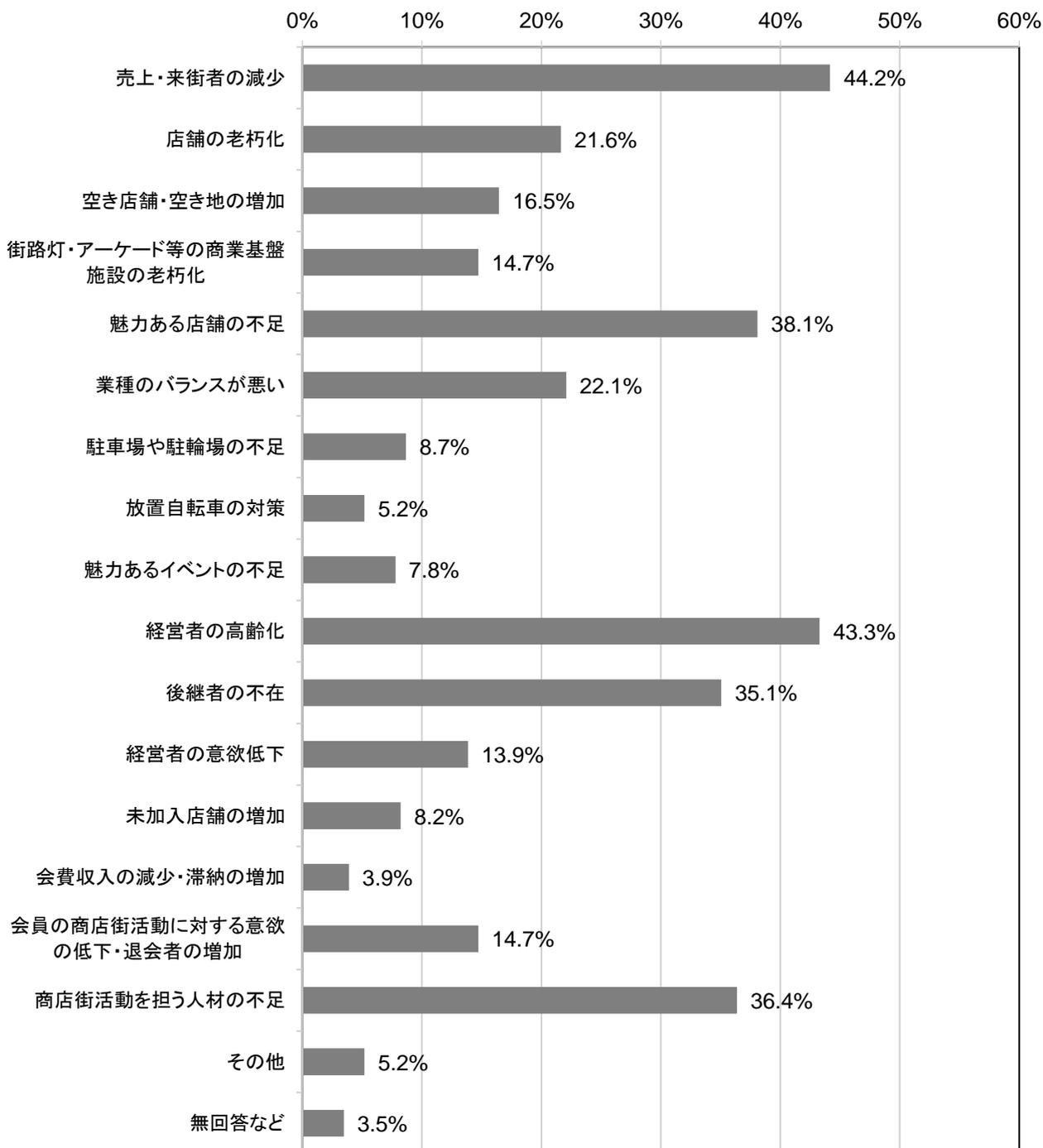


図表12-4 商店街活動に参加する会員の増減[会員数別]

問 10 現在、貴商店街ではどのような悩みがありますか。

【全体】

「売上・来街者の減少」が最も多く、44.2%であった。次いで「経営者の高齢化」(43.3%)、「魅力ある店舗の不足」(38.1%)、「商店街活動を担う人材の不足」(36.4%)、「後継者の不在」(35.1%)の順となっている。

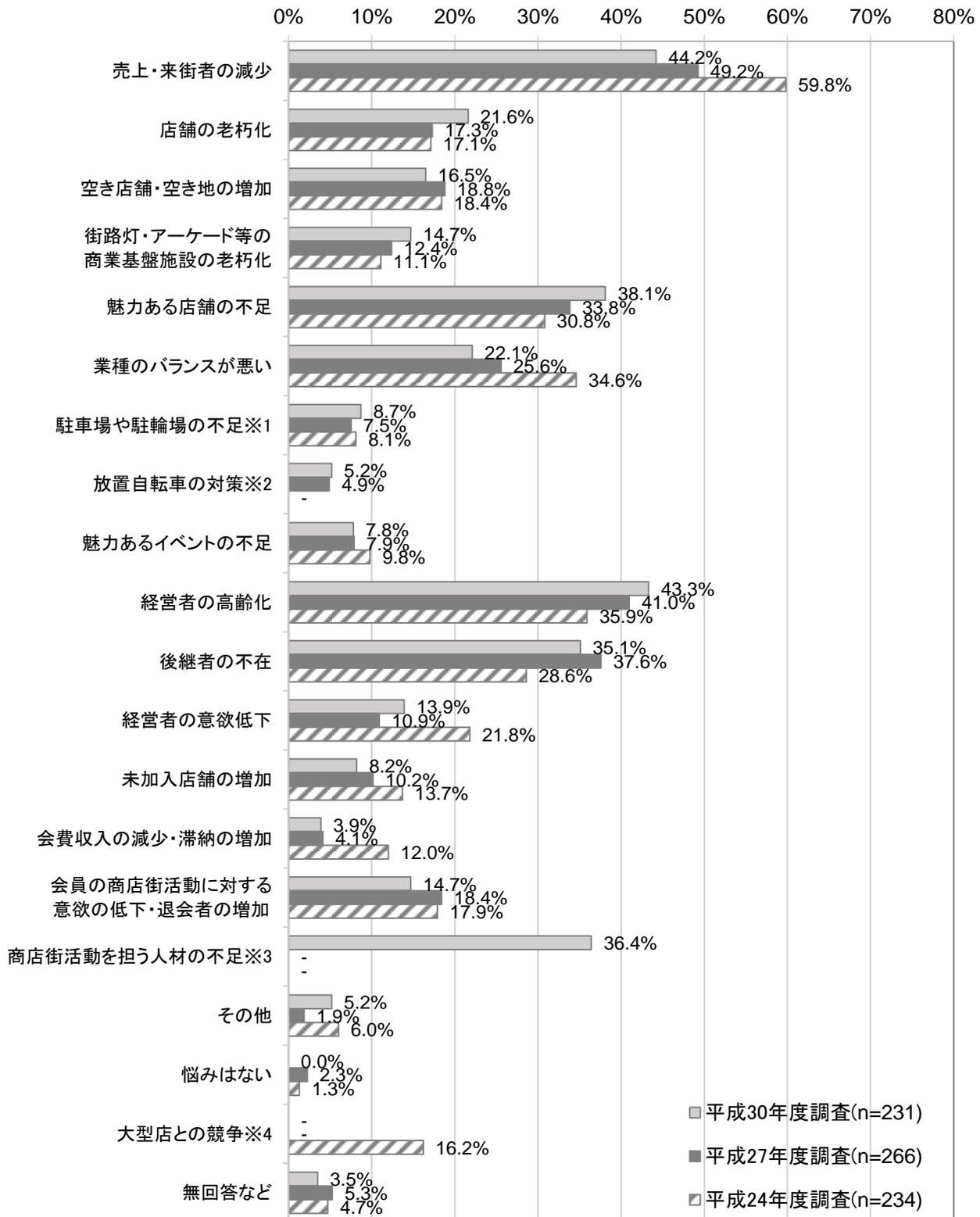


図表13-1 商店街における悩み[全体]

n=231

【経年比較】

平成24年度調査、平成27年度調査と比較すると、「売上・来街者の減少」「業種のバランスが悪い」が減少している。一方、「店舗の老朽化」「魅力ある店舗の不足」「経営者の高齢化」は増加傾向にある。



図表13-2 商店街における悩み[経年比較]

- ※1 平成24年度、平成27年度調査の「車社会への対応不足」の選択肢は、平成30年度では「駐車場や駐輪場の不足」として計上した。
- ※2 「放置自転車の対策」の選択肢は平成27年度調査で新設した。
- ※3 「商店街活動を担う人材の不足」の選択肢は、平成30年度調査で新設した。
- ※4 「大型店との競争」の選択肢は、平成24年度調査のみの選択肢である。

【区別】

全体(図表13-1)で最も多い「売上・来街者の減少」と「経営者の高齢化」はどの区でも上位となっている。区別にみると、「緑区」の「売上・来街者の減少」(83.3%)と港北区の「後継者の不在」(75.0%)の割合が高い。

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=231)	売上・来街者の減少 44.2%	経営者の高齢化 43.3%	魅力ある店舗の不足 38.1%	商店街活動を担う 人材の不足 36.4%	後継者の不在 35.1%
青葉区 (n=12)	未加入店舗の増加 41.7%	魅力ある店舗の不足/経営者の高齢化/商店街活動を担う 人材の不足 33.3%			業種のバランスが 悪い 25.0%
旭区 (n=12)	魅力ある店舗の不足 50.0%	経営者の高齢化 41.7%	売上・来街者の減少/業種のバランスが悪い/後継者の不在 /商店街活動を担う人材の不足 33.3%		
泉区 (n=9)	売上・来街者の減少 66.7%	魅力ある店舗の不足 55.6%	店舗の老朽化/後継者の不在/会員の商店街活動に対する意 欲の低下・退会者の増加 44.4%		
磯子区 (n=11)	経営者の高齢化/商店街活動を担う人材 の不足 54.5%		売上・来街者の減少 45.5%	店舗の老朽化/後継者の不在/会員の商店街活 動に対する意欲の低下・退会者の増加 36.4%	
神奈川区 (n=19)	経営者の高齢化 47.4%	魅力ある店舗の不足/後継者の不在 42.1%		売上・来街者の減少/店舗の老朽化/業 種のバランスが悪い 26.3%	
金沢区 (n=13)	商店街活動を担う 人材の不足 69.2%	経営者の高齢化 61.5%	売上・来街者の減少/魅力ある店舗の不足/後継者の不在 53.8%		
港南区 (n=7)	魅力ある店舗の不足/商店街活動を担う 人材の不足 71.4%		店舗の老朽化 42.9%	売上・来街者の減少/業種のバランスが悪い/ 駐車場や駐輪場の不足/経営者の高齢化/後継 者の不在 28.6%	
港北区 (n=16)	後継者の不在 75.0%	経営者の高齢化 68.8%	商店街活動を担う 人材の不足 62.5%	売上・来街者の減少 56.3%	魅力ある店舗の不 足 50.0%
栄区 (n=7)	商店街活動を担う 人材の不足 42.9%	街路灯・アーケード等の商業基盤施設の老朽 化/経営者の高齢化 28.6%		売上・来街者の減少/店舗の老朽化/空き店 舗・空き地の増加/魅力ある店舗の不足/業種 のバランスが悪い/後継者の不在 14.3%	
瀬谷区 (n=8)	売上・来街者の減少経営者の高齢化 62.5%		後継者の不在 50.0%	街路灯・アーケード等 の商業基盤施設の老朽 化 37.5%	店舗の老朽化/空き店 舗・空き地の増加/魅 力ある店舗の不足/駐 車場や駐輪場の不足/ 会員の商店街活動に 対する意欲の低下・退 会者の増加 25.0%

[次ページに続く]

	1位	2位	3位	4位	5位
都筑区 (n=6)	売上・来街者の減少 50.0%	街路灯・アーケード等の商業基盤施設の老朽化/会員の商店街活動に対する意欲の低下・退会者の増加 33.3%		魅力ある店舗の不足/駐車場や駐輪場の不足/放置自転車の対策/経営者の高齢化/後継者の不在/商店街活動を担う人材の不足 16.7%	
鶴見区 (n=22)	経営者の高齢化 63.6%	売上・来街者の減少 59.1%	魅力ある店舗の不足 40.9%	後継者の不在 36.4%	商店街活動を担う人材の不足 22.7%
戸塚区 (n=10)	魅力ある店舗の不足/経営者の高齢化/商店街活動を担う人材の不足 40.0%		業種のバランスが悪い 30.0%		売上・来街者の減少/店舗の老朽化/魅力あるイベントの不足/会員の商店街活動に対する意欲の低下・退会者の増加/空き店舗・空き地の増加 20.0%
中区 (n=35)	売上・来街者の減少/商店街活動を担う人材の不足 31.4%		魅力ある店舗の不足/経営者の高齢化/後継者の不在 28.6%		
西区 (n=17)	売上・来街者の減少 52.9%	店舗の老朽化/魅力ある店舗の不足/経営者の高齢化/商店街活動を担う人材の不足 29.4%			
保土ヶ谷区 (n=14)	売上・来街者の減少 64.3%	経営者の高齢化/商店街活動を担う人材の不足 42.9%	魅力ある店舗の不足/後継者の不在 35.7%		
緑区 (n=6)	売上・来街者の減少 83.3%	業種のバランスが悪い 66.7%	魅力ある店舗の不足/経営者の意欲低下 33.3%		空き店舗・空き地の増加/街路灯・アーケード等の商業基盤施設の老朽化/経営者の高齢化/後継者の不在/未加入店舗の増加 16.7%
南区 (n=7)	売上・来街者の減少/魅力ある店舗の不足/経営者の高齢化 57.1%		後継者の不在 42.9%		街路灯・アーケード等の商業基盤施設の老朽化 28.6%

図表13-3 商店街における悩み[区別]

※上位5位までを抽出

【会員数別】

会員数別にみると、「売上・来街者の減少」「経営者の高齢化」「魅力ある店舗の不足」が会員数によらず上位となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=231)	売上・来街者の減少 44.2%	経営者の高齢化 43.3%	魅力ある店舗の不足 38.1%	商店街活動を担う人材の不足 36.4%	後継者の不在 35.1%
20名以下 (n=55)	経営者の高齢化 54.5%	売上・来街者の減少 52.7%	後継者の不在 36.4%	店舗の老朽化/魅力ある店舗の不足/商店街活動を担う人材の不足 29.1%	
21～50名 (n=88)	売上・来街者の減少 47.7%	魅力ある店舗の不足 43.2%	経営者の高齢化 38.6%	商店街活動を担う人材の不足 36.4%	後継者の不在 34.1%
51～100名 (n=58)	経営者の高齢化 46.6%	商店街活動を担う人材の不足 43.1%	売上・来街者の減少/後継者の不在 41.4%		魅力ある店舗の不足 34.5%
101名以上 (n=25)	魅力ある店舗の不足/商店街活動を担う人材の不足 44.0%		業種のバランスが悪い/経営者の高齢化 32.0%		売上・来街者の減少 24.0%

図表13-4 商店街における悩み[会員数別]

※上位5位までを抽出

【今後取り組みたいと考えている活動(商店街における悩み別)】

全体(図表11-1)と同様、商店街の悩み別にみても「商店街会員による勉強会開催」が多いが、その割合は「商店街を担う人材の不足」(14.3%)で最も高い。「電子マネー・クレジットカード等キャッシュレス決済の取扱い」は「街路灯・アーケード等の商業基盤施設の老朽化」(11.8%)で最も割合が高い。

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=231)	商店街会員による勉強会開催 10.0%	電子マネー・クレジットカード等キャッシュレス決済の取扱い 9.1%	商店街ホームページの開設・運営 8.2%	商店街マップの発行 7.8%	ポイントカード・スタンプの発行/瓦版など広報物の発行 6.5%
売上・来街者の減少 (n=102)	商店街会員による勉強会開催/電子マネー・クレジットカード等キャッシュレス決済の取扱い 10.8%		商店街ホームページの開設・運営 8.8%	宅配サービスの実施/商店街マップの発行 7.8%	
店舗の老朽化 (n=50)	商店街会員による勉強会開催 12.0%	電子マネー・クレジットカード等キャッシュレス決済の取扱い/駐車場・駐輪場の運営/地域交流イベントの開催(祭り等) 10.0%			出張販売の実施/商店街ホームページの開設・運営/防犯・防災活動 6.0%
空き店舗・空き地の増加 (n=38)	商店街ホームページの開設・運営 15.8%	瓦版など広報物の発行 13.2%	中元・歳末期セール(福引等)/商店街マップの発行 10.5%		共同店舗の運営 7.9%
街路灯・アーケード等の商業基盤施設の老朽化 (n=34)	電子マネー・クレジットカード等キャッシュレス決済の取扱い 11.8%	中元・歳末期セール(福引等)/出張販売の実施 5.9%		ポイントカード・スタンプの発行/商店街ホームページの開設・運営/商店街マップの発行/瓦版など広報物の発行/地域交流イベントの開催(祭り等)/地域(自治会・NPO等)や学校との連携事業 2.9%	
魅力ある店舗の不足 (n=88)	商店街会員による勉強会開催 12.5%	瓦版など広報物の発行 10.2%	商店街マップの発行 9.1%	ポイントカード・スタンプの発行/出張販売の実施/電子マネー・クレジットカード等キャッシュレス決済の取扱い 8.0%	
業種のバランスが悪い (n=51)	商店街マップの発行 11.8%	ポイントカード・スタンプの発行/商店街ホームページの開設・運営/商店街会員による勉強会開催 9.8%			瓦版など広報物の発行/地域(自治会・NPO等)や学校との連携事業/電子マネー・クレジットカード等キャッシュレス決済の取扱い 7.8%
駐車場や駐輪場の不足 (n=20)	商店街マップの発行 20.0%	駐車場・駐輪場の運営/共同店舗の運営/地域(自治会・NPO等)や学校との連携事業/防犯・防災活動/まちゼミの実施 10.0%			
放置自転車の対策 (n=12)	商店街ホームページの開設・運営/地域(自治会・NPO等)や学校との連携事業 16.7%	セール(中元・歳末期以外)/共同店舗の運営/商店街マップの発行/瓦版など広報物の発行/地域交流イベントの開催(祭り等)/商店街女性部・青年部の組織化/電子マネー・クレジットカード等キャッシュレス決済の取扱い 8.3%			
魅力あるイベントの不足 (n=18)	商店街マップの発行/商店街会員による勉強会開催 22.2%	中元・歳末期セール(福引等)/ポイントカード・スタンプの発行/駐車場・駐輪場の運営/宅配サービスの実施/瓦版など広報物の発行/防犯・防災活動/街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理 11.1%			

[次ページに続く]

経営者の高齢化 (n=100)	商店街マップの発行/商店街会員による勉強会開催/電子マネー・クレジットカード等キャッシュレス決済の取扱い		宅配サービスの実施	ポイントカード・スタンプの発行/商店街ホームページの開設・運営/地域交流イベントの開催（祭り等）
	10.0%		8.0%	6.0%
後継者の不在 (n=81)	地域交流イベントの開催（祭り等）/電子マネー・クレジットカード等キャッシュレス決済の取扱い	商店街会員による勉強会開催	商店街ホームページの開設・運営/商店街マップの発行	
	9.9%	8.6%	6.2%	
経営者の意欲低下 (n=32)	ポイントカード・スタンプの発行/商店街ホームページの開設・運営/街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理/電子マネー・クレジットカード等キャッシュレス決済の取扱い			宅配サービスの実施/商店街マップの発行/地域交流イベントの開催（祭り等）/商店街会員による勉強会開催
	9.4%			6.3%
未加入店舗の増加 (n=19)	ポイントカード・スタンプの発行/商店街ホームページの開設・運営		瓦版など広報物の発行/地域（自治会・NP0等）や学校との連携事業/電子マネー・クレジットカード等キャッシュレス決済の取扱い	
	15.8%		10.5%	
会費収入の減少・滞納の増加 (n=9)	ポイントカード・スタンプの発行/商店街ホームページの開設・運営/地域交流イベントの開催（祭り等）		出張販売の実施/瓦版など広報物の発行/街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理/緑化・清掃活動など環境に関する取組/まちゼミの実施	
	22.2%		11.1%	
会員の商店街活動に対する意欲の低下・退会者の増加 (n=34)	商店街ホームページの開設・運営	商店街マップの発行/瓦版など広報物の発行/地域交流イベントの開催（祭り等）/商店街会員による勉強会開催/防犯・防災活動		
	14.7%	8.8%		
商店街活動を担う人材の不足 (n=84)	商店街会員による勉強会開催	商店街ホームページの開設・運営/商店街マップの発行	電子マネー・クレジットカード等キャッシュレス決済の取扱い	ポイントカード・スタンプの発行/瓦版など広報物の発行/地域交流イベントの開催（祭り等）
	14.3%	11.9%	9.5%	7.1%

図表13-5 商店街で取り組みたい活動[商店街における悩み別]

※問8-2「今後取り組みたいと考えている活動」別に集計。上位5位までを抽出

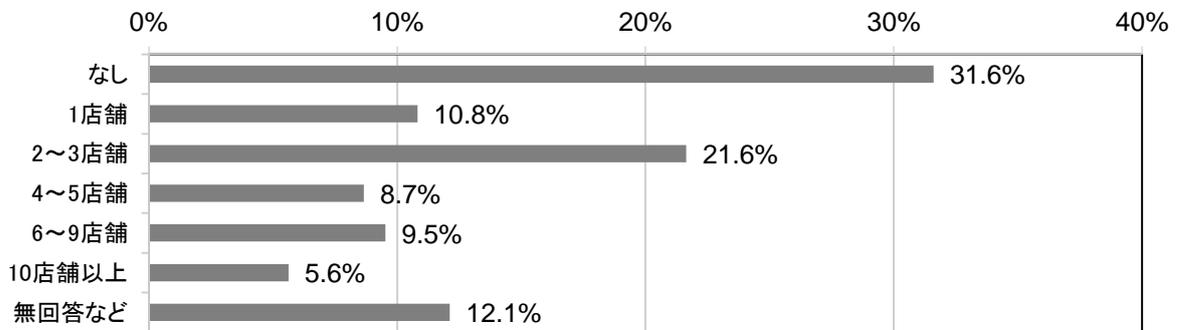
(4) 空き店舗について

問 11 貴商店街における空き店舗*は何店舗ですか。

※空き店舗とは… 商店街の主要な通りの建物の1階、2階部分（商業用ビル等、多階層にわたって商店街エリアが広がっている場合は、建物の1階、2階には限らない）に位置し、以前、店舗として利用された建物で、廃業・移転等により現在は空き店舗となっているもの。
上記のうち、駐車場・一般住宅・空き地になった場合は除く。（次の利用者が現れるまで暫定的に車庫や物置等として使用としているものは含む。）

【全体】

空き店舗は「なし」が最も多く、31.6%であった。次いで「2～3店舗」(21.6%)、「1店舗」(10.8%)、「6～9店舗」(9.5%)の順となった。

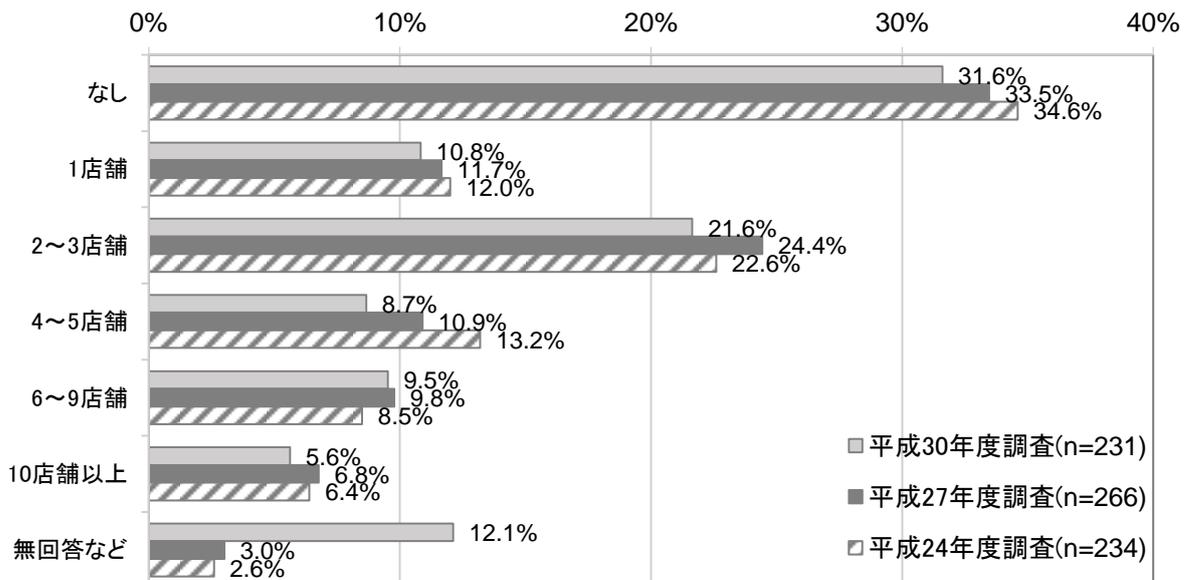


図表14-1 空き店舗の数[全体]

n=231

【経年比較】

平成24年度調査、平成27年度調査と比較しても、傾向に大きな違いはみられなかった。



図表14-2 空き店舗の数[経年比較]

【1商店街当たりの空き店舗率と空き店舗数 区別】

区別で1商店街当たりの空き店舗率と空き店舗数をみると、どちらも港南区が最も多い。1商店街当たり6.0の空き店舗があり、空き店舗率は13.2%で、全体の空き店舗率の約2.5倍となった。一方、空き店舗数が0である都筑を除くと、最も割合が低いのは緑区で、1商店街当たりの空き店舗数は0.7で、空き店舗率は1.1%であった。

	空き店舗率	空き店舗数
全体 (n=231)	5.5%	2.5
青葉区 (n=12)	3.2%	1.9
旭区 (n=12)	7.4%	2.7
泉区 (n=9)	6.9%	2.2
磯子区 (n=11)	8.4%	2.3
神奈川区 (n=19)	4.4%	1.7
金沢区 (n=13)	5.2%	2.0
港南区 (n=7)	13.2%	6.0
港北区 (n=16)	2.5%	1.3
栄区 (n=7)	2.1%	0.3
瀬谷区 (n=8)	8.2%	2.9
都筑区 (n=6)	0.0%	0.0
鶴見区 (n=22)	10.0%	4.2
戸塚区 (n=10)	3.5%	1.5
中区 (n=35)	5.9%	4.0
西区 (n=17)	3.7%	1.5
保土ヶ谷区 (n=14)	4.5%	1.9
緑区 (n=6)	1.1%	0.7
南区 (n=7)	5.8%	2.7

図表14-3 空き店舗の数[1商店街当たりの空き店舗率と空き店舗数 区別]

※空き店舗率の算出

以下の数式で、1商店街における空き店舗率を算出し、分析に使用した。

$$\frac{\text{空き店舗総数}}{(\text{正会員数} + \text{空き店舗総数})} = \text{空き店舗率}(\%)$$

※空き店舗数の算出

以下の数式で、1商店街における平均空き店舗数を算出し、分析に使用した。

$$\frac{\text{区別空き店舗総数}}{\text{区別商店街数}} = \text{空き店舗数}$$

空き店舗総数	正会員数	正会員+空き店舗総数	空き店舗率
571	9,850	10,421	5.5%

【1商店街当たりの空き店舗率と空き店舗数 商店街タイプ別】

商店街タイプ別でみると、1商店街当たりの空き店舗数が最も多いのは「超広域型商店街」の11.0だが、1商店街当たりの空き店舗率でみると、「近隣型商店街」が8.2%となった。

	空き店舗率	空き店舗数
全体 (n=231)	5.5%	2.5
近隣型商店街 (n=117)	8.2%	2.9
地域型商店街 (n=61)	4.5%	2.4
広域型商店街 (n=17)	1.2%	0.9
超広域型商店街 (n=1)	5.3%	11.0
その他の商業エリア等 (n=15)	2.4%	1.3

図表14-4 空き店舗の数[1商店街当たりの空き店舗率と空き店舗数 商店街タイプ別]

【1商店街当たりの空き店舗率と空き店舗数 会員数別】

会員数別でみると、「101店舗以上」の空き店舗数が3.5で一番高いが、空き店舗率では、「1～20店舗」が最も高い。

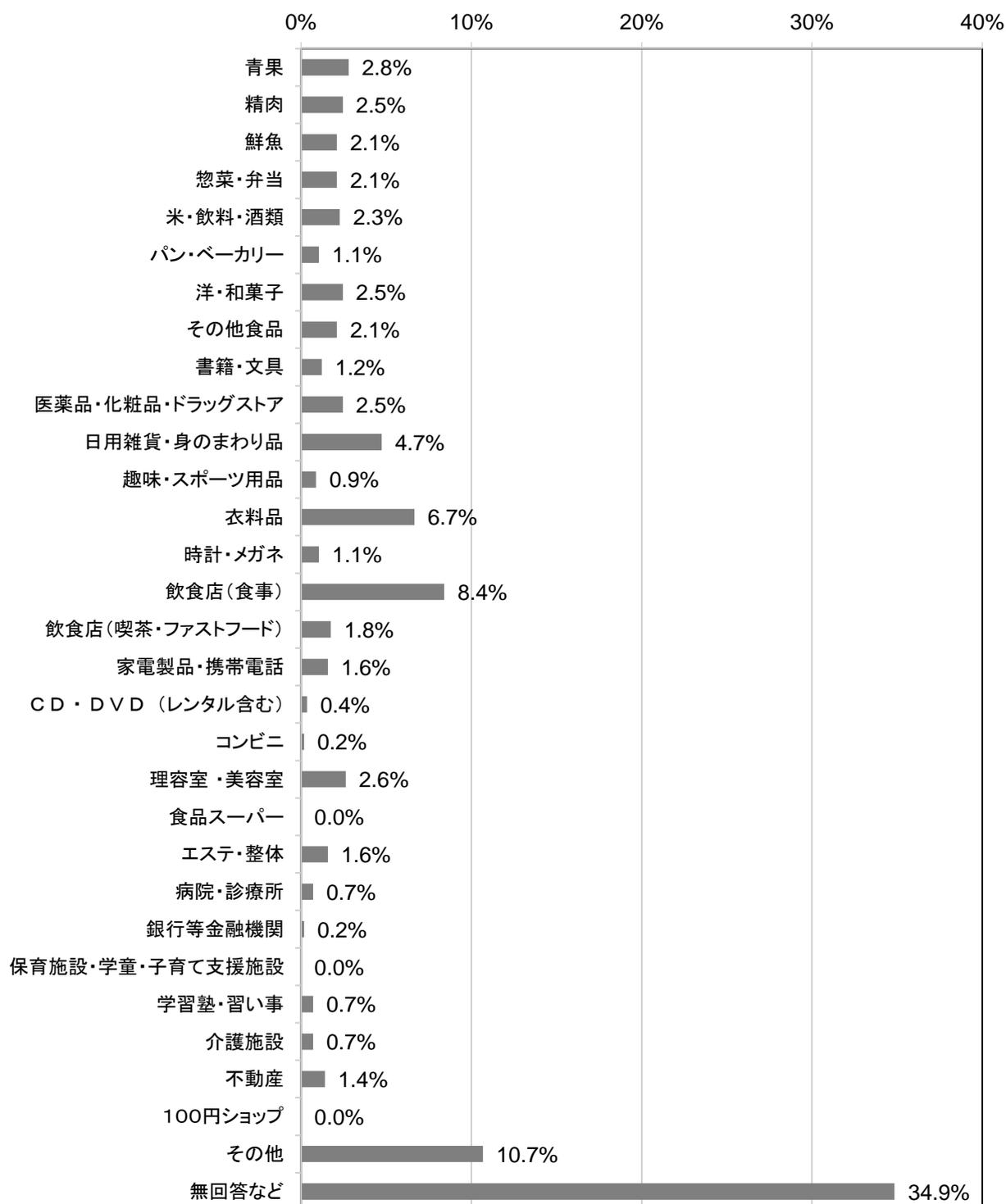
	空き店舗率	空き店舗数
全体 (n=231)	5.5%	2.5
1～20店舗 (n=55)	12.9%	1.8
21～50店舗 (n=88)	8.6%	2.9
51～100店舗 (n=58)	3.5%	2.1
101店舗以上 (n=25)	2.7%	3.5

図表14-5 空き店舗の数[1商店街当たりの空き店舗率と空き店舗数 会員数別]

問 12 空き店舗がある場合、各空き店舗の状況についてご記入ください。

【閉店前の業種 全体】

「無回答など」を除いて「その他」が最も多く、10.7%であった。次いで「飲食店(食事)」(8.4%)、「衣料品」(6.7%)、「日曜雑貨・身のまわり品」(4.7%)の順となった。

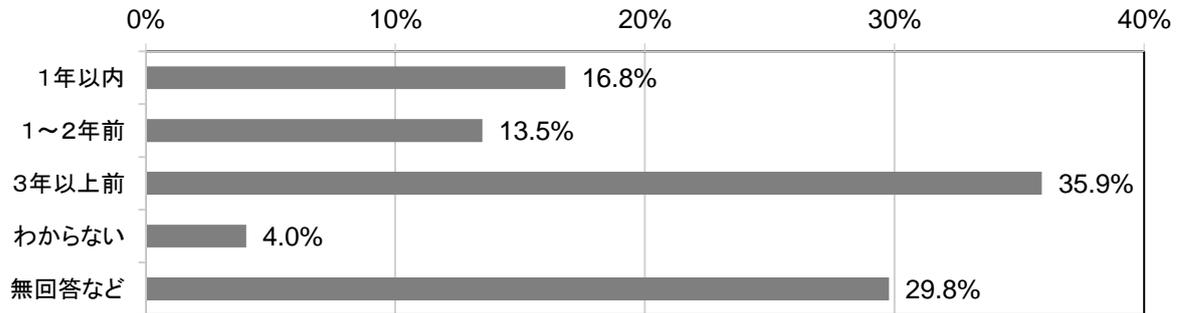


n=571

図表15-1 空き店舗の状況[閉店前の業種 全体]

【閉店時期 全体】

「3年以上前」が最も多く、35.9%であった。

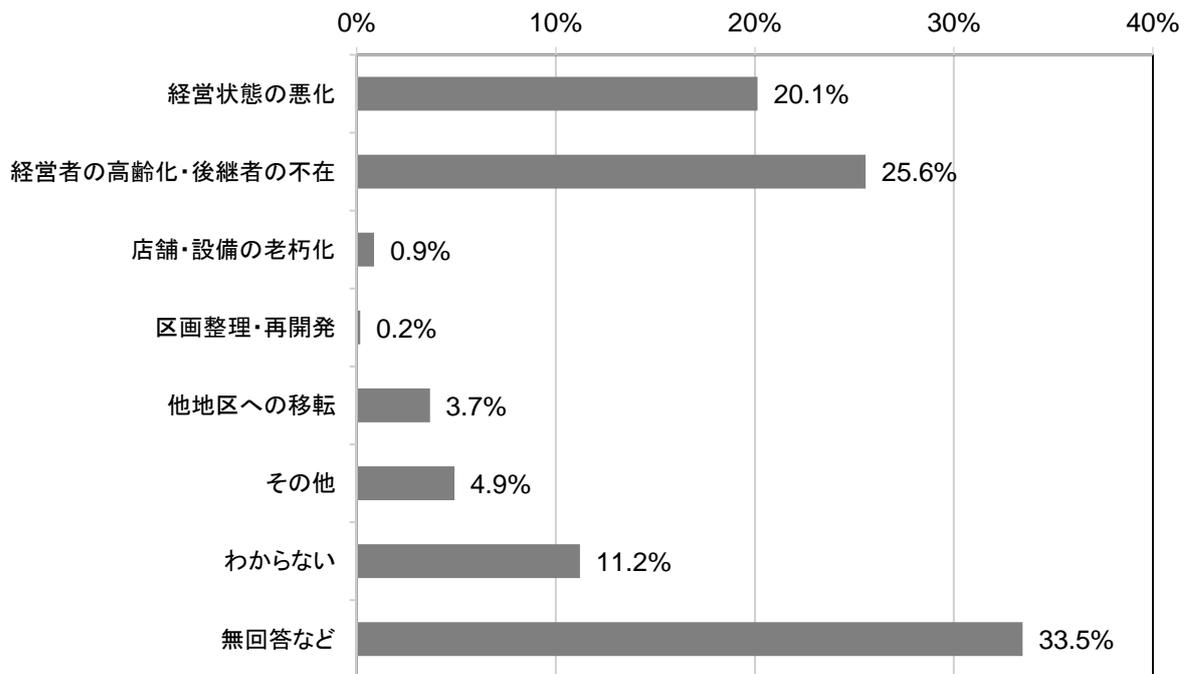


n=571

図表15-2 空き店舗の状況[閉店時期 全体]

【閉店理由 全体】

「無回答など」を除いて「経営者の高齢化・後継者の不在」(25.6%)が最も多く、次いで「経営状態の悪化」(20.1%)の順となった。

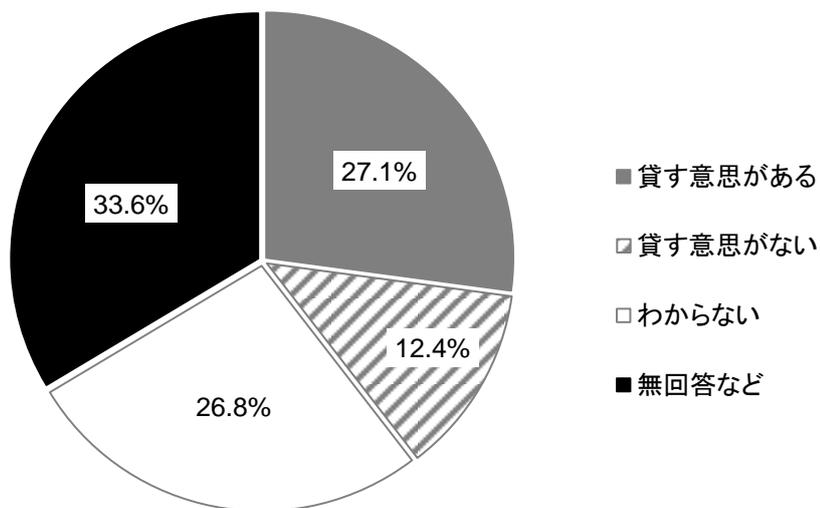


n=571

図表15-3 空き店舗の状況[閉店理由 全体]

【家主の意思 全体】

「貸す意思がある」が27.1%で、「貸す意思がない」が12.4%であった。



図表15-4 空き店舗の状況[家の意思 全体]

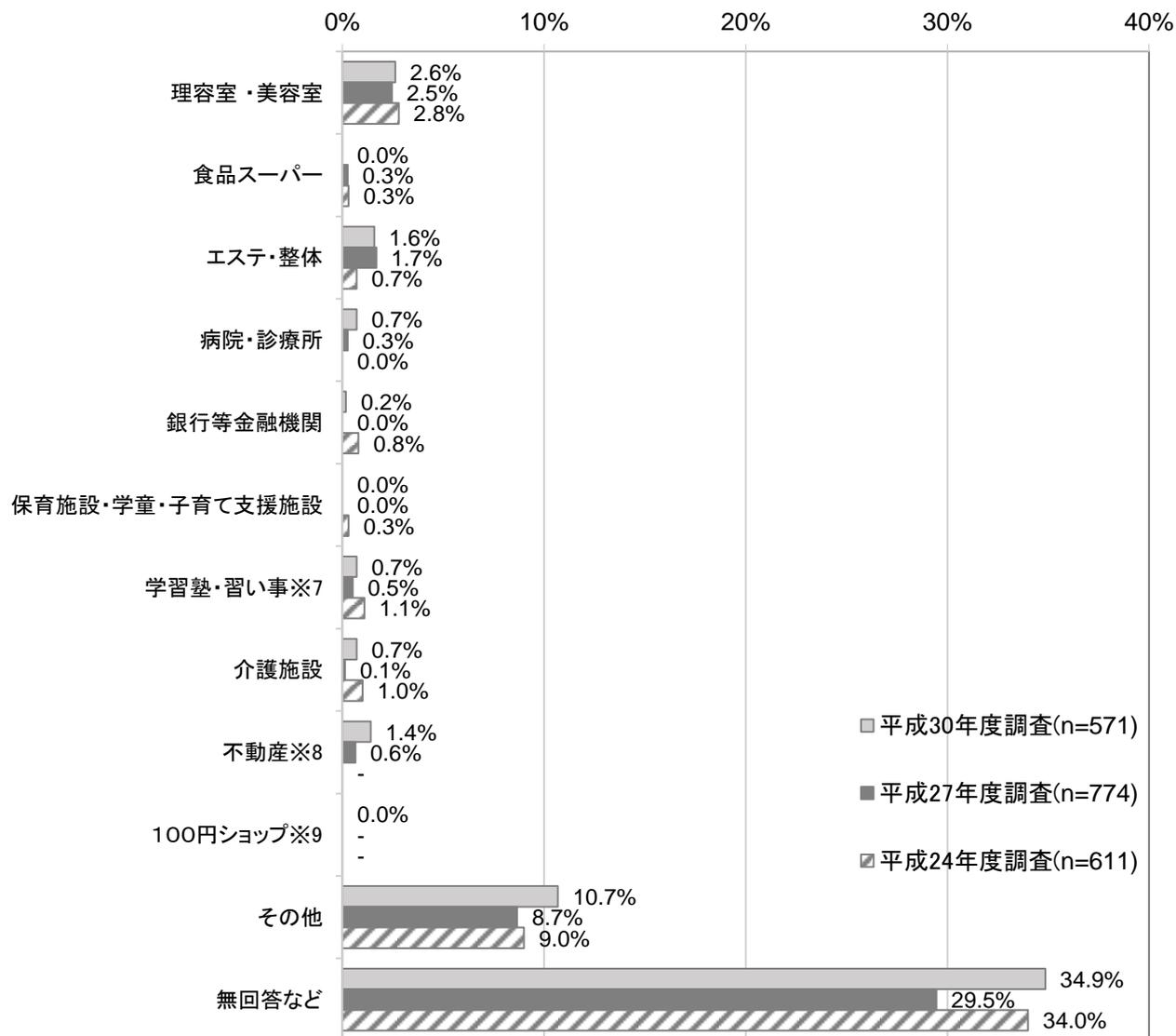
n=571

【閉店前の業種 経年比較】

平成24年度調査、平成27年度調査と比較しても、傾向に大きく変わりはない。



[次ページに続く]

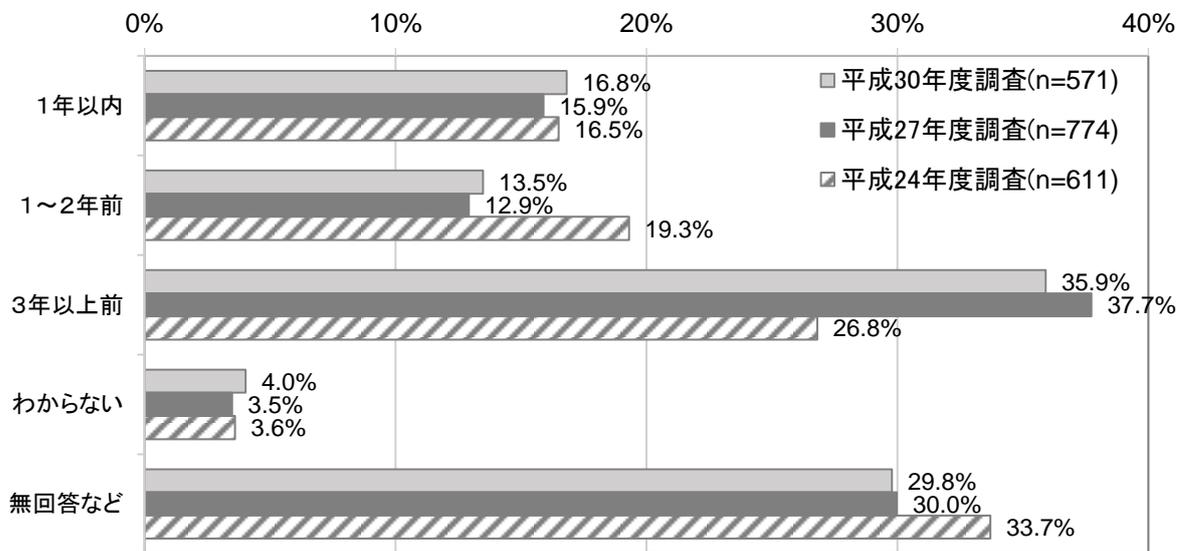


図表15-5 空き店舗の状況[閉店前の業種 経年比較]

- ※1 平成24年度、平成27年度調査での「惣菜」は平成30年度では「惣菜・弁当」として計上した。
- ※2 平成24年度、平成27年度調査での「米穀」は平成30年度では「米・飲料・酒類」として計上した。
- ※3 平成24年度、平成27年度調査での「パン」は平成30年度では「パン・ベーカリー」として計上した。
- ※4 平成24年度、平成27年度調査での「医療品・化粧品」は平成30年度では「医療品・化粧品・ドラッグストア」として計上した。
- ※5 平成24年度、平成27年度調査での「飲食店」は平成30年度では「飲食店(食事)」として計上した。
- ※6 「飲食店(喫茶・ファストフード)」の選択肢は、平成30年度調査で新設した。
- ※7 平成24年度、平成27年度調査での「学習塾」は平成30年度では「学習塾・習い事」として計上した。
- ※8 「不動産」の選択肢は、平成27年度調査で新設した。
- ※9 「100円ショップ」の選択肢は、平成30年度調査で新設した。

【閉店時期 経年比較】

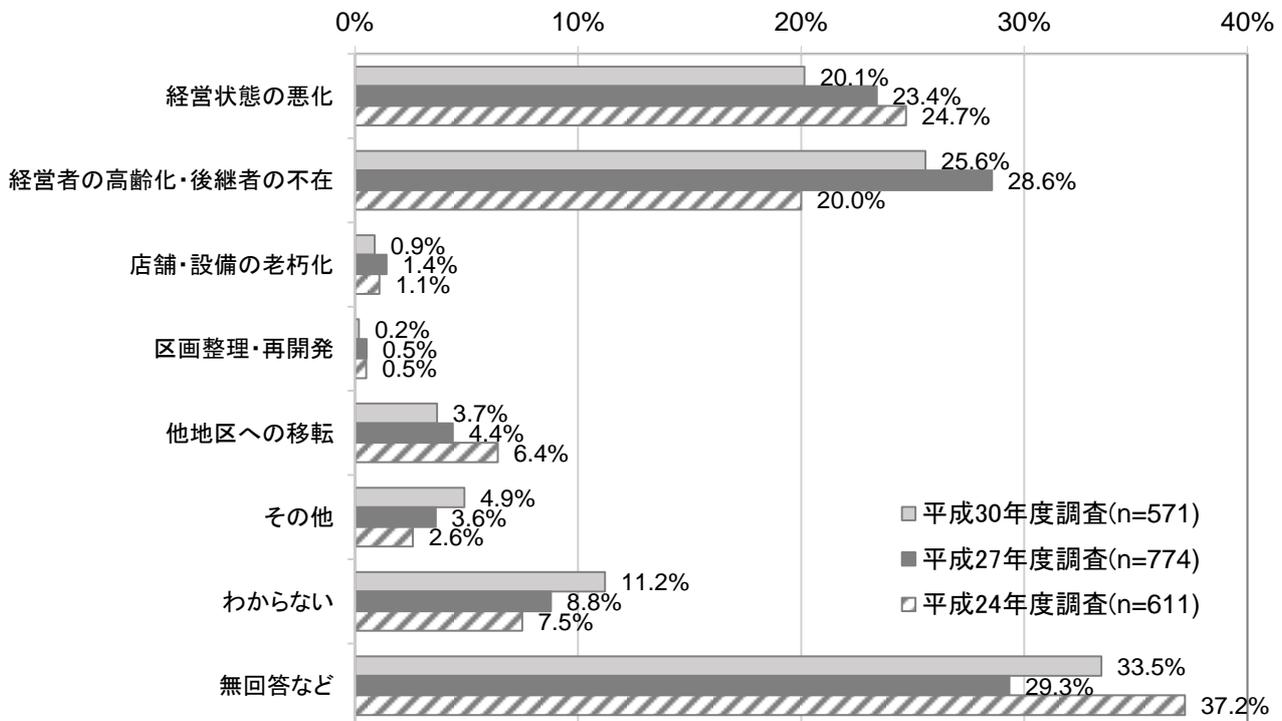
平成24年度調査、平成27年度調査と比較しても、傾向に大きく変わりはなく、「3年以上前」が最も多い。



図表15-6 空き店舗の状況[閉店時期 経年比較]

【閉店理由 経年比較】

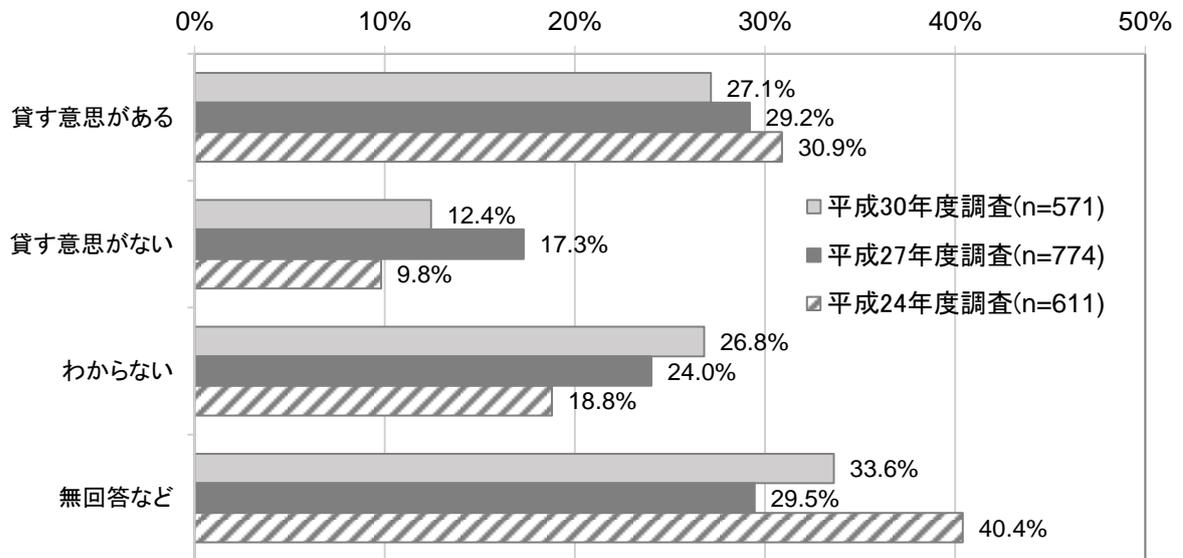
平成24年度調査、平成27年度調査と比較しても、傾向に大きく変わりはないが、「経営状態の悪化」が減少傾向にある。



図表15-7 空き店舗の状況[閉店理由 経年比較]

【家主の意思 経年比較】

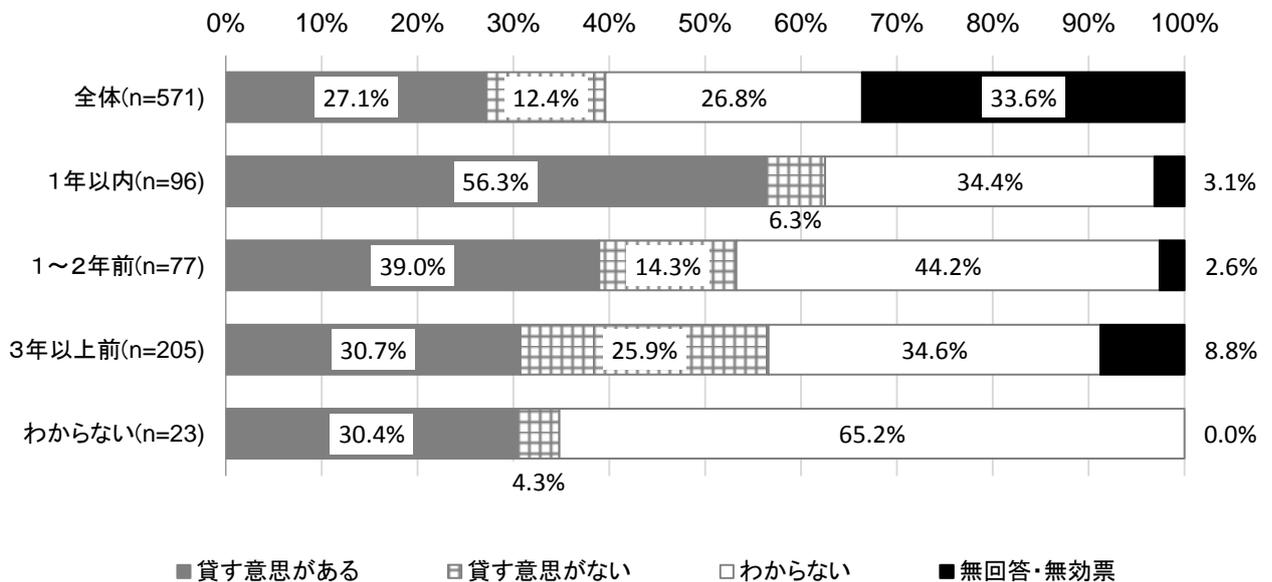
平成24年度調査、平成27年度調査と比較すると、「貸す意思がある」が減少傾向、「わからない」が増加傾向にある。



図表15-8 空き店舗の状況[家主の意思経年比較]

【家主の意思 空き店舗となった時期別】

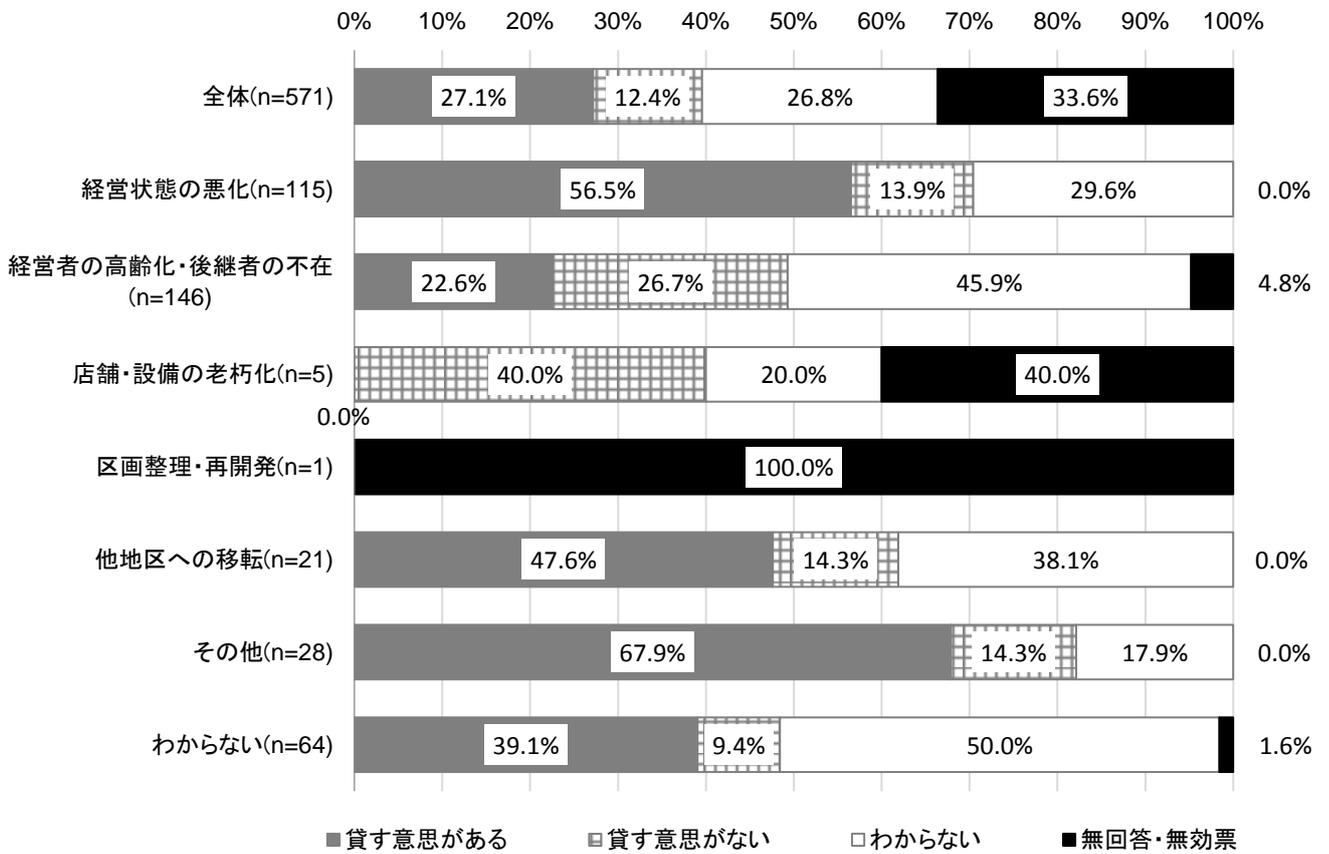
空き店舗となった時期別に家主の意思をみると、「1年以内」では「貸す意思がある」が56.3%となった。空き店舗である年数が長くなるにつれ、家主の貸す意思は減少する傾向がみられた。



図表15-9 空き店舗の状況[家主の意思 空き店舗となった時期別]

【家主の意思 閉店の理由別】

閉店の理由別に家主の意思をみると、「経営状態の悪化」では「貸す意思がある」が最も多く、56.5%であった。

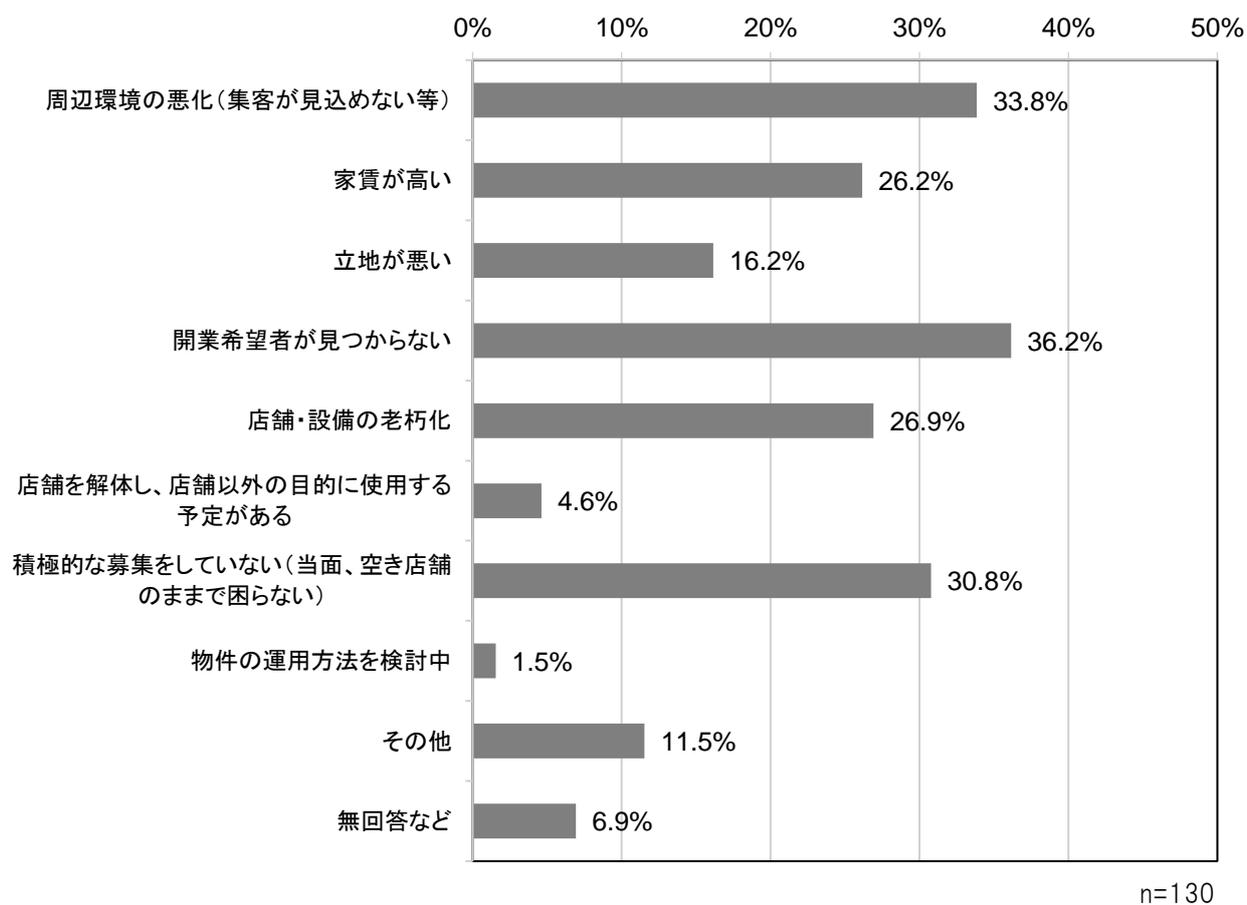


図表15-10 空き店舗の状況[家主の意思 閉店の理由別]

問 12-2 空き店舗がある場合、埋まらない理由として考えられるものを次の選択肢から選んでください。

【全体】

空き店舗が埋まらない理由として、「開業希望者が見つからない」が最も多く、36.2%であった。次いで「周辺環境の悪化(集客が見込めない等)」(33.8%)、「積極的な募集をしていない(当面、空き店舗のまま困らない)」(30.8%)の順となっている。



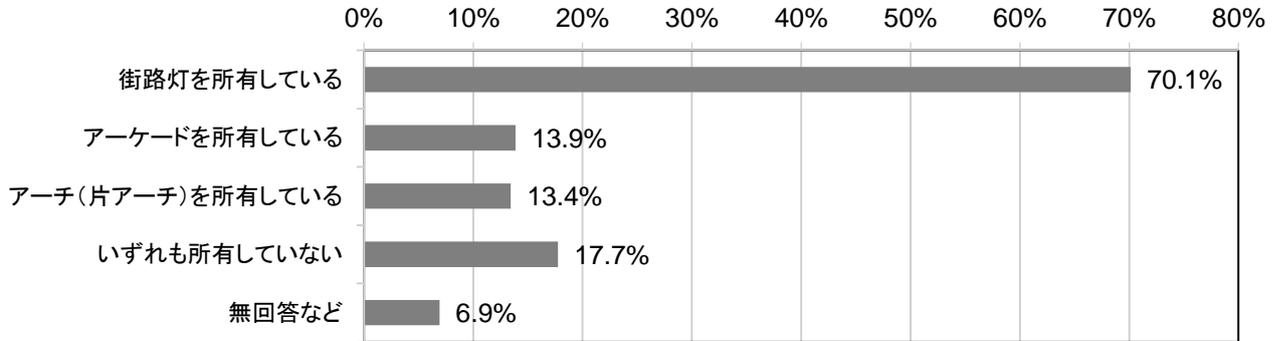
図表16-1 空き店舗の理由[全体]

(5) 商店街施設の保全・維持管理

問13 貴商店街では街路灯、アーケード、アーチ（片アーチ）を所有していますか。

【全体】

「街路灯を所有している」が最も多く、70.1%であった。



図表17-1 商店街設備の所有状況[全体]

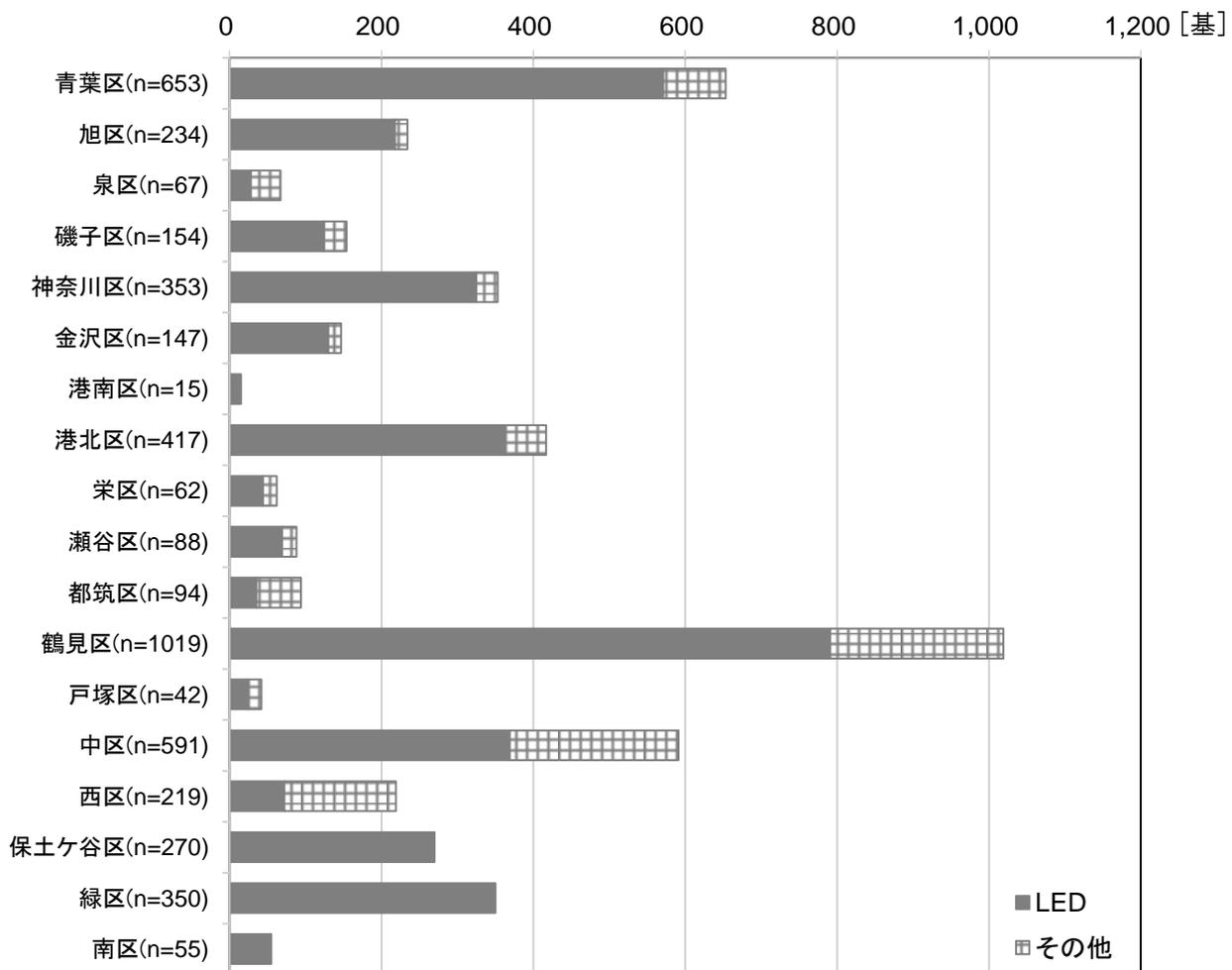
n=231

【区別の街路灯所有状況】

鶴見区が街路灯を最も多く所有(1,019基)しており、LED基数も最も多い(791基)。

	総数	LED	その他
全体	4,830	3,852	978
青葉区	653	571	82
旭区	234	218	16
泉区	67	28	39
磯子区	154	124	30
神奈川区	353	325	28
金沢区	147	130	17
港南区	15	15	0
港北区	417	362	55
栄区	62	44	18
瀬谷区	88	69	19
都筑区	94	35	59
鶴見区	1,019	791	228
戸塚区	42	24	18
中区	591	369	222
西区	219	72	147
保土ヶ谷区	270	270	0
緑区	350	350	0
南区	55	55	0

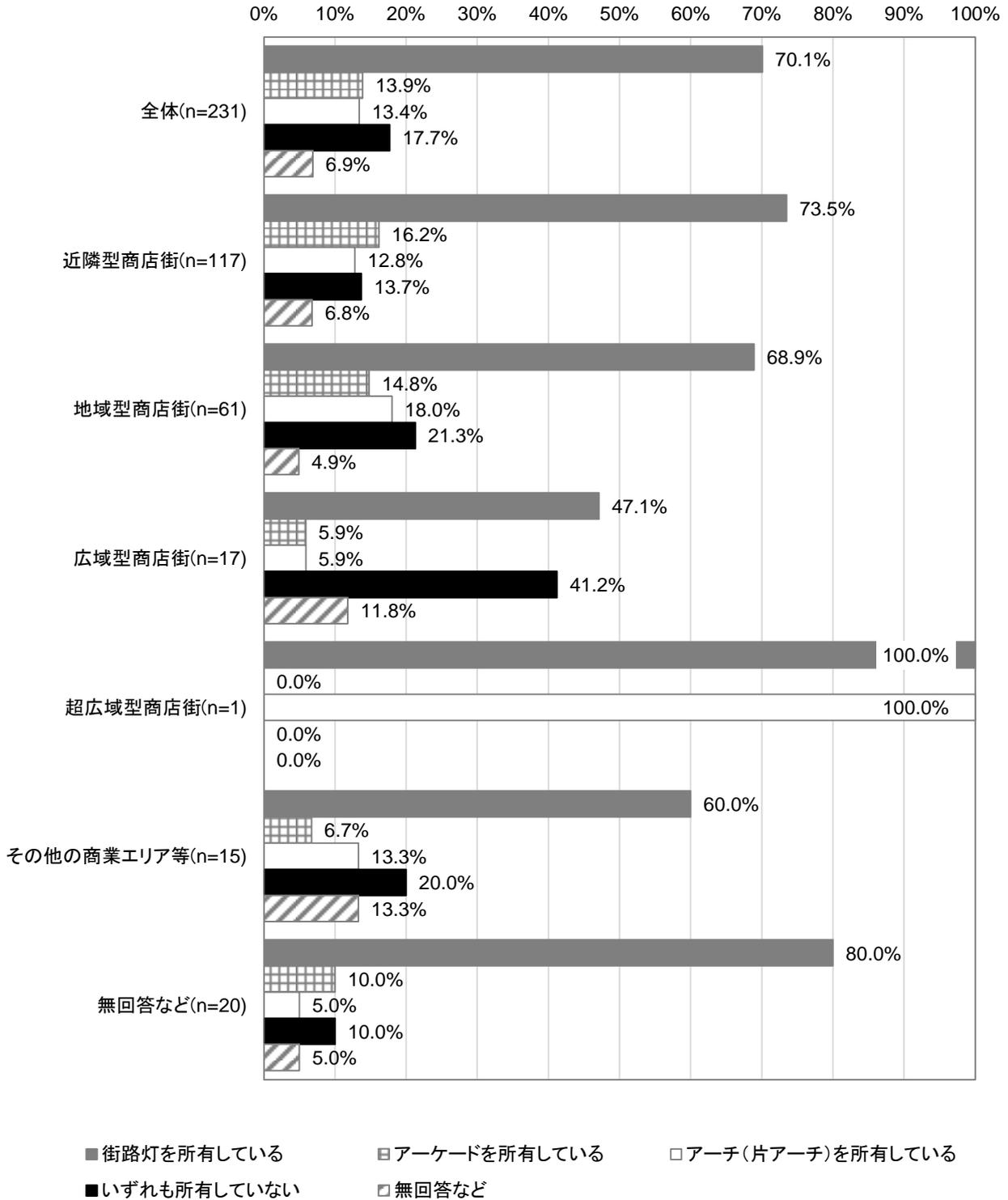
図表17-2 街路灯の所有状況[区別]



図表17-3 街路灯の所有状況[区別]

【商店街タイプ別】

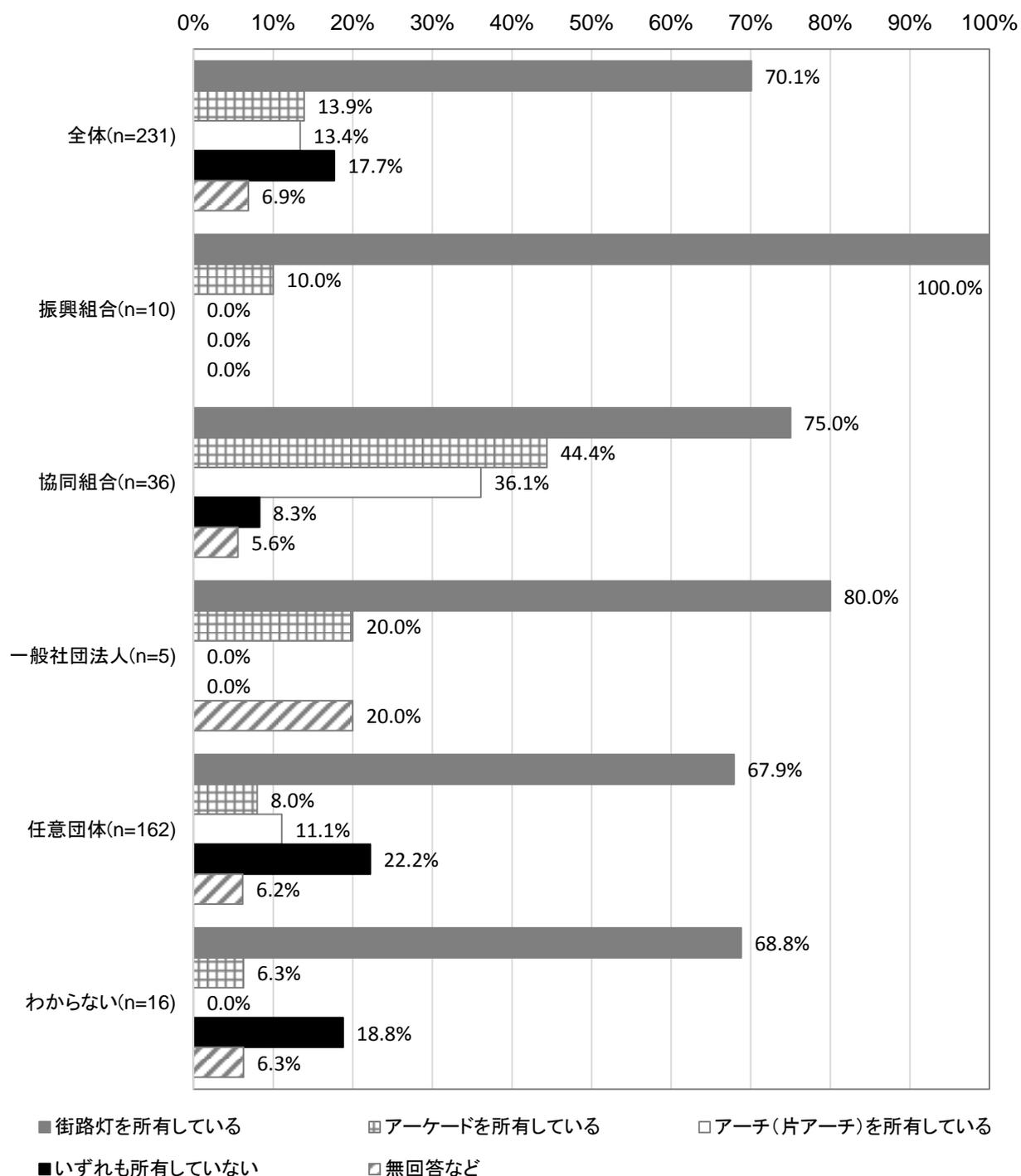
商店街タイプ別にみると、「広域型商店街」を除く商店街は、「街路灯を所有している」が約7割を超えている。一方で「広域型商店街」は「街路灯を所有している」が5割を割っており、「いずれも所有していない」が4割を超えている。



図表17-4 商店街設備の所有状況[商店街のタイプ別]

【組織形態別】

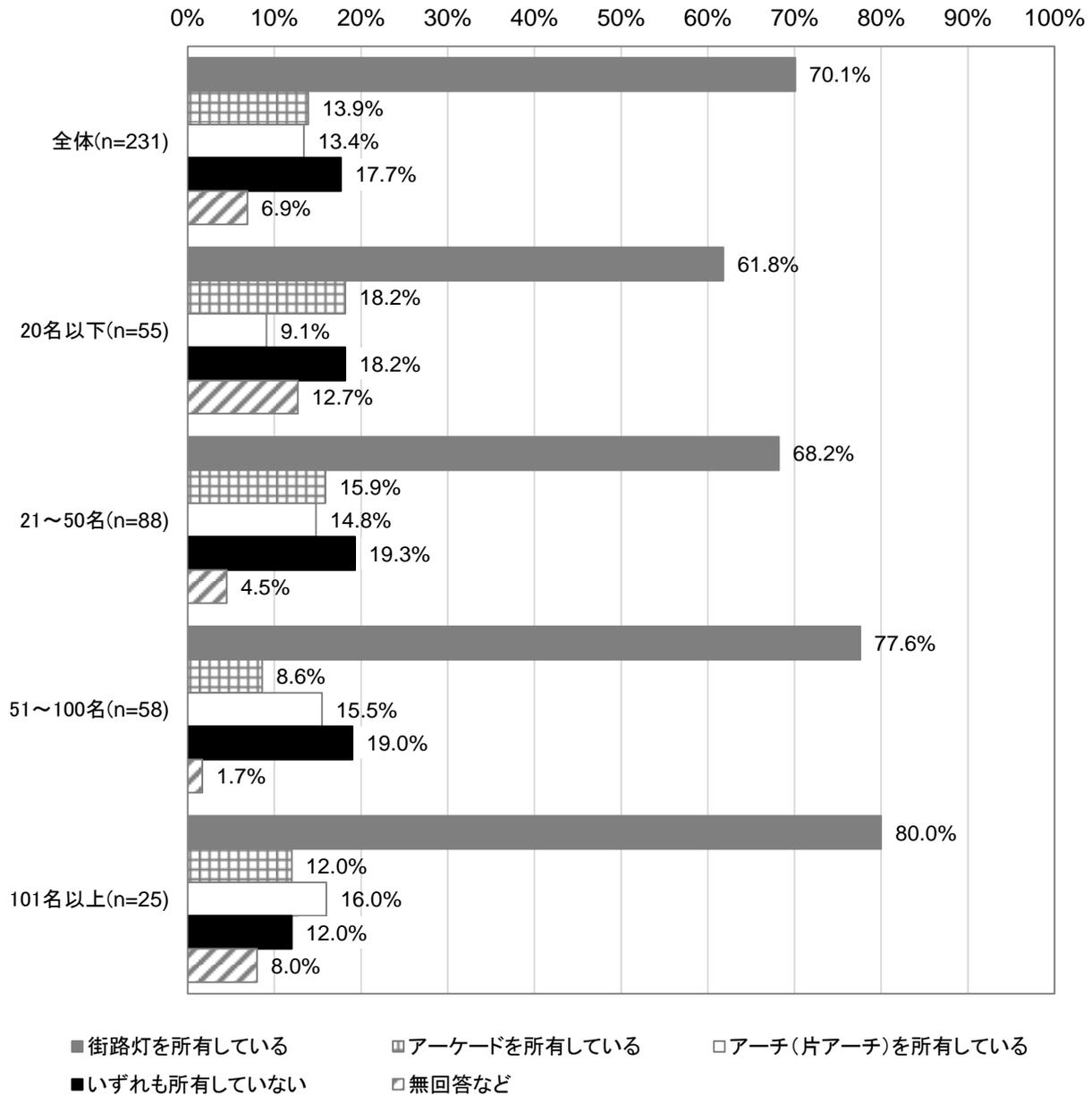
組織形態別にみると、どの組織形態であっても、「街路灯を所有している」は約7割であるが、振興組合においては100%である。



図表 17-5 商店街設備の所有状況[組織形態別]

【会員数別】

会員数別にみると、「101名以上」は「街路灯を所有している」が最も多く、80.0%であった。また会員数が多いほど「街路灯を所有している」「アーチ(片アーチ)を所有している」の割合が高くなる傾向がみられた。

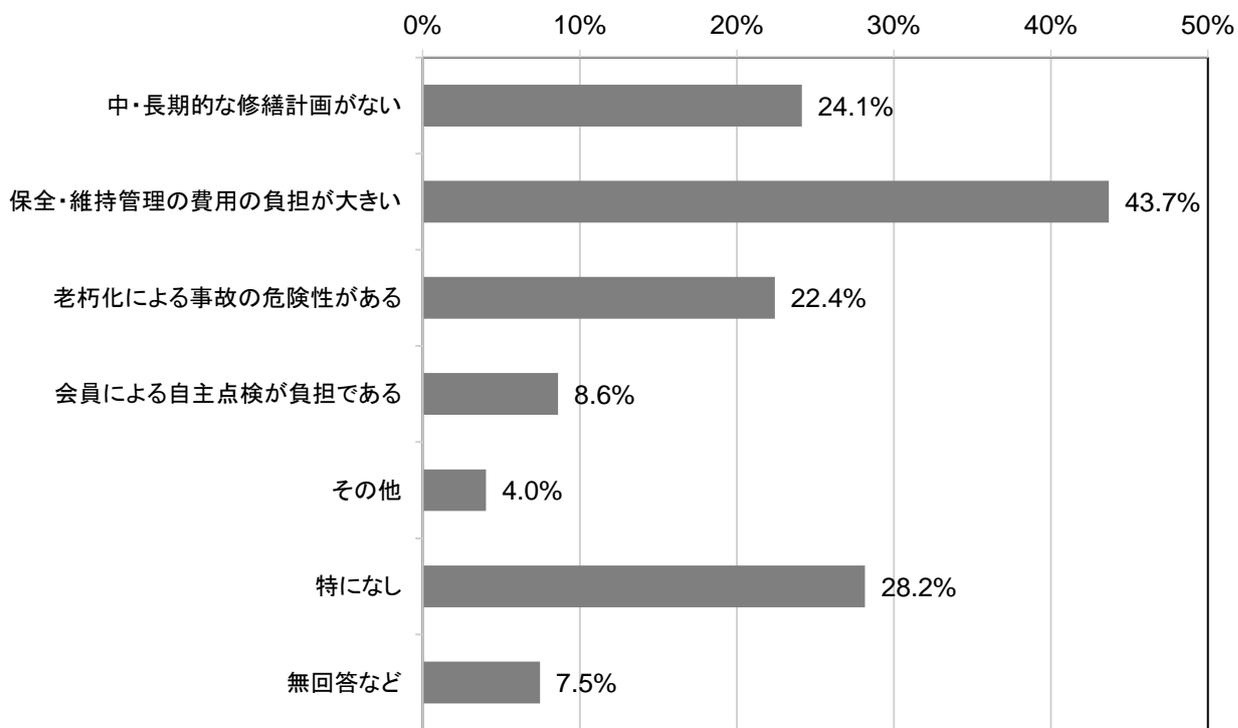


図表17-6 商店街設備の所有状況[会員数別]

問 13-2 問 13 の施設の保全・維持管理における課題は何ですか。

【全体】

「保全・維持管理の費用の負担が大きい」が最も多く、43.7%であった。次いで「特になし」(28.2%)、「中・長期的な修繕計画がない」(24.1%)の順となった。



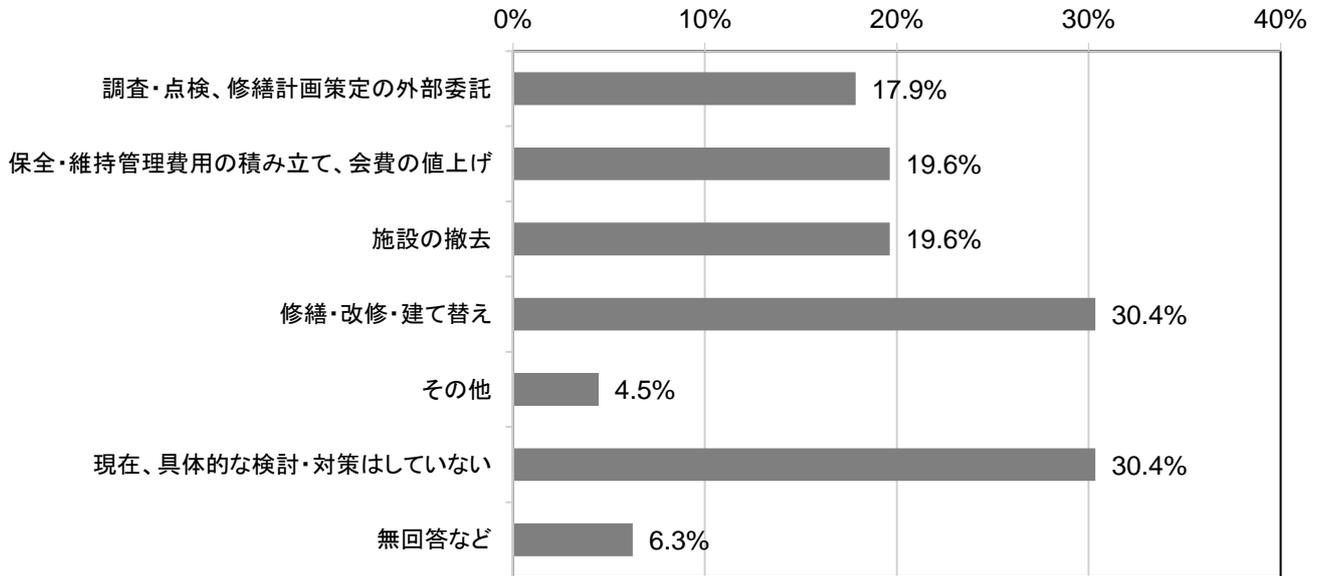
図表18-1 施設の保全・維持管理における問題点[全体]

n=174

問 13-3 施設の保全・維持管理の課題について、検討・対策をしていることは何ですか。

【全体】

「修繕・改修・建て替え」と「現在、具体的な検討・対策はしていない」が最も多く、共に30.4%であった。



n=112

図表19-1 施設の保全・維持管理に関して検討していること [全体]

【施設の保全・維持管理に関する問題別】

施設の保全・維持管理に関する問題別でみると、「修繕・改修・建て替え」「現在、具体的な検討・対策はしていない」が上位となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=174)	修繕・改修・建て替え/現在、具体的な検討・対策はしていない 30.4%		保全・維持管理費用の積み立て、会費の値上げ/施設の撤去 19.6%		調査・点検、修繕計画策定の外部委託 17.9%
中・長期的な修繕計画がない (n=42)	現在、具体的な検討・対策はしていない 35.7%	修繕・改修・建て替え 33.3%	保全・維持管理費用の積み立て、会費の値上げ 26.2%	施設の撤去 21.4%	調査・点検、修繕計画策定の外部委託 19.0%
保全・維持管理の費用の負担が大きい (n=76)	修繕・改修・建て替え 36.8%	現在、具体的な検討・対策はしていない 27.6%	保全・維持管理費用の積み立て、会費の値上げ 22.4%	調査・点検、修繕計画策定の外部委託 19.7%	施設の撤去 18.4%
老朽化による事故の危険性がある (n=39)	修繕・改修・建て替え 48.7%	施設の撤去 41.0%	現在、具体的な検討・対策はしていない 23.1%	調査・点検、修繕計画策定の外部委託 17.9%	保全・維持管理費用の積み立て、会費の値上げ 12.8%
会員による自主点検が負担である (n=15)	現在、具体的な検討・対策はしていない 46.7%	修繕・改修・建て替え 40.0%	施設の撤去 20.0%	調査・点検、修繕計画策定の外部委託/保全・維持管理費用の積み立て、会費の値上げ 13.3%	
その他 (n=7)	施設の撤去/修繕・改修・建て替え/現在、具体的な検討・対策はしていない 28.6%		保全・維持管理費用の積み立て、会費の値上げ/その他 14.3%		

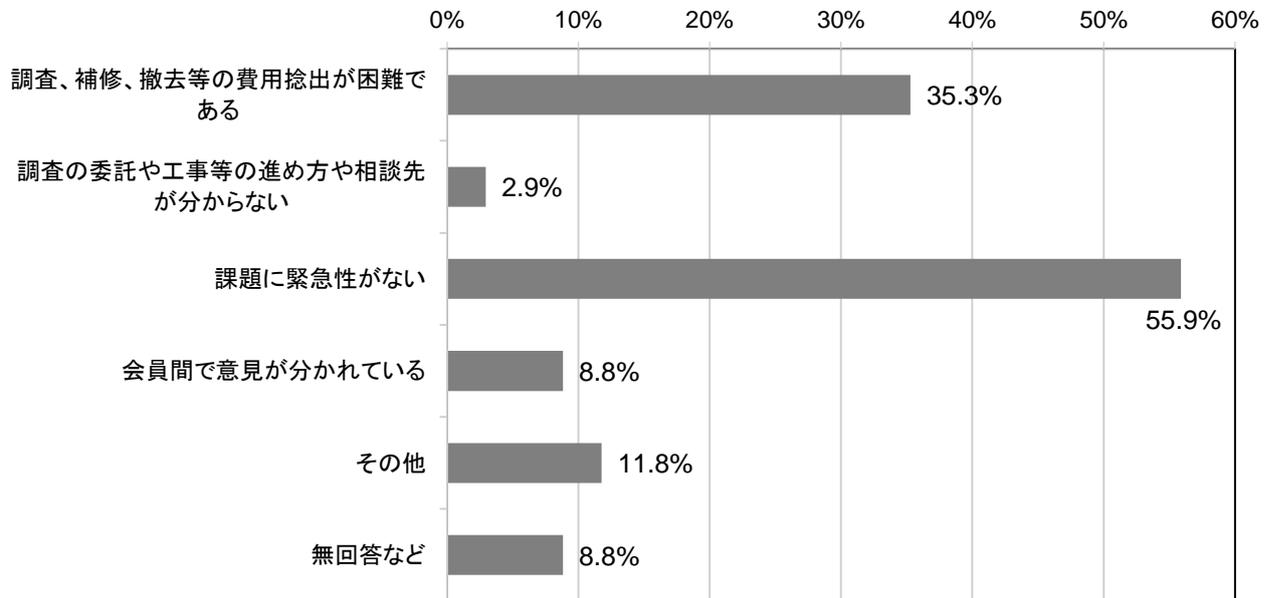
図表19-2 施設の保全・維持管理に関して検討していること [施設の保全・維持管理に関する問題別]

※上位5位までを抽出

問 13-4 施設の保全・維持管理の課題について、検討・対策をしていない理由は何ですか。

【全体】

「課題に緊急性がない」が55.9%で最も多く、次に「調査、補修、撤去等の費用捻出が困難である」(35.3%)が続いた。



n=34

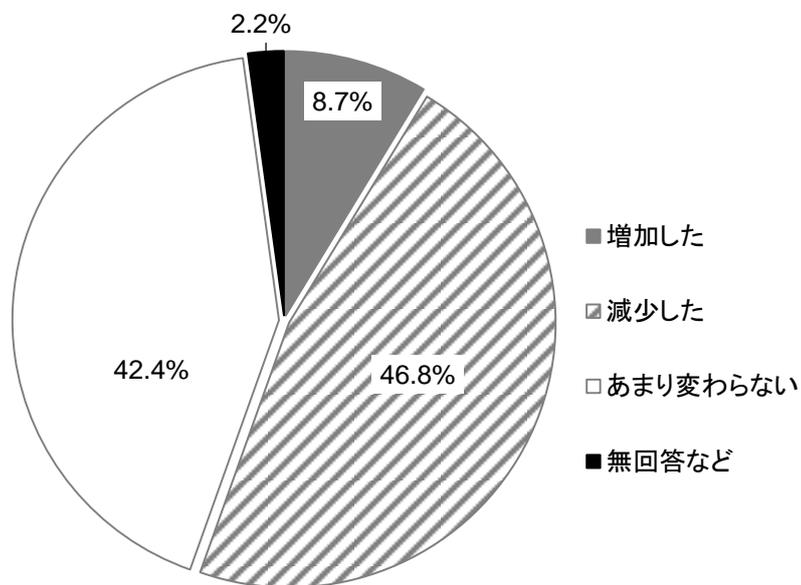
図表20-1 施設の保全・維持管理の課題を検討・対策していない理由[全体]

(6) 来街者数の状況

問 14 3年前と比べ、来街者数はどう変化したと感じられますか。

【全体】

「減少した」が46.8%で、「あまり変わらない」が42.4%であった。

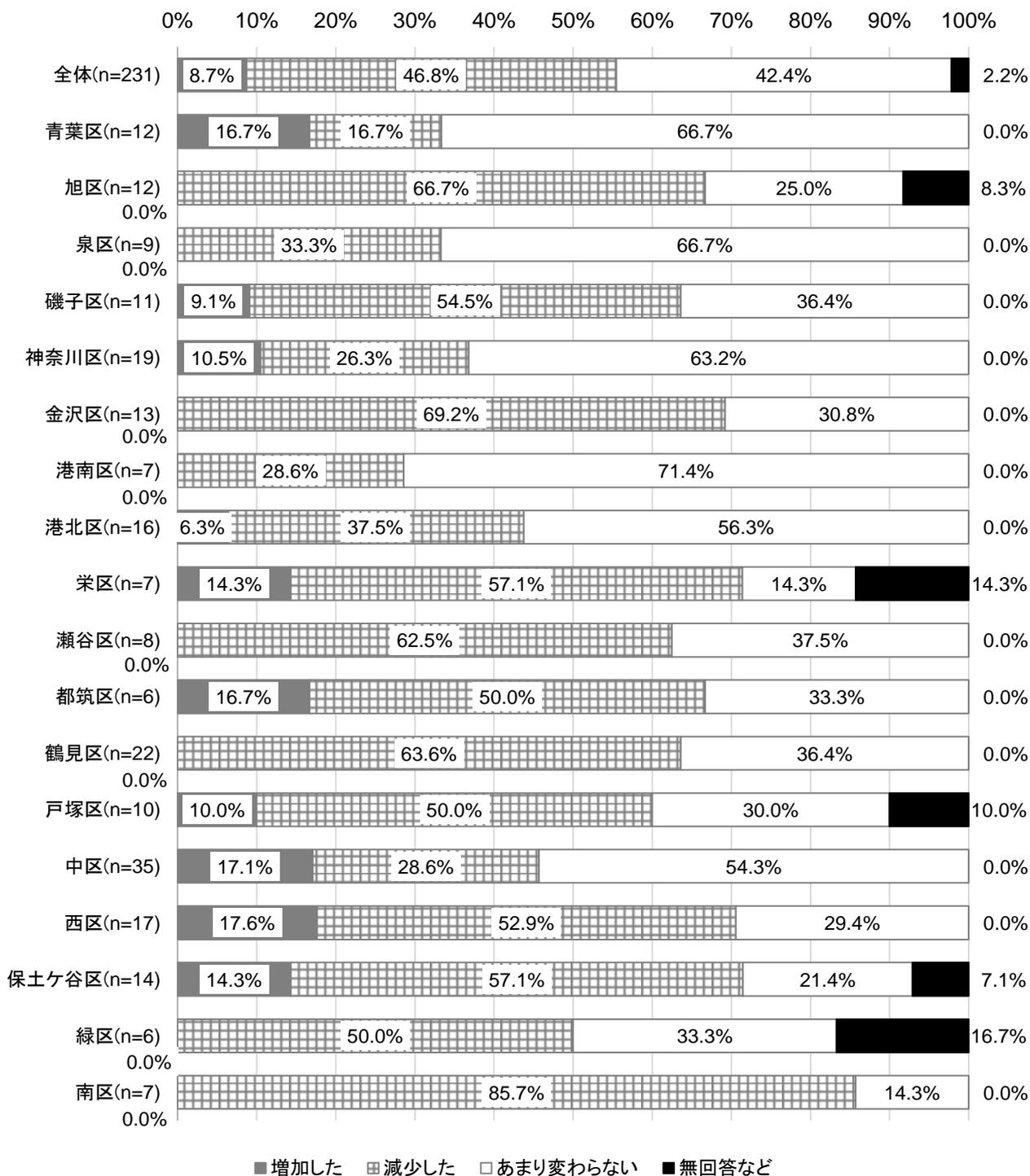


図表21-1 来街者数の変化 [全体]

n=231

【区別】

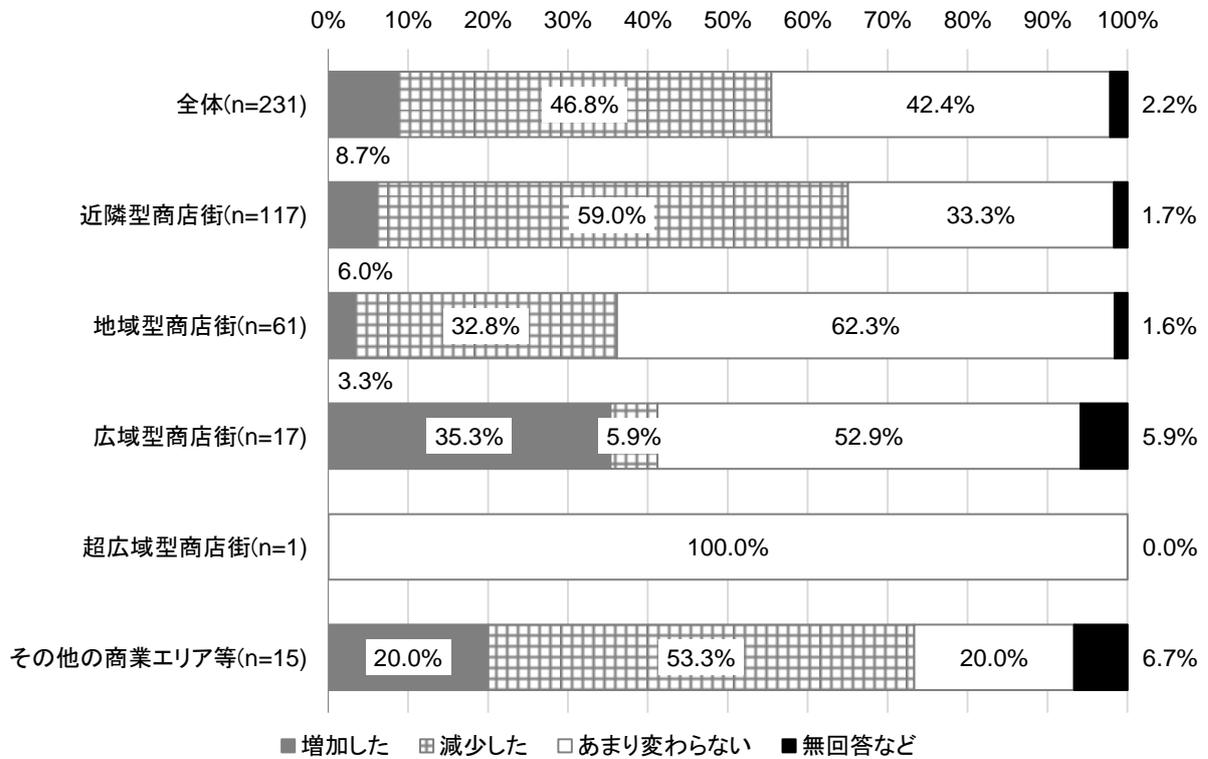
区別にみると、「旭区」「泉区」「金沢区」「港南区」「瀬谷区」「鶴見区」「緑区」「南区」で「増加した」が0%であった。



図表21-2 来街者数の変化 [区別]

【商店街タイプ別】

商店街タイプ別にみると、「増加した」は「近隣型商店街」「地域型商店街」では5%前後であるのに対し、「広域型商店街」では35.3%となっている。また「減少した」は「近隣型商店街」では59.0%、「地域型商店街」では32.8%であるのに対し、「広域型商店街」では5.9%となっている。

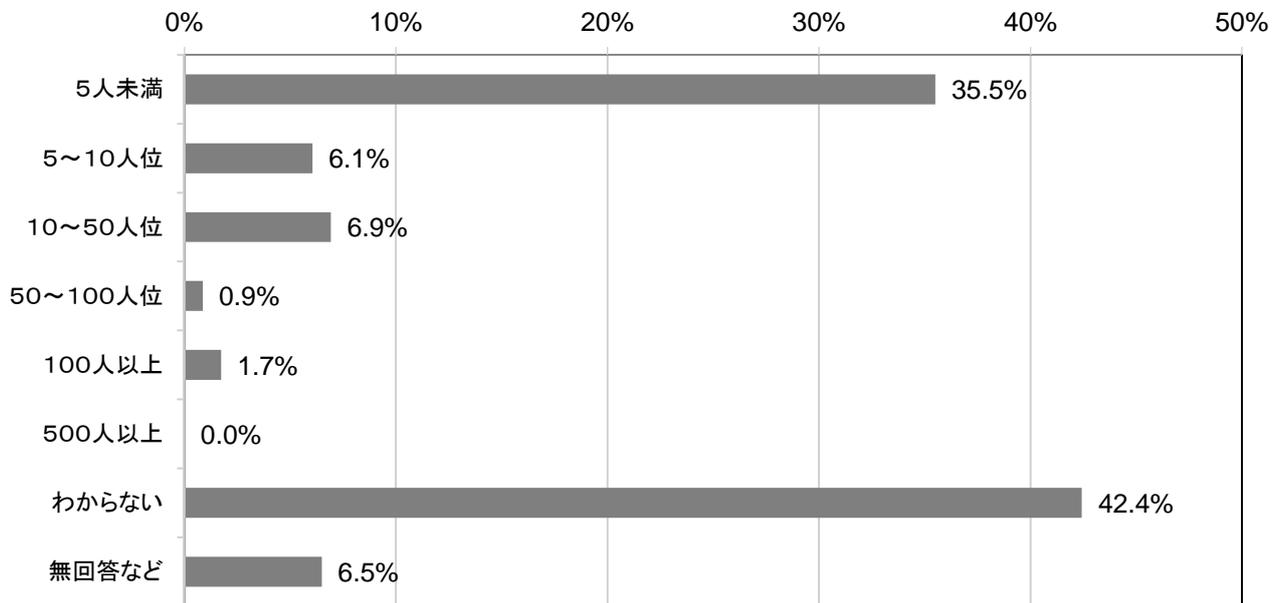


図表21-3 来街者数の変化 [商店街タイプ別]

問 15 現在、最も多いときで外国人観光客の来街者数は1日どのくらいですか。

【全体】

「わからない」が最も多く、42.4%であった。次いで「5人未満」が35.5%であった。



n=231

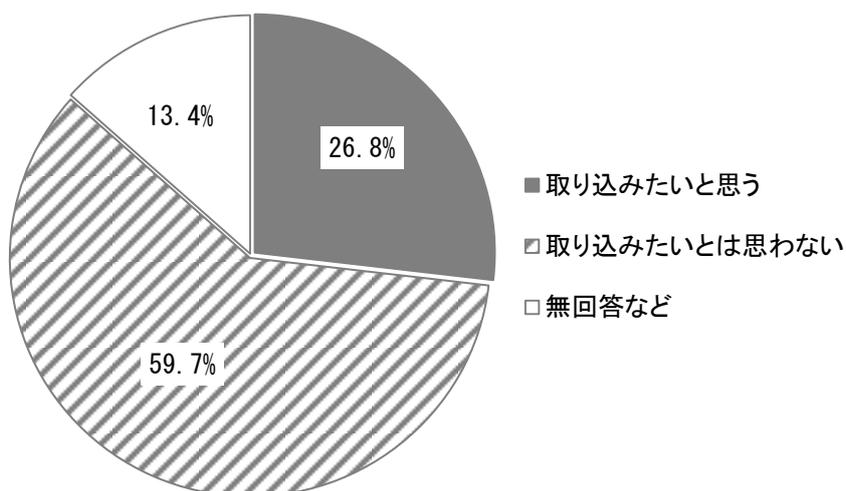
図表22-1 外国人観光客の来街者数 [全体]

(7) 外国人来街者への対応

問 16 外国人観光客を来街者として取り込みたいと思いますか。

【全体】

「取り込みたいとは思わない」が最も多く、59.7%であった。一方、外国人観光客の取り込みに前向きな商店街は26.8%となった。



図表23-1 外国人観光客の取り込み [全体]

n=231

【区別】

「取り込みたいと思う」と回答した商店街数は「中区」で最も多く、19商店街あった。

取り込みたいと思うと回答した商店街数			
全体：62			
青葉区	1	瀬谷区	0
旭区	2	都筑区	2
泉区	0	鶴見区	2
磯子区	2	戸塚区	4
神奈川区	6	中区	19
金沢区	3	西区	7
港南区	1	保土ヶ谷区	4
港北区	4	緑区	1
栄区	2	南区	2

図表23-2 外国人観光客の取り込み[区別]

【会員数別】

会員数別にみると、「取り込みたいと思う」と回答した商店街数は「21～50店舗」で最も多く、21商店街であった。

	取り込みたいと思うと回答した商店街数
1～20名	9
21～50名	21
51～100名	17
101名以上	13

図表23-3 外国人観光客の取り込み[会員数別]

【商店街タイプ別】

商店街タイプ別にみると、「取り込みたいと思う」と回答した商店街数は「地域型商店街」が最も多く、22商店街あった。

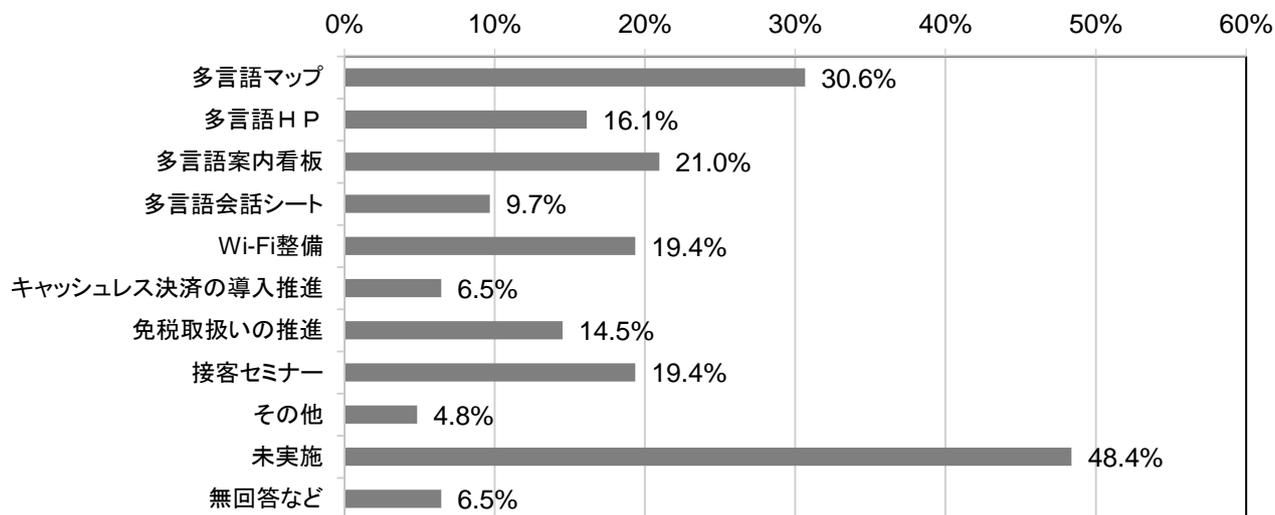
	取り込みたいと思うと回答した商店街数
近隣型商店街	21
地域型商店街	22
広域型商店街	8
超広域型商店街	1
その他の商業エリア等	4

図表23-4 外国人観光客の取り込み[商店街タイプ別]

問 16-2 貴商店街が現在実施している外国人観光客取り込み策は何ですか。

【全体】

「未実施」が最も多く、48.4%であった。次いで「多言語マップ」(30.6%)、「多言語案内看板」(21.0%)「Wi-Fi整備」「接客セミナー」(共に19.4%)の順となった。



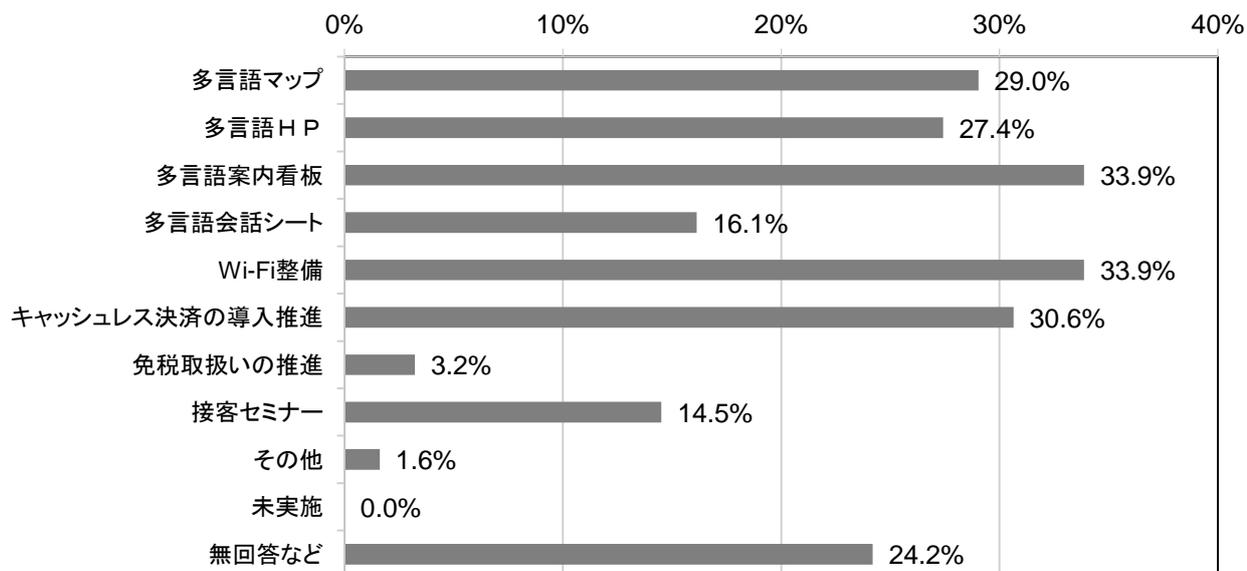
n=62

図表24-1 外国人観光客の取り込みへの施策[全体]

問 16-3 貴商店街が今後取り組みたい事業を上記問 16-2 の中から選び、() 内に番号をご記入下さい。

【全体】

「多言語案内看板」「Wi-Fi整備」が最も多く、共に33.9%であった。次いで「キャッシュレス決済の導入推進」(30.6%)、「多言語マップ」(29.0%)、「多言語HP」(27.4%)の順となった。

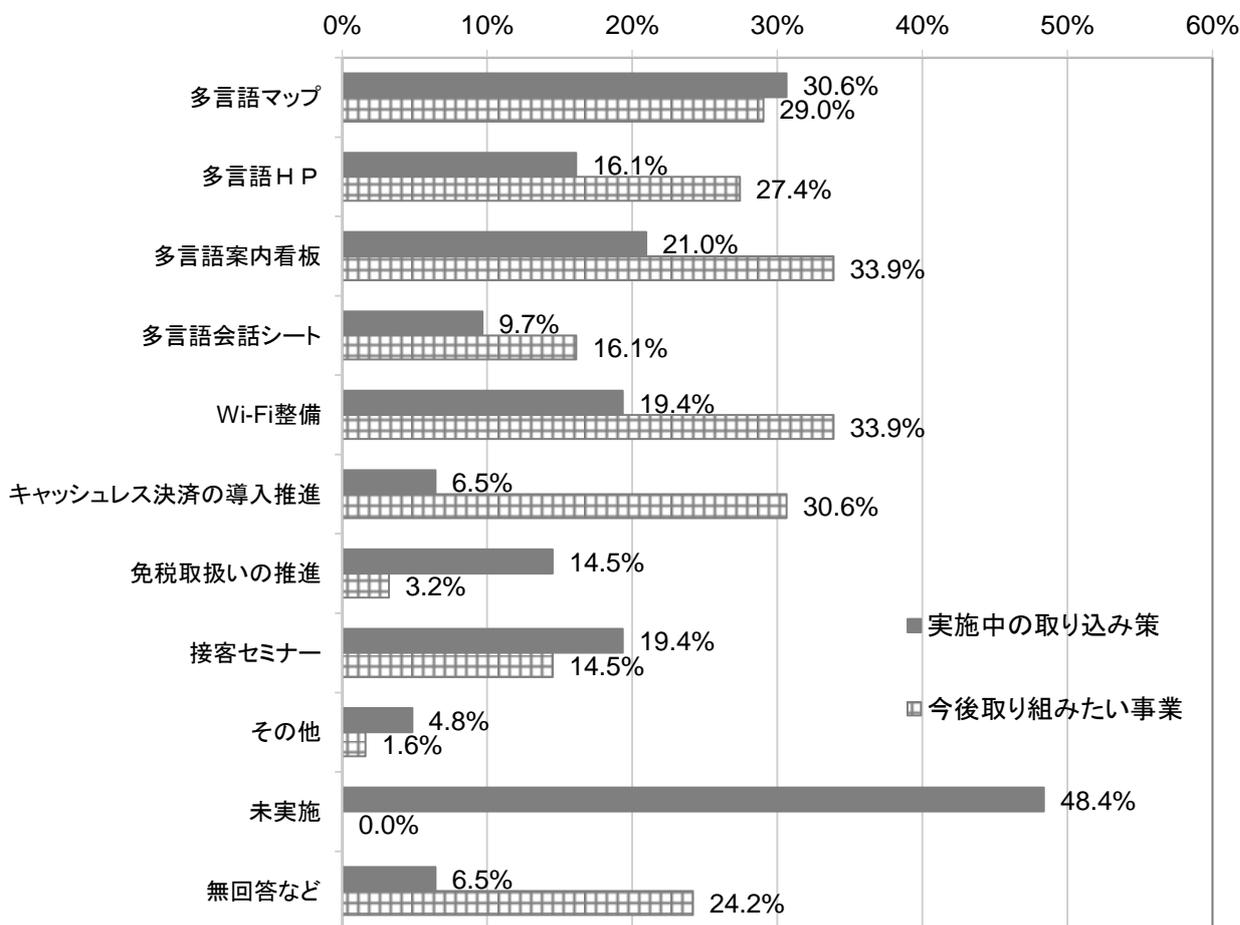


n=62

図表25-1 外国人観光客に対して今後取り組みたい事業[全体]

【問 16-2 との比較】

「実施中の取り組み策」と「今後取り組みたい事業」の差では「キャッシュレス決済の導入推進」が最も大きく、24.1ポイントであり、次いで「Wi-Fi整備」(14.5ポイント)、「多言語案内看板」(12.9ポイント)の順となった。



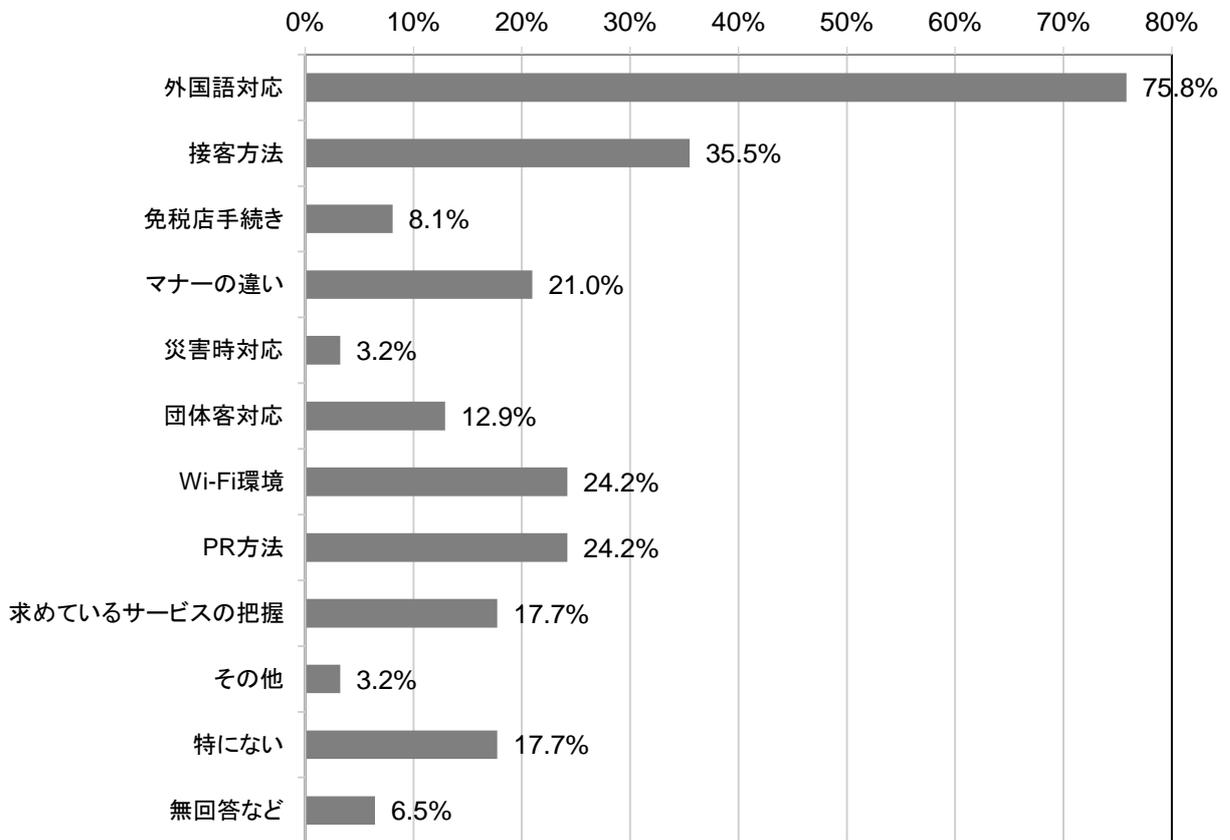
n=62

図表25-2 外国人観光客に対して今後取り組みたい事業[実施中の取り組み策との差]

問 16-4 外国人観光客を取り込む場合、課題は何ですか。

【全体】

「外国語対応」が最も多く、75.8%であった。次いで「接客方法」(35.5%)、「Wi-Fi環境」「PR方法」(共に24.2%)の順となった。



n=62

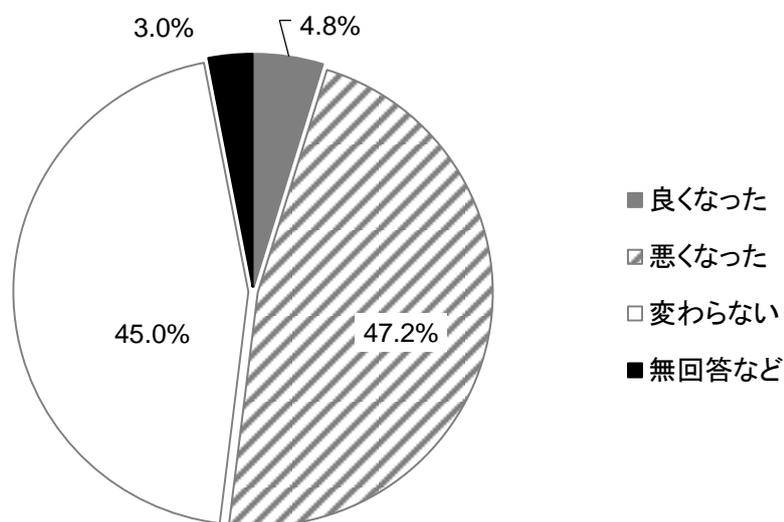
図表26-1 外国人観光客の取り込みへの課題[全体]

(8) 景況感

問 17 昨年と比較して現在の貴商店街の景気はどうなったと感じられますか。

【全体】

「悪くなった」が47.2%で、「変わらない」が45.0%であった。「良くなった」は4.8%であった。

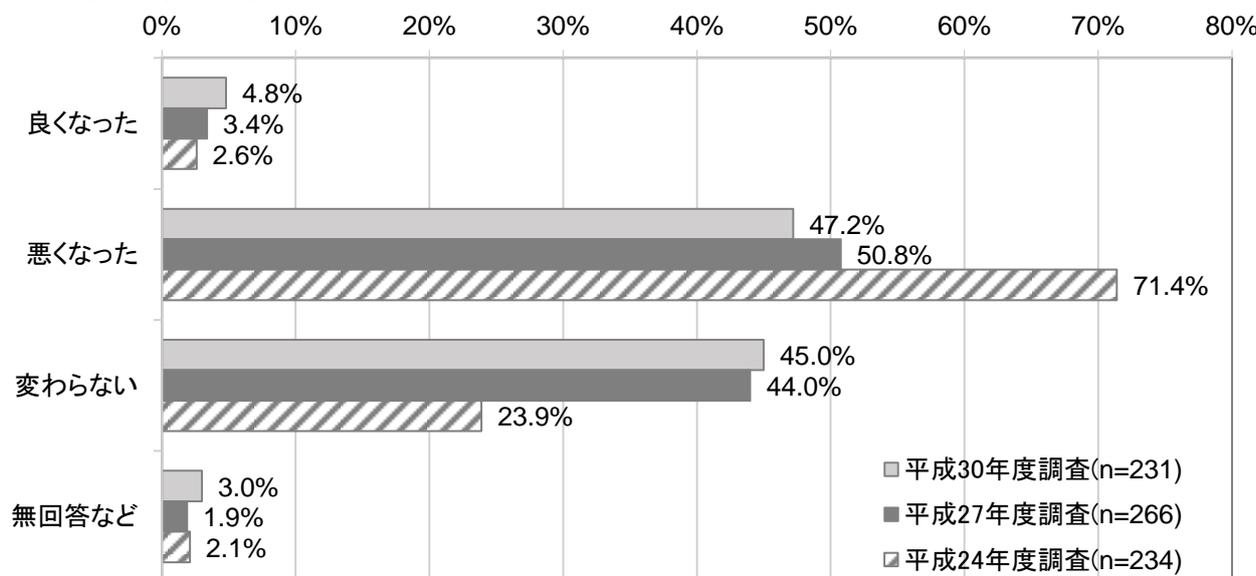


図表27-1 景況感[全体]

n=231

【経年比較】

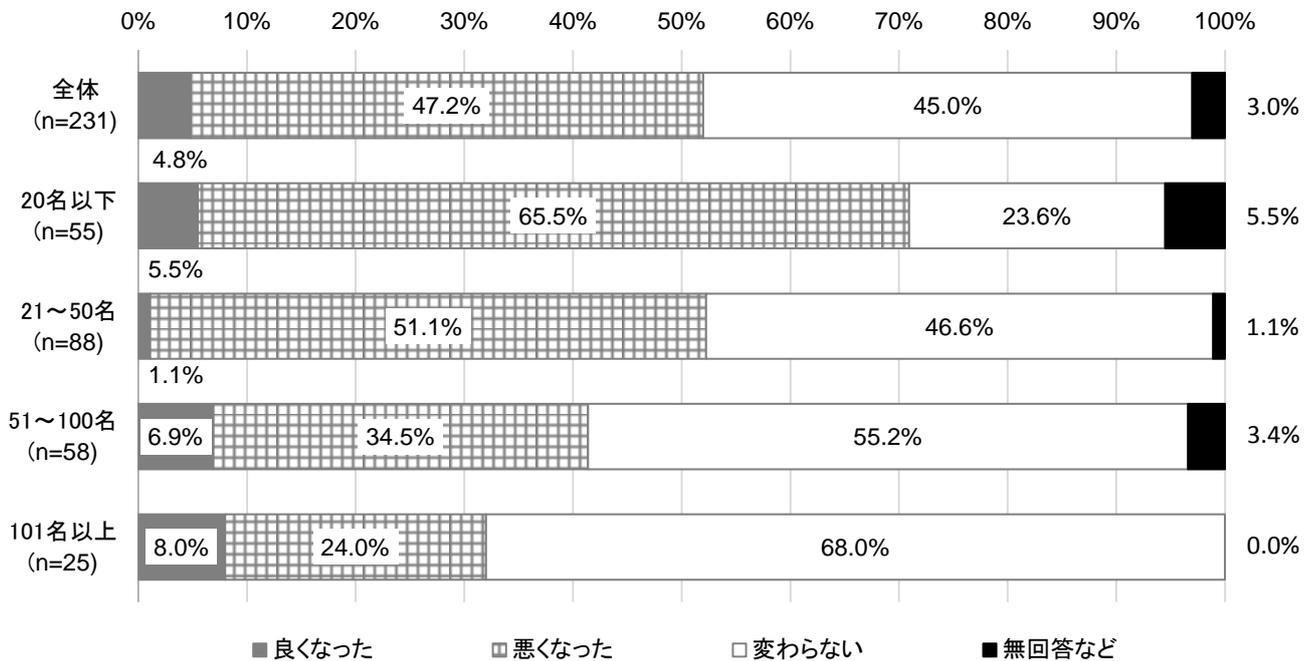
平成24年度調査、平成27年度調査と比較すると、傾向に大きく変わりはないが、「悪くなった」の割合は減少傾向にある。



図表27-2 景況感[経年比較]

【会員数別】

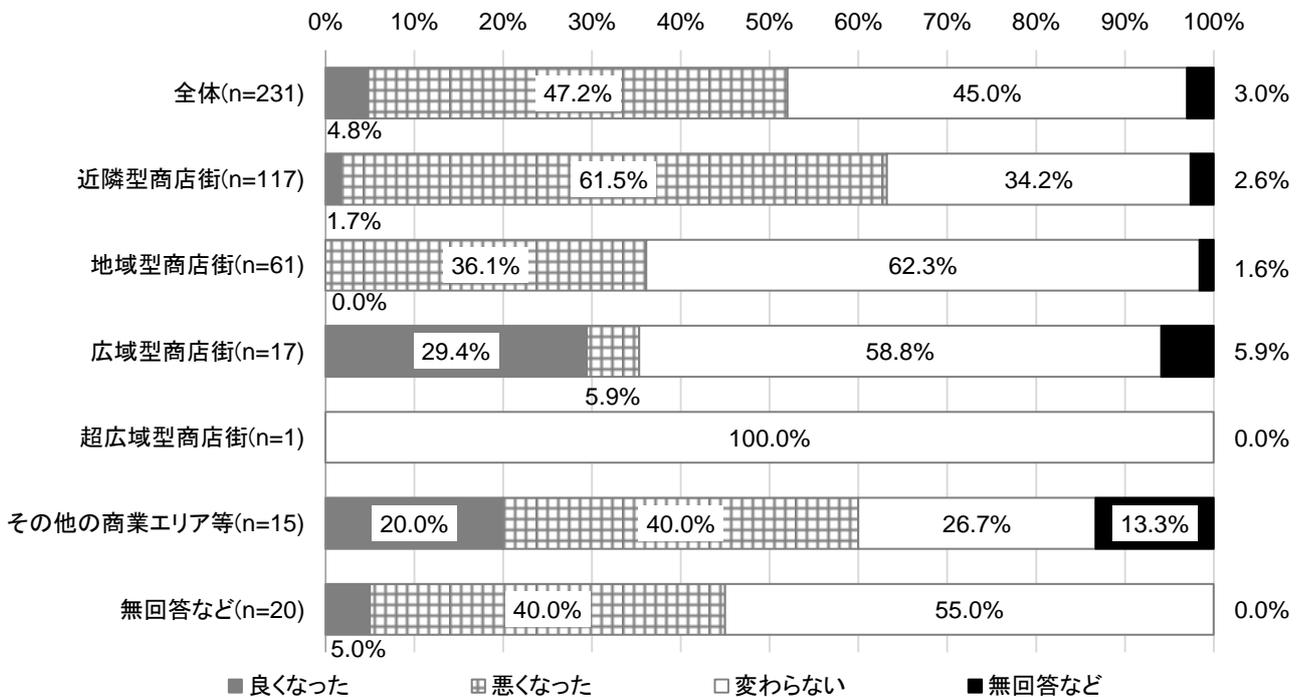
会員数別にみると、「20名以下」で「悪くなった」が最も多く、65.5%となっている。会員数が多くなるに従い、「悪くなった」の割合が減少していく傾向にある。



図表 27-3 景況感[会員数別]

【商店街タイプ別】

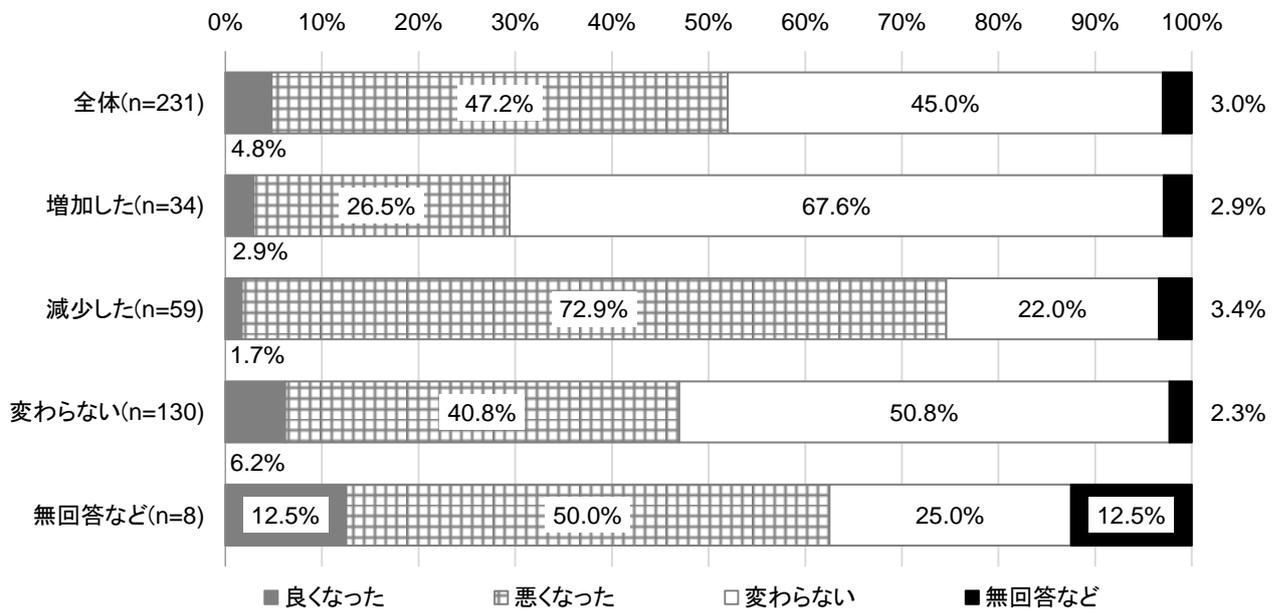
「悪くなった」は「近隣型商店街」が最も多く、61.5%であった。



図表27-4 景況感[商店街タイプ別]

【商店街活動に参加する会員の増減別】

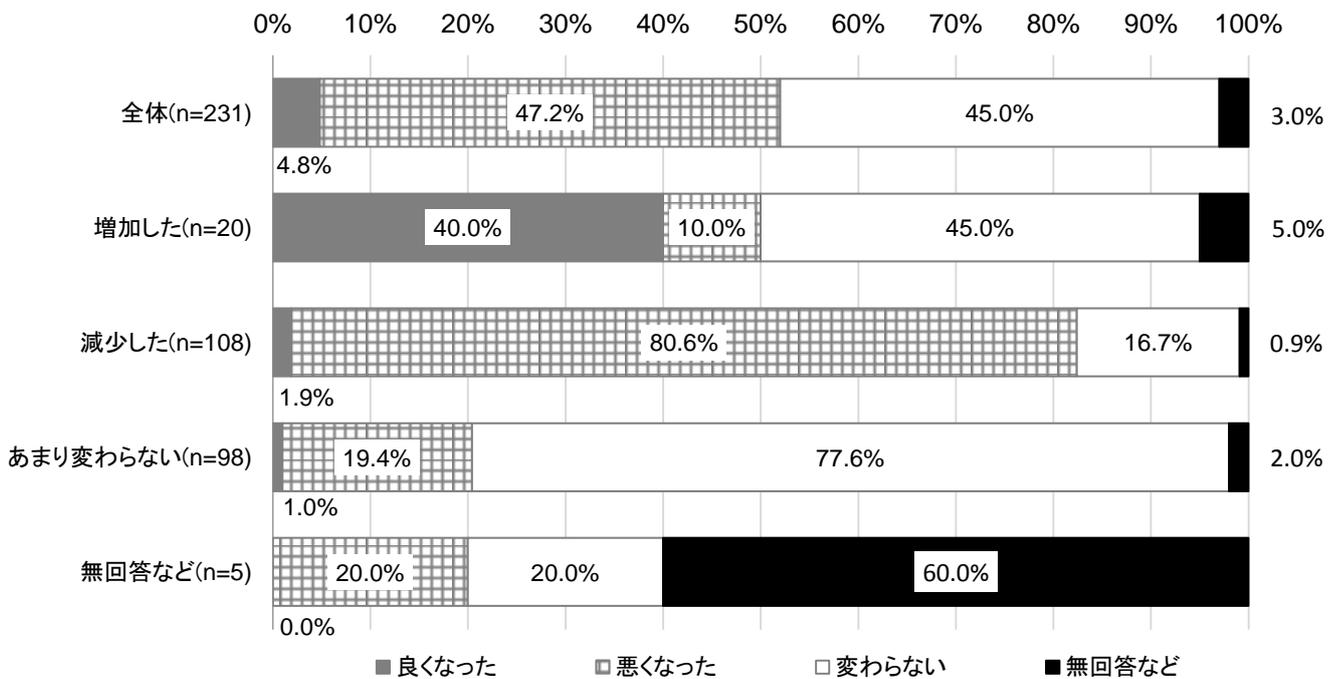
商店街活動に参加する会員が「減少した」商店街では、景気が「悪くなった」と回答した商店街は72.9%であった。



図表27-5 景況感[商店街活動に参加する会員の増減別]

【来街者数変化別】

来街者が「増加した」と感じる商店街では、景気が「良くなった」と回答した商店街は40.0%である一方、「減少した」と感じる商店街では、「良くなった」が1.9%、「悪くなった」が80.6%となっている。



図表27-6 景況感[来街者数変化別]

2. 各設問の「その他」欄のまとめ

※調査票に記入されたままを記載した。

問5 実施している加盟勧誘活動

回答内容	回答数
出店時に加盟必須	6
説明会	1
口頭	1
全店加盟済み	1
年に4回朝市をする	1
理事による勧誘活動	1
開店前及び2～3回の訪問	1
街づくり協定による義務化	1
役員が協力的に声をかける	1
物販店の減少で行っていない	1
商店街が街路灯保持の為と親睦の会になっているので勧誘はしていない	1

問5-3 加盟勧誘活動の課題

回答内容	回答数
チェーン店への加盟推進活動	11
加盟によるメリットの説明と見える化	10
積極的な活動ができる構成員の数	2
物販小売店舗が少ない	1
商店街の売出し行事等が出来なくなっている	1
未加盟店への勧誘活動	1
未加盟店の情報不足	1
訪問のきっかけ作り	1
閉店店舗の増加	1
任意参加であること	1
多種多様の店舗があるため、各店舗の足並みを揃えることが困難	1
深夜営業の店舗が多い	1
コンビニエンスストアの未加入	1
高齢化	1
行政からの広報の依頼	1
勧誘活動の意欲減	1
加入を拒否するオーナー	1
加入して欲しい店舗への勧誘活動	1
会費の上昇	1
開店時の開店祝花	1

回答内容	回答数
駅前開発による店舗移転の影響	1
イベントが出来ない	1
一度退会した会員への連絡	1
空き店舗の解消	1

問8 商店街の活動内容

回答内容	回答数
夜市	1
清掃	1
組織の充実	1
駐車場管理	1
年に1回旅行	1
防犯カメラの運用	1
駐車場サービス券の発行	1
コミュニティ設備	1
イベントスペースの運営	1
コンサート	1
区商連のレシートラリー等に参加	1
商店街ツアー	1
ポイントウォークラリー	1
箱根駅伝おうえんキャンペーン	1
ハロウィン・イルミネーション・七夕	1
活動できない	1
祭りの主催・運営	1

問9-1 最近3年で商店街活動に参加する会員が「増えた」理由

回答内容	回答数
積極的な勧誘活動	3
会員数の増加	2
新店舗の増加	1
まちゼミの実施	1
新しいイベントの開催	1
日々の会合、コミュニケーション	1
役員になってもらって、仕事をお願いした為	1
横浜市の商店街まるごと再生、支援事業	1
新規店舗・会員の入れ替わりで若い会員が増えた	1
区役所による商店街活性化事業を実施中	1
役員が世代交代し、若手メンバーでの運営	1

回答内容	回答数
イベントの成功	1
青年会が出来て、若い人で活動する人が増えた	1
青年部の人員を増やすため声かけをした	1
商店会イベントや地域のまつりを通して、協力的な店舗が増えた	1
商店(個店)会員だけでなく企業会員の在員が積極的に参加してくれる	1
記念年だったので区長、消防署長等多数参加して頂いた	1
イベント開催に対する会議に役員以外の会員にも積極的に参加いただいている	1
世代交代による商店街の活動の再開	1
積極的に誘致活動をしたこと。横浜市経済局の空き店舗コンサルティング事業等が誘致のきっかけ。	1
コミュニケーションしやすいツール活用(LINE、facebook)	1
会長交代、店舗入れ替え等で、役員をひきうけてくれる会員が増えた	1

問9-2 最近3年で商店街活動に参加する会員が「減った」理由

回答内容	回答数
高齢化	15
閉店・廃業	7
加盟店減少	2
活動できていない	2
加盟によるメリットがない	2
後継者不足	1
ビルの取り壊し	1
経営難による閉店	1
客の減少	1
未加盟店の増加	1
大規模小売店の台頭	1
又借り店舗の増加	1
地元愛の低下	1
再開発	1
スーパーの撤退	1
競合店舗の増加	1

問9-3 最近3年で商店街活動に参加する会員が「変わらない」理由

回答内容	回答数
高齢化	6
時間・余裕がない	4
出退店舗無し	3
役員中心	1
イベント参加店は変わらない	1
役員に加えて数名が積極的に参加	1
組合の役員のみが活動せざるをえない	1
会員は減少するが、勧誘活動を行っている。	1
チェーン店が多い	1
現状維持	1
親睦団体の為	1
役員の高齢化と若手の入れ替え	1
役員で閉店した店舗があり、引越しもあった。	1
店舗の人手不足により、商店街活動に参加できない	1
後継者不足	1
加盟によるメリットを説明できない	1
商店街活動に賛同し、参加頂ける会員が、いつも同じ	1
積極的な方が増えると、他の方の閉店があつたり商店会外の方は増えている	1
世代交代を進めなくてはならないが、若い人が役員になることを拒否することが多いので困っている	1
イベントに等による加入促進の効果が乏しい	1

問10 現在の商店街の悩み

回答内容	回答数
店舗が少ない	2
美化運動意識の欠如	1
事務所としてのテナント引用	1
不法看板	1
店舗が代る事によりサービス業がふえる	1
鳩の糞害	1
商店街の中に店舗施設を作らないマンションの増加	1
商店会での協力内容	1

問10-2 悩み解決に向けて、充実してほしい支援策

回答内容	回答数
街路灯の維持管理の為の補助	6
活動費の補助	5
空き店舗対策への補助	4
助成金等の制度の充実	3
行政による対策	2
空き店舗の補助の充実	2
補助金申請要件の緩和	2
商店会加入の義務化	2
他の商店街での成功事例の情報共有	2
会の運営補助	1
再生、支援事業の延長	1
若い事業主の参加を促す方法	1
駐車場用地の確保のための支援	1
各商店の連携	1
駅前広場の放置自転車、バイクの撤去	1
チェーン店への商店街加入の働きかけ	1
共用施設・設備の改修工事に対する支援金	1
来街者を増やすPR活動の支援	1
安心、安全な町への支援	1
IT化促進	1
商店街の実情にあったイベントや活動事例などを提案、紹介してくれるアドバイザーの派遣	1
実験的取り組みにおける補助金の充実	1
売上高の減少対策	1
老朽化した建物が駐車場に転用も伴う、過剰化	1
商店街加入メリットの発信	1
様々な業種の誘致	1
美化活動補助	1
地域の小売店補助	1
店舗の家賃が高い	1
周辺環境の悪化対策	1

問12-2 空き店舗が埋まらない理由

回答内容	回答数
住居を兼ねている	4
不明	3
貸す意思がない	3
オーナーの問題	1
経営者の健康状態	1
関係団体に問題	1
経済的理由	1

問13-2 施設の保全・維持管理における課題

回答内容	回答数
暗い	1
予算不足	1
メンテナンス会社の倒産	1
商店街解散時の処分	1
防犯カメラの増設	1
電気代の負担	1

問13-3 施設の保全・維持管理の課題について、検討・対策をしていること

回答内容	回答数
メンテナンス会社の選択	1
維持管理を町内会へ預ける	1
LED省エネランプ化	1
街路灯の一部、保険加入	1

問13-4 施設の保全・維持管理の課題について、検討・対策をしていない理由

回答内容	回答数
撤去予定	2
特に問題なし	1
喫緊の課題ではない	1
別団体が管理	1
会員が少なく対策のしようが無い	1
役員が一人なので決定・進行が困難	1
商店街が管理してなく店舗に委ねている	1
町内会に委ねている	1
メンテナンスを担当している団体の対応が悪い	1
街路灯、補修点検は会員の電気店がしている	1

問16-2 商店街が現在実施している外国人観光客取り込み策

回答内容	回答数
観光のメリットが少ない	1
来街者なし	1
翻訳機	1
外国人の店舗が多いので聞くことができる	1

問16-4 外国人観光客を取り込む場合の課題

回答内容	回答数
駅に近いので、ホテルにチラシとマップの設置。コンシェルジュへの対応のお願い	1
わからない	1

問18 商店街の特徴的な取組や来街者に人気の高い事業、横浜市への御意見

※イベントでは、祭り・ハロウィン・販促セールが好評という事例が多かった。

その他の特徴的な事業や市への意見の主なものを抜粋した。

なお、紙面の関係で一部簡略化している。

回答内容
地域に密着したイベント、花いっぱい商店街への取組
夜店、ハロウィンの実施
まちゼミの実施。近隣の工場や会社も協力してくれている。
商店街中央広場を利用した商店街プロレスの開催
①法人化への道筋の情報提供②役員勉強会の実施(年6回ほど)
③老人クラブと共同で落語会の実施
区や市の補助金制度に不満。補助金を当てにして行う事は長くは続かない。 自分達の手で出来る事を継続して行う事が重要。
JAZZ・寄席・ミニコンサート等。行政と合同で違法看板・違法駐輪パトロール。
ビアガーデン、アート&ジャズフェスティバル
防犯カメラの設置を望む。
ガチシリーズ受賞店は現在も人気です。
街路灯補修の助成金が有効だった。
ハロウィン・歩行者天国企画が好評。商店街実態調査にWEB回答導入を。
セールのスクラッチカード(抽選券)の当選率が高く好評です。
ジャズコンサート
HPで発信しているイベント情報やお祭り情報にアクセス集中。メールマガジンの登録者も4000人を越えた。
桜まつり・ちよい呑企画
毎月最終土曜日に開催しているイベントセールが好評で通算200回越えた。
スーパーにはない、より深い専門性を持つ店の誘致をする為の施策を望む。
高齢者向けの事業への助成金を望む。

回答内容
空き店舗コンサルティングなど新しい事業への積極的参加
インフラ整備、商店街発展の為の共有物への更なる援助
HPを作成し、会員店舗の紹介記事を掲載。 その店の人にフォーカスした、あたたかい内容となっている。
歳末セールの券を賛助会員等にも配布し好評。 各行事・親睦会は会員店舗を順に利用し、会員メリットを感じてもらう。
今後の課題は、魅力ある店舗・個性的な店舗を増やすこと。その募集の支援を望む。
商店街独自のプレミアム商品券の発行
ウォーキングしながら商店会を歩く健康ウォーキングラリーは盛況です。
高齢者に商店街に足を運んでもらう事、子育て世代に商店街の魅力を知ってもらう事の両方を目標に月1回イベント実施。
商店会加入店を増やす為のキャッチコピーやノウハウが欲しい。
街路灯の維持管理費を増して欲しい。
情報発信型コミュニティカフェを開設し商店会のPRを実施。 事務局を充実する取組への支援を望む。
定期的にガラポン・パフォーマンスイベントを実施しており、特にガラポンイベントは近隣住宅の方に好評です。

第3章 まとめ

1. 商店街の形態

商店街の規模やタイプには変化がみられない。規模は縮小傾向である。

- ・商店街のタイプは、近隣住民が徒歩・自転車由来街する「近隣型商店街」、駅に近接し、区内の住民が来街する「地域型商店街」の2つで7割以上を占めた。
- ・組織形態は7割以上が「任意団体」である。
- ・商店街の会員数は、50名以下が6割以上を占めた。最も多いのは「21～50名」で38.1%が該当した。
- ・商店街への加盟率の変化は「減少した」「変わらない」がそれぞれ4割を超え、「増加した」は約1割となっている
- ・会員数が多い商店街ほど商店街加盟の勧誘活動を実施している。

2. 商店街の構成業種と不足業種

商店街を構成する業種・業態は理容院・美容院、飲食店(食事)が多い。

不足業種・業態は生鮮3品が上位を占めているが、年々「精肉」「鮮魚」の割合が減少している。

- ・商店街を構成する業種で多いのは「理容院・美容院」(81.4%)、「飲食店(食事)」(80.1%)である。
- ・商店街が感じる不足業種・業態では「青果」(23.4%)、「精肉」(24.2%)、「鮮魚」(26.4%)の生鮮3品が上位を占めているが、年々減少しており、特に「精肉」「鮮魚」の減少が目立つ。
- ・平成30年度実施の『消費者購買行動意識調査』(問3「商店街に開店、または増えてほしいと思うお店」の業種・業態)との比較では商店街が最も不足していると感じている業種・業態は「鮮魚」(26.4%)であるのに対し、消費者が商店街に開店してほしい、もっと増えてほしいと思う業種・業態は「パン・ベーカリー」(25.7%)であった。

3. 商店街活動について

商店街活動で多いのは「街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理」「防犯・防災活動」

- ・商店街活動として多くの商店街が行っているものは「街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理」(67.5%)、「防犯・防災活動」(62.3%)であった。次に「地域交流イベントの開催(祭り等)」「地域(自治会・NPO等)や学校との連携」(49.4%)が続く
- ・商店街活動に参加する会員は、年々「減った」の割合が減少している。

4. 商店街における悩み

「売上・来街者の減少」が最も多いが、「経営者の高齢化」「魅力ある店舗の不足」「店舗の老朽化」が増加している。

- ・商店街における悩みとして「売上・来街者の減少」が最も多いが、年々減少しており、「経営者の高齢化」「魅力ある店舗の不足」「店舗の老朽化」が増加している。

5. 空き店舗の状況

空き店舗は「なし」が最も多く、次いで「2～3店舗」が多い。

- ・商店街における空き店舗の状況は「なし」(31.6%)が最も多く、次いで「2～3店舗」(21.6%)となっている。
- ・空き店舗の時期が「3年以上前」から続いていると回答した商店街が最も多く、35.9%であった。また空き店舗となった理由は「経営者の高齢化・後継者の不在」が最も多く、25.6%であった。
- ・空き店舗である年数が長くなるにつれ、年々家主の貸す意思は減少する傾向にある。

6. 商店街施設の保全・維持管理

街路灯は約7割の商店街が所有している。

- ・7割を超える商店街が街路灯を所有しており、区別では「鶴見区」の台数が最も多い。
- ・施設の保全・維持管理における課題として「保全・維持管理の費用の負担が大きい」が、最も多く43.7%であった。また課題に対する検討・対策していることは「修繕・改修・建て替え」と「現在、具体的な検討・対策はしていない」が最も多く、共に30.4%であった。

7. 来街者数の状況

3年前と比べ来街者数が「減少した」と感じている商店街は約5割

商店街タイプ別では「近隣型商店街」「地域型商店街」と「広域型商店街」で二極化の傾向がみられる。

- ・3年前と比べ来街者数が「減少した」と回答したのは、46.8%であった。また「あまり変わらない」と回答したのは42.4%であった。
- ・商店街タイプ別では「近隣型商店街」「地域型商店街」では来街者数が「増加した」と回答しているのが、5%前後であるのに対し、「広域型商店街」では35.3%となり、来街者数については二極化の傾向がみられる。

8. 外国人来街者への対応

外国人観光客の取り込みに前向きな商店街は約3割、取り込み策は「未実施」が約5割

- ・外国人観光客を来街者として「取り込みたいと思う」と回答した商店街は26.8%であった。
- ・現在実施中の外国人観光客取り込み策は「未実施」が最も多く、48.4%であった。次いで「多言語マップ」が多く、30.6%であった
- ・商店街が今後取り組みたい事業は「多言語案内看板」と「Wi-Fi整備」が最も多く、共に33.9%であった。

9. 景況感

昨年と比べ、景気は「悪くなった」が約5割

- ・約5割の商店街が、昨年と比べ景気が「悪くなった」と答えているが、割合は減少傾向である。
- ・商店街タイプ別にみると「広域型商店街」で「良くなった」の回答が多い。

参考資料

資料1 調査票

資料2 単純集計表

資料1 調査票

平成30年度 横浜市商店街実態調査 調査票

※ ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて 11月8日(木)までにご投函ください。切手を貼る必要はありません。

※ 調査票の記入事項につきましては、秘密を厳守して商店街振興施策目的以外には使用いたしません。是非、ご協力をお願いいたします。

はじめに、貴商店街の名称、ご連絡先等をご記入ください。

- 商店街名 (_____)
- 商店街所在地 (_____)
- ご回答者役職・氏名 (_____)
- 連絡先電話番号 (_____)

問1 貴商店街のタイプは次の5つのうち、いずれに該当しますか。(○は1つだけ)

1. 近隣型商店街 : 主に近隣住民が徒歩、自転車で来街して日常の買い物をする商店街
2. 地域型商店街 : 鉄道駅に近接し、主に区内の住民が徒歩、自転車、バス等で来街して日常の買い物をする商店街
3. 広域型商店街 : 鉄道駅に近接し、百貨店、量販店等を含む大型店があり、主に電車や自動車による区内外からの来街者が多い商店街
4. 超広域型商店街 : 鉄道駅に近接し、有名専門店、高級専門店を中心に構成され、市外も含む遠距離からの来街者が多い商店街
5. その他の商業エリア等 : 上記1～4にあてはまらない商業エリア、複数の要素を持つ商業エリア等
(問2以下の項目は可能な範囲でご回答をお願いします。)

問2 貴商店街の組織形態は次の5つのうち、いずれに該当しますか。(○は1つだけ)

1. 振興組合 2. 協同組合 3. 一般社団法人 4. 任意団体 5. わからない

問3 貴商店街の会員数は何名ですか。

正会員 (_____) 名 / 準・賛助会員 (_____) 名 / その他 (_____) 名

問3-2 3年前と比べて、商店街への加盟率に変化がありましたか。(○は1つだけ)

1. 増加した 2. 減少した 3. 変わらない

問4 貴商店街に加盟していない店舗の状況をご記入ください。

大型店 () 店舗 / チェーン店 () 店舗 / その他 () 店舗
--

- ※ 大型店 : 小売業を行うために用いられる床面積の合計が1,000平方メートルを超える大型店
 チェーン店 : 大型店以外のレギュラーチェーン(直営店)、フランチャイズチェーン
 その他 : 大型店、チェーン店以外の個人営業等

問5 貴商店街ではどのような加盟勧誘活動を行っていますか。

(あてはまるもの全てに○)

1. 開店時や定期的な訪問による積極的な勧誘	2. イベントを活用した呼びかけ
3. チラシ・パンフ配付等によるPR活動	4. オーナーや不動産会社との協力
5. その他 ()	

問5-2 加盟勧誘活動の課題があればご記入ください。

()

問6 現在、貴商店街を構成する店舗の数を業種・業態毎にご記入ください。

業種・業態	店舗数	業種・業態	店舗数	業種・業態	店舗数
1. 青果		2. 精肉		3. 鮮魚	
4. 惣菜・弁当		5. 米・飲料・酒類		6. パン・ベーカリー	
7. 洋・和菓子		8. その他食品		9. 書籍・文具	
10. 医薬品・化粧品 ドラッグストア		11. 日用雑貨 身のまわり品		12. 趣味 スポーツ用品	
13. 衣料品		14. 時計・メガネ		15. 飲食店(食事)	
16. 飲食店(喫茶・ ファストフード)		17. 家電製品 携帯電話		18. CD・DVD (レンタル含む)	
19. コンビニ		20. 理容室・美容室		21. 食品スーパー	
22. エステ・整体		23. 病院・診療所		24. 銀行等金融機関	
25. 保育施設・学童 子育て支援施設		26. 学習塾・習い事		27. 介護施設	
28. 不動産		29. 100円ショップ		30. その他	

問7 現在、貴商店街に不足していると感じている業種・業態は何ですか。

上記問6の中から選び、() 内に番号をご記入ください。(3つまで選択)

- ※問6の選択肢以外の業種・業態が不足している場合にはその業種・業態をご記入ください。
 不足している業種・業態がない、わからない場合にはそのどちらかに○をつけてください。

() () () / 不足はない / わからない

問8 貴商店街の活動内容はどのようなものですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 中元・歳末期セール(福引等)	2. セール(中元・歳末期以外)
3. ポイントカード・スタンプの発行	4. 駐車場・駐輪場の運営
5. 共同店舗の運営	6. 宅配サービスの実施
7. 出張販売の実施	8. 送迎サービスの実施
9. 商店街ホームページの開設・運営	10. 商店街マップの発行
11. 瓦版など広報物の発行	12. 地域交流イベントの開催(祭り等)
13. 地域(自治会・NPO等)や学校との連携事業	14. 商店街女性部・青年部の組織化
15. 商店街会員による勉強会開催	16. 防犯・防災活動
17. 街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理	18. 緑化・清掃活動など環境に関する取組
19. 電子マネー・クレジットカード等キャッシュレス決済の取扱い	20. まちゼミの実施
21. その他()	22. ほとんど活動はしていない

問8-2 貴商店街が今後取り組みたいと考えている活動を上記問8の中から
 選び、()内に番号をご記入ください。(3つまで選択)
 また、その活動の検討状況について○をつけてください。

()	→	1. 実施に向けて検討している	/	2. 具体的な検討に至っていない
()	→	1. 実施に向けて検討している	/	2. 具体的な検討に至っていない
()	→	1. 実施に向けて検討している	/	2. 具体的な検討に至っていない

問9 最近3年で、商店街活動に積極的に参加する会員は増えましたか。
 (○は1つだけ)

1. 増えた	2. 減った	3. 変わらない
--------	--------	----------

上記回答を選択した要因や具体的状況をご記入ください。

[]

問10 現在、貴商店街ではどのような悩みがありますか。(○は3つまで)

1. 売上・来街者の減少	2. 店舗の老朽化
3. 空き店舗・空き地の増加	4. 街路灯・アーケード等の商業基盤施設の老朽化
5. 魅力ある店舗の不足	6. 業種のバランスが悪い
7. 駐車場や駐輪場の不足	8. 放置自転車の対策
9. 魅力あるイベントの不足	10. 経営者の高齢化
11. 後継者の不在	12. 経営者の意欲低下
13. 未加入店舗の増加	14. 会費収入の減少・滞納の増加
15. 会員の商店街活動に対する意欲の低下・退会者の増加	
16. 商店街活動を担う人材の不足	
17. その他(具体的に)	

問10-2 問10の悩み解決に向けて、充実してほしい支援策があればご記入ください。

()

問11 貴商店街における空き店舗*は何店舗ですか。(ない場合は0(ゼロ)を記入)

() 店舗

*空き店舗とは… 商店街の主要な通りの建物の1階、2階部分(商業用ビル等、多階層にわたって商店街エリアが広がっている場合は、建物の1階、2階には限らない)に位置し、以前店舗として利用された建物で、廃業・移転等により現在は空き店舗となっているもの。

上記のうち、駐車場・一般住宅・空き地になった場合は除く。(次の利用者が現れるまで暫定的に車庫や物置等として使用しているものは含む。)

問12 空き店舗がある場合、各空き店舗の状況についてご記入ください。

	ア) 閉店前の業種 問6の選択肢から該当するものを1つ選び、番号をご記入ください。	イ) 空き店舗となった時期 1. 1年以内 2. 1~2年前 3. 3年以上前 4. わからない	ウ) 閉店の理由 下の欄外の選択肢から該当するものを1つ選び番号をご記入ください。 ※「その他」の場合は具体的内容をご記入ください。	エ) 家主の意思 1. 貸す意思がある 2. 貸す意思がない 3. わからない
①空き店舗 () 階				
②空き店舗 () 階				
③空き店舗 () 階				
④空き店舗 () 階				
⑤空き店舗 () 階				
⑥空き店舗 () 階				
⑦空き店舗 () 階				
⑧空き店舗 () 階				
⑨空き店舗 () 階				
⑩空き店舗 () 階				



- | |
|---|
| 1. 経営状態の悪化(売上の減少・大型店との競争激化・家賃負担が大きい等)
2. 経営者の高齢化・後継者の不在 3. 店舗・設備の老朽化
4. 区画整理・再開発 5. 他地区への移転 6. その他 7. わからない |
|---|

問12-2 空き店舗がある場合、埋まらない理由として考えられるものを次の選択肢から選んでください。(複数回答可)

※「その他」の場合は、具体的内容をご記入ください。

- | | |
|-----------------------------------|-----------------|
| 1. 周辺環境の悪化 (集客が見込めない等) | 2. 家賃が高い |
| 3. 立地が悪い | 4. 開業希望者が見つからない |
| 5. 店舗・設備の老朽化 | |
| 6. 店舗を解体し、店舗以外の目的に使用する予定がある | |
| 7. 積極的な募集をしていない (当面、空き店舗のままで困らない) | |
| 8. 物件の運用方法を検討中 | |
| 9. その他 () | |

問13 貴商店街では街路灯、アーケード、アーチ(片アーチ)を所有していますか。(あてはまるもの全てに○)

- | |
|--|
| 1. 街路灯を所有している
LED等省エネ型ランプ () 基 ・ その他のランプ () 基 |
| 2. アーケードを所有している |
| 3. アーチ(片アーチ)を所有している |
| 4. いずれも所有していない → 問14へ |

問13-2 問13の施設の保全・維持管理における課題は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- | |
|----------------------|
| 1. 中・長期的な修繕計画がない |
| 2. 保全・維持管理の費用の負担が大きい |
| 3. 老朽化による事故の危険性がある |
| 4. 会員による自主点検が負担である |
| 5. その他 () |
| 6. 特になし→問14へ |

問13-3 施設の保全・維持管理の課題について、検討・対策をしていることは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|------------------------------|--------|
| 1. 調査・点検、修繕計画策定の外部委託 | } 問14へ |
| 2. 保全・維持管理費用の積み立て、会費の値上げ | |
| 3. 施設の撤去 | |
| 4. 修繕・改修・建て替え | |
| 5. その他 () | |
| 6. 現在、具体的な検討・対策はしていない→問13-4へ | |

問 13-4 施設の保全・維持管理の課題について、検討・対策をしていない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 調査、補修、撤去等の費用捻出が困難である。 |
| 2. 調査の委託や工事等の進め方や相談先が分からない。 |
| 3. 課題に緊急性がない。 |
| 4. 会員間で意見が分かれている。 |
| 5. その他 () |

問 14 3年前と比べ、来街者数はどう変化したと感じられますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------|---------|-------------|
| 1. 増加した | 2. 減少した | 3. あまり変わらない |
|---------|---------|-------------|

問 15 現在、最も多いときに外国人観光客の来街者数は1日どのくらいですか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|-----------|-----------|------------|-------------|
| 1. 5人未満 | 2. 5～10人位 | 3. 10～50人位 | 4. 50～100人位 |
| 5. 100人以上 | 6. 500人以上 | 7. わからない | |

問 16 外国人観光客を来街者として取り込みたいと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 取り込みたいと思う→問 16-2へ | 2. 取り込みたいとは思わない→問 17へ |
|----------------------|-----------------------|

問 16-2 貴商店街が現在実施している外国人観光客取り込み策は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- | | | | |
|-------------|-------------------|-------------|-------------|
| 1. 多言語マップ | 2. 多言語HP | 3. 多言語案内看板 | 4. 多言語会話シート |
| 5. Wi-Fi 整備 | 6. キャッシュレス決済の導入推進 | 7. 免税取扱いの推進 | |
| 8. 接客セミナー | 9. その他 () | 10. 未実施 | |

問 16-3 貴商店街が今後取り組みたい事業を上記問 16-2の中から選び、()内に番号をご記入ください。(3つまで選択)

()・()・()

問 16-4 外国人観光客を取り込む場合、課題は何ですか。(○は3つまで)

- | | | | | |
|-------------|-------------|-----------|-----------------|----------|
| 1. 外国語対応 | 2. 接客方法 | 3. 免税店手続き | 4. マナーの違い | 5. 災害時対応 |
| 6. 団体客対応 | 7. Wi-Fi 環境 | 8. PR 方法 | 9. 求めているサービスの把握 | |
| 10. その他 () | | | | 11. 特にない |

問 17 昨年と比較して現在の貴商店街の景気は怎么样了と感じられますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 良くなった | 2. 悪くなった | 3. 変わらない |
|----------|----------|----------|

問 18 貴商店街の特徴的な取組や来街者に人気の高い事業がございましたらご教示ください。
また、横浜市へのご意見などございましたらあわせてご記入ください。



《質問は以上です。ご協力ありがとうございました。》

資料 2 単純集計表

※集計では、単一回答や制限付き回答の設問における複数回答も有効回答とした設問がある。

該当する設問に※印あり。

問1 貴商店街のタイプは次の5つのうち、いずれに該当しますか。

n=231

No.	選択肢	回答数	回答率
1	近隣型商店街	117	50.6%
2	地域型商店街	61	26.4%
3	広域型商店街	17	7.4%
4	超広域型商店街	1	0.4%
5	その他の商業エリア等	15	6.5%
	無回答など	20	8.7%
	合計	231	100.0%

問2 貴商店街の組織形態は次の5つのうち、いずれに該当しますか。※

n=231

No.	選択肢	回答数	回答率
1	振興組合	10	4.3%
2	協同組合	36	15.6%
3	一般社団法人	5	2.2%
4	任意団体	162	70.1%
5	わからない	16	6.9%
	無回答など	4	1.7%
	合計	233	-

問3 貴商店街の会員数は何名ですか。

n=231

No.	会員総数	回答数	回答率
1	20名以下	55	23.8%
2	21～50名	88	38.1%
3	51～100名	58	25.1%
4	101名以上	25	10.8%
	無回答など	5	2.2%
	合計	231	100.0%

n=231

No.	正会員	回答数	回答率
1	20名以下	72	31.2%
2	21～50名	88	38.1%
3	51～100名	49	21.2%
4	101名以上	17	7.4%
	無回答など	5	2.2%
合計		231	100.0%

n=231

No.	準・賛助会員	回答数	回答率
1	なし	119	51.5%
2	20名以下	88	38.1%
2	21～50名	16	6.9%
3	51～100名	3	1.3%
4	101名以上	0	0.0%
	無回答など	5	2.2%
合計		231	100.0%

n=231

No.	その他	回答数	回答率
1	なし	207	89.6%
2	20名以下	15	6.5%
2	21～50名	2	0.9%
3	51～100名	2	0.9%
4	101名以上	0	0.0%
	無回答など	5	2.2%
合計		231	100.0%

問3-2 3年前と比べて、商店街への加盟率に変化がありましたか。

n=231

No.	会員総数	回答数	回答率
1	増加した	28	12.1%
2	減少した	99	42.9%
3	変わらない	99	42.9%
	無回答など	5	2.2%
	合計	231	100.0%

問4 貴商店街に加盟していない店舗の状況をご記入ください。

n=231

No.	非加盟店舗総数	回答数	回答率
1	なし	24	10.4%
2	1～20 店舗	126	54.5%
3	21～50 店舗	16	6.9%
4	51～100 店舗	5	2.2%
5	101 店舗以上	5	2.2%
	無回答など	55	23.8%
	合計	231	100.0%

n=231

No.	大型店	回答数	回答率
1	なし	136	58.9%
2	1 店舗	22	9.5%
3	2～3 店舗	16	6.9%
4	4～5 店舗	2	0.9%
5	6～9 店舗	0	0.0%
6	10 店舗以上	0	0.0%
	無回答など	55	23.8%
	合計	231	100.0%

n=231

No.	チェーン店	回答数	回答率
1	なし	89	38.5%
2	1 店舗	28	12.1%
3	2～3 店舗	25	10.8%
4	4～5 店舗	13	5.6%
5	6～9 店舗	10	4.3%
6	10 店舗以上	11	4.8%
	無回答など	55	23.8%
	合計	231	100.0%

n=231

No.	その他	回答数	回答率
1	なし	69	29.9%
2	1 店舗	17	7.4%
3	2～3 店舗	26	11.3%
4	4～5 店舗	9	3.9%
5	6～9 店舗	12	5.2%
6	10 店舗以上	43	18.6%
	無回答など	55	23.8%
	合計	231	100.0%

問5 貴商店街ではどのような加盟勧誘活動を行っていますか。(あてはまるもの全てに○)

n=231

No.	選択肢	回答数	回答率
1	開店時や定期的な訪問による積極的な勧誘	98	42.4%
2	イベントを活用した呼びかけ	53	22.9%
3	チラシ・パンフ配付等によるPR活動	23	10.0%
4	オーナーや不動産会社との協力	45	19.5%
5	その他	45	19.5%
	無回答など	34	14.7%
	合計	298	-

問6 現在、貴商店街を構成する店舗の数を業種・業態毎にご記入ください。

n=231

No.	選択肢	回答数	回答率
1	青果	92	39.8%
2	精肉	68	29.4%
3	鮮魚	47	20.3%
4	惣菜・弁当	91	39.4%
5	米・飲料・酒類	101	43.7%
6	パン・ベーカリー	71	30.7%
7	洋・和菓子	95	41.1%
8	その他食品	65	28.1%
9	書籍・文具	54	23.4%
10	医薬品・化粧品・ドラッグストア	143	61.9%
11	日用雑貨・身のまわり品	101	43.7%
12	趣味・スポーツ用品	56	24.2%
13	衣料品	132	57.1%
14	時計・メガネ	67	29.0%
15	飲食店(食事)	185	80.1%
16	飲食店(喫茶・ファストフード)	134	58.0%
17	家電製品・携帯電話	98	42.4%
18	CD・DVD(レンタル含む)	16	6.9%
19	コンビニ	102	44.2%
20	理容室・美容室	188	81.4%
21	食品スーパー	74	32.0%
22	エステ・整体	121	52.4%
23	病院・診療所	145	62.8%
24	銀行等金融機関	98	42.4%
25	保育施設・学童・子育て支援施設	58	25.1%
26	学習塾・習い事	85	36.8%
27	介護施設	49	21.2%
28	不動産	138	59.7%
29	100円ショップ	22	9.5%
30	その他	167	72.3%
	無回答など	7	3.0%
	合計	2,870	-

問7 現在、貴商店街に不足していると感じている業種・業態は何ですか。(〇は3つまで)※

n=231

No.	選択肢	回答数	回答率
1	青果	54	23.4%
2	精肉	56	24.2%
3	鮮魚	61	26.4%
4	惣菜・弁当	20	8.7%
5	米・飲料・酒類	5	2.2%
6	パン・ベーカリー	23	10.0%
7	洋・和菓子	12	5.2%
8	その他食品	1	0.4%
9	書籍・文具	16	6.9%
10	医薬品・化粧品・ドラッグストア	10	4.3%
11	日用雑貨・身のまわり品	17	7.4%
12	趣味・スポーツ用品	10	4.3%
13	衣料品	9	3.9%
14	時計・メガネ	3	1.3%
15	飲食店(食事)	15	6.5%
16	飲食店(喫茶・ファストフード)	13	5.6%
17	家電製品・携帯電話	10	4.3%
18	CD・DVD(レンタル含む)	2	0.9%
19	コンビニ	13	5.6%
20	理容室・美容室	2	0.9%
21	食品スーパー	10	4.3%
22	エステ・整体	1	0.4%
23	病院・診療所	2	0.9%
24	銀行等金融機関	2	0.9%
25	保育施設・学童・子育て支援施設	5	2.2%
26	学習塾・習い事	2	0.9%
27	介護施設	1	0.4%
28	不動産	1	0.4%
29	100円ショップ	7	3.0%
30	その他	6	2.6%
31	不足はない	20	8.7%
32	わからない	48	20.8%
	無回答など	27	11.7%
	合計	484	-

問8 貴商店街の活動内容はどのようなものですか。(あてはまるもの全てに○)

n=231

No.	選択肢	回答数	回答率
1	中元・歳末期セール(福引等)	78	33.8%
2	セール(中元・歳末期以外)	47	20.3%
3	ポイントカード・スタンプの発行	32	13.9%
4	駐車場・駐輪場の運営	27	11.7%
5	共同店舗の運営	5	2.2%
6	宅配サービスの実施	12	5.2%
7	出張販売の実施	4	1.7%
8	送迎サービスの実施	2	0.9%
9	商店街ホームページの開設・運営	108	46.8%
10	商店街マップの発行	73	31.6%
11	瓦版など広報物の発行	23	10.0%
12	地域交流イベントの開催(祭り等)	130	56.3%
13	地域(自治会・NPO等)や学校との連携事業	114	49.4%
14	商店街女性部・青年部の組織化	30	13.0%
15	商店街会員による勉強会開催	34	14.7%
16	防犯・防災活動	144	62.3%
17	街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理	156	67.5%
18	緑化・清掃活動など環境に関する取組	84	36.4%
19	電子マネー・クレジットカード等キャッシュレス決済の取扱い	15	6.5%
20	まちゼミの実施	19	8.2%
21	その他	18	7.8%
22	ほとんど活動はしていない	20	8.7%
	無回答など	4	1.7%
	合計	1,179	-

問8-2 貴商店街が今後取り組みたいと考えている活動を上記問8の中から選び、()内に番号をご記入ください。(〇は3つまで)また、その活動の検討状況について〇をつけてください。

貴商店街が今後取り組みたいと考えている活動

n=231

No.	選択肢	回答数	回答率
1	中元・歳末期セール(福引等)	7	3.0%
2	セール(中元・歳末期以外)	5	2.2%
3	ポイントカード・スタンプの発行	15	6.5%
4	駐車場・駐輪場の運営	5	2.2%
5	共同店舗の運営	7	3.0%
6	宅配サービスの実施	10	4.3%
7	出張販売の実施	9	3.9%
8	送迎サービスの実施	3	1.3%
9	商店街ホームページの開設・運営	19	8.2%
10	商店街マップの発行	18	7.8%
11	瓦版など広報物の発行	15	6.5%
12	地域交流イベントの開催(祭り等)	10	4.3%
13	地域(自治会・NPO等)や学校との連携事業	9	3.9%
14	商店街女性部・青年部の組織化	8	3.5%
15	商店街会員による勉強会開催	23	10.0%
16	防犯・防災活動	10	4.3%
17	街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理	7	3.0%
18	緑化・清掃活動など環境に関する取組	3	1.3%
19	電子マネー・クレジットカード等キャッシュレス決済の取扱い	21	9.1%
20	まちゼミの実施	5	2.2%
21	その他	4	1.7%
22	ほとんど活動はしていない	0	0.0%
	無回答など	111	48.1%
	合計	324	-

貴商店街が今後取り組みたいと考えている活動の中で、実施に向けて検討している活動

n=231

No.	選択肢	回答数	回答率
1	中元・歳末期セール(福引等)	1	0.4%
2	セール(中元・歳末期以外)	3	1.3%
3	ポイントカード・スタンプの発行	2	0.9%
4	駐車場・駐輪場の運営	1	0.4%
5	共同店舗の運営	1	0.4%
6	宅配サービスの実施	1	0.4%
7	出張販売の実施	3	1.3%
8	送迎サービスの実施	0	0.0%
9	商店街ホームページの開設・運営	12	5.2%
10	商店街マップの発行	12	5.2%
11	瓦版など広報物の発行	9	3.9%
12	地域交流イベントの開催(祭り等)	2	0.9%
13	地域(自治会・NPO等)や学校との連携事業	2	0.9%
14	商店街女性部・青年部の組織化	2	0.9%
15	商店街会員による勉強会開催	5	2.2%
16	防犯・防災活動	5	2.2%
17	街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理	4	1.7%
18	緑化・清掃活動など環境に関する取組	1	0.4%
19	電子マネー・クレジットカード等キャッシュレス決済の取扱い	3	1.3%
20	まちゼミの実施	2	0.9%
21	その他	3	1.3%
22	ほとんど活動はしていない	0	0.0%
合計		74	-

貴商店街が今後取り組みたいと考えている活動の中で、具体的な検討に至っていない活動

n=231

No.	選択肢	回答数	回答率
1	中元・歳末期セール(福引等)	5	2.2%
2	セール(中元・歳末期以外)	2	0.9%
3	ポイントカード・スタンプの発行	13	5.6%
4	駐車場・駐輪場の運営	4	1.7%
5	共同店舗の運営	5	2.2%
6	宅配サービスの実施	9	3.9%
7	出張販売の実施	6	2.6%
8	送迎サービスの実施	3	1.3%
9	商店街ホームページの開設・運営	5	2.2%
10	商店街マップの発行	5	2.2%
11	瓦版など広報物の発行	6	2.6%
12	地域交流イベントの開催(祭り等)	8	3.5%
13	地域(自治会・NPO等)や学校との連携事業	5	2.2%
14	商店街女性部・青年部の組織化	6	2.6%
15	商店街会員による勉強会開催	18	7.8%
16	防犯・防災活動	5	2.2%
17	街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理	3	1.3%
18	緑化・清掃活動など環境に関する取組	2	0.9%
19	電子マネー・クレジットカード等キャッシュレス決済の取扱い	18	7.8%
20	まちゼミの実施	3	1.3%
21	その他	1	0.4%
22	ほとんど活動はしていない	0	0.0%
合計		132	-

問9 最近3年で、商店街活動に積極的に参加する会員は増えましたか。(○は1つだけ)

n=231

No.	選択肢	回答数	回答率
1	増えた	34	14.7%
2	減った	59	25.5%
3	変わらない	130	56.3%
	無回答など	8	3.5%
合計		231	100.0%

問10 現在、貴商店街ではどのような悩みがありますか。(〇は3つまで)※

n=231

No.	選択肢	回答数	回答率
1	売上・来街者の減少	102	44.2%
2	店舗の老朽化	50	21.6%
3	空き店舗・空き地の増加	38	16.5%
4	街路灯・アーケード等の商業基盤施設の老朽化	34	14.7%
5	魅力ある店舗の不足	88	38.1%
6	業種のバランスが悪い	51	22.1%
7	駐車場や駐輪場の不足	20	8.7%
8	放置自転車の対策	12	5.2%
9	魅力あるイベントの不足	18	7.8%
10	経営者の高齢化	100	43.3%
11	後継者の不在	81	35.1%
12	経営者の意欲低下	32	13.9%
13	未加入店舗の増加	19	8.2%
14	会費収入の減少・滞納の増加	9	3.9%
15	会員の商店街活動に対する意欲の低下・退会者の増加	34	14.7%
16	商店街活動を担う人材の不足	84	36.4%
17	その他	12	5.2%
	無回答など	8	3.5%
	合計	792	-

問11 貴商店街における空き店舗は何店舗ですか。(ない場合は0を記入)

n=231

No.	選択肢	回答数	回答率
1	なし	73	31.6%
2	1 店舗	25	10.8%
3	2～3 店舗	50	21.6%
4	4～5 店舗	20	8.7%
5	6～9 店舗	22	9.5%
6	10 店舗以上	13	5.6%
	無回答など	28	12.1%
	合計	231	100.0%

問12 空き店舗がある場合、各空き店舗の状況についてご記入ください。

〔ア〕閉店前の業種〕

n=571 (nは問11の空き店舗数を合算した数)

No.	選択肢	回答数	回答率
1	青果	16	2.8%
2	精肉	14	2.5%
3	鮮魚	12	2.1%
4	惣菜・弁当	12	2.1%
5	米・飲料・酒類	13	2.3%
6	パン・ベーカリー	6	1.1%
7	洋・和菓子	14	2.5%
8	その他食品	12	2.1%
9	書籍・文具	7	1.2%
10	医薬品・化粧品・ドラッグストア	14	2.5%
11	日用雑貨・身のまわり品	27	4.7%
12	趣味・スポーツ用品	5	0.9%
13	衣料品	38	6.7%
14	時計・メガネ	6	1.1%
15	飲食店(食事)	48	8.4%
16	飲食店(喫茶・ファストフード)	10	1.8%
17	家電製品・携帯電話	9	1.6%
18	CD・DVD(レンタル含む)	2	0.4%
19	コンビニ	1	0.2%
20	理容室・美容室	15	2.6%
21	食品スーパー	0	0.0%
22	エステ・整体	9	1.6%
23	病院・診療所	4	0.7%
24	銀行等金融機関	1	0.2%
25	保育施設・学童・子育て支援施設	0	0.0%
26	学習塾・習い事	4	0.7%
27	介護施設	4	0.7%
28	不動産	8	1.4%
29	100円ショップ	0	0.0%
30	その他	61	10.7%
	無回答など	199	34.9%
	合計	571	100.0%

〔イ〕空き店舗となった時期〕

n=571 (nは問 11 の空き店舗数を合算した数)

No.	選択肢	回答数	回答率
1	1年以内	96	16.8%
2	1～2年前	77	13.5%
3	3年以上前	205	35.9%
4	わからない	23	4.0%
	無回答など	170	29.8%
	合計	571	100.0%

〔ウ〕閉店の理由〕

n=571 (nは問 11 の空き店舗数を合算した数)

No.	選択肢	回答数	回答率
1	経営状態の悪化	115	20.1%
2	経営者の高齢化・後継者の不在	146	25.6%
3	店舗・設備の老朽化	5	0.9%
4	区画整理・再開発	1	0.2%
5	他地区への移転	21	3.7%
6	その他	28	4.9%
7	わからない	64	11.2%
	無回答など	191	33.5%
	合計	571	100.0%

〔エ〕家主の意思〕

n=571 (nは問 11 の空き店舗数を合算した数)

No.	選択肢	回答数	回答率
1	貸す意思がある	155	27.1%
2	貸す意思がない	71	12.4%
3	わからない	153	26.8%
	無回答など	192	33.6%
	合計	571	100.0%

問12-2 空き店舗がある場合、埋まらない理由として考えられるものを次の選択肢から選んでください。

(複数回答可)

n=130 (nは問11で、空き店舗数を回答した商店街数)

No.	選択肢	回答数	回答率
1	周辺環境の悪化(集客が見込めない等)	44	33.8%
2	家賃が高い	34	26.2%
3	立地が悪い	21	16.2%
4	開業希望者が見つからない	47	36.2%
5	店舗・設備の老朽化	35	26.9%
6	店舗を解体し、店舗以外の目的に使用する予定がある	6	4.6%
7	積極的な募集をしていない(当面、空き店舗のままで困らない)	40	30.8%
8	物件の運用方法を検討中	2	1.5%
9	その他	15	11.5%
	無回答など	9	6.9%
	合計	253	

問13 貴商店街では街路灯、アーケード、アーチ(片アーチ)を所有していますか。

(あてはまるもの全てに○)

n=231

No.	選択肢	回答数	回答率
1	街路灯を所有している	162	70.1%
2	アーケードを所有している	32	13.9%
3	アーチ(片アーチ)を所有している	31	13.4%
4	いずれも所有していない	41	17.7%
	無回答など	16	6.9%
	合計	282	-

問13-2 問13の施設の保全・維持管理における課題は何ですか。

(あてはまるもの全てに○)

n=174 (nは回答した商店街数から、問13で「いずれも所有していない」「無回答など」を除いた数)

No.	選択肢	回答数	回答率
1	中・長期的な修繕計画がない	42	24.1%
2	保全・維持管理の費用の負担が大きい	76	43.7%
3	老朽化による事故の危険性がある	39	22.4%
4	会員による自主点検が負担である	15	8.6%
5	その他	7	4.0%
6	特になし	49	28.2%
	無回答など	13	7.5%
	合計	241	-

問13-3 施設の保全・維持管理の課題について、検討・対策をしていることは何ですか。

(あてはまるもの全てに○)

n=112 (nは問13-2のnから、問13-2の「特になし」「無回答など」を除いた数)

No.	選択肢	回答数	回答率
1	調査・点検、修繕計画策定の外部委託	20	17.9%
2	保全・維持管理費用の積み立て、会費の値上げ	22	19.6%
3	施設の撤去	22	19.6%
4	修繕・改修・建て替え	34	30.4%
5	その他	5	4.5%
6	現在、具体的な検討・対策はしていない	34	30.4%
	無回答など	7	6.3%
	合計	144	-

問13-4 施設の保全・維持管理の課題について検討・対策をしていない理由は何ですか。

(あてはまるもの全てに○)

n=34 (nは問13-3で、「現在、具体的な検討・対策はしていない」と回答した数)

No.	選択肢	回答数	回答率
1	調査、補修、撤去等の費用捻出が困難である	12	35.3%
2	調査の委託や工事等の進め方や相談先が分からない	1	2.9%
3	課題に緊急性がない	19	55.9%
4	会員間で意見が分かれている	3	8.8%
5	その他	4	11.8%
	無回答など	3	8.8%
合計		42	-

問14 3年前と比べ、来街者数はどう変化したと感じられますか。

n=231

No.	選択肢	回答数	回答率
1	増加した	20	8.7%
2	減少した	108	46.8%
3	あまり変わらない	98	42.4%
	無回答など	5	2.2%
合計		231	100.0%

問15 現在、最も多いときで外国人観光客の来街者数は1日どのくらいですか。

n=231

No.	非加盟店舗総数	回答数	回答率
1	5人未満	82	35.5%
2	5～10人位	14	6.1%
3	10～50人位	16	6.9%
4	50～100人位	2	0.9%
5	100人以上	4	1.7%
6	500人以上	0	0.0%
7	わからない	98	42.4%
	無回答など	15	6.5%
合計		231	100.0%

問16 外国人観光客を来街者として取り込みたいと思いますか。

n=231

No.	選択肢	回答数	回答率
1	取り込みたいと思う	62	26.8%
2	取り込みたいとは思わない	138	59.7%
	無回答など	31	13.4%
合計		231	100.0%

問16-2 貴商店街が現在実施している外国人観光客取り込み策は何ですか。

(あてはまるもの全てに○)

n=62 (nは問16で、「取り込みたいと思う」と回答した数)

No.	選択肢	回答数	回答率
1	多言語マップ	19	30.6%
2	多言語HP	10	16.1%
3	多言語案内看板	13	21.0%
4	多言語会話シート	6	9.7%
5	Wi-Fi 整備	12	19.4%
6	キャッシュレス決済の導入推進	4	6.5%
7	免税取扱いの推進	9	14.5%
8	接客セミナー	12	19.4%
9	その他	3	4.8%
10	未実施	30	48.4%
	無回答など	4	6.5%
合計		122	-

問16-3 貴商店街が今後取り組みたい事業を上記問16-2の中から選び、

()内に番号をご記入ください。(3つまで選択)※

n=62 (nは問16で、「取り組みたいと思う」と回答した数)

No.	選択肢	回答数	回答率
1	多言語マップ	18	29.0%
2	多言語HP	17	27.4%
3	多言語案内看板	21	33.9%
4	多言語会話シート	10	16.1%
5	Wi-Fi 整備	21	33.9%
6	キャッシュレス決済の導入推進	19	30.6%
7	免税取扱いの推進	2	3.2%
8	接客セミナー	9	14.5%
9	その他	1	1.6%
10	未実施	0	0.0%
	無回答など	15	24.2%
	合計	133	-

問16-4 外国人観光客を取り込む場合、課題は何ですか。(○は3つまで)※

n=62 (nは問16で、「取り組みたいと思う」と回答した数)

No.	選択肢	回答数	回答率
1	外国語対応	47	75.8%
2	接客方法	22	35.5%
3	免税店手続き	5	8.1%
4	マナーの違い	13	21.0%
5	災害時対応	2	3.2%
6	団体客対応	8	12.9%
7	Wi-Fi 環境	15	24.2%
8	PR 方法	15	24.2%
9	求めているサービスの把握	11	17.7%
10	その他	2	3.2%
11	特にない	11	17.7%
	無回答など	4	6.5%
	合計	155	-

問17 昨年と比較して現在の貴商店街の景気はどうなったと感じられますか。

n=231

No.	選択肢	回答数	回答率
1	良くなった	11	4.8%
2	悪くなった	109	47.2%
3	変わらない	104	45.0%
	無回答など	7	3.0%
	合計	231	100.0%

平成30年度商店街実態調査
報告書

平成31年3月発行

横浜市 経済局

横浜市中区港町1-1

TEL 045-671-3488 FAX045-664-9533
